

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2020年1月2日(02.01.2020)



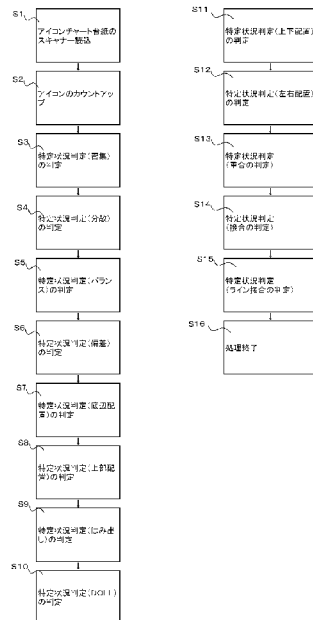
(10) 国際公開番号

WO 2020/004268 A1

- (51) 国際特許分類:
G06Q 10/10 (2012.01) *G09B 19/00* (2006.01)
A61B 5/16 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2019/024723
- (22) 国際出願日: 2019年6月21日(21.06.2019)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2018-121575 2018年6月27日(27.06.2018) JP
- (71) 出願人:株式会社人総研(JINSOKEN CO., LTD.)
[JP/JP]; 〒1030006 東京都中央区日本橋富沢町10番14号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 西岡 幸一 (NISHIOKA Koichi);
〒1030006 東京都中央区日本橋富沢町10番14号 株式会社人総研内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 浅野 勝美 (ASANO Katsumi); 〒1070052
東京都港区赤坂七丁目6番41号 赤坂七番館204号 Tokyo (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JO, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ,

(54) Title: VISUAL APPROACH-BASED APTITUDE TESTING METHOD

(54) 発明の名称: 視覚アプローチ適性検査方法



- S1 Scan and read icon chart mounting board
S2 Count total icons
S3 Determine specific conditions (concentration determination)
S4 Determine specific conditions (dispersion determination)
S5 Determine specific conditions (balance determination)
S6 Determine specific conditions (deviation determination)
S7 Determine specific conditions (bottom placement determination)
S8 Determine specific conditions (top placement determination)
S9 Determine specific conditions (outside-of-frame determination)
S10 Determine specific conditions (DOLL determination)
S11 Determine specific conditions (top-bottom placement determination)
S12 Determine specific conditions (left-right placement determination)
S13 Determine specific conditions (overlap determination)
S14 Determine specific conditions (touching determination)
S15 Determine specific conditions (line touching determination)
S16 End processing

(57) Abstract: [Problem] To obtain a multifaceted understanding of an individual's mental make-up through visual information, and to accurately and objectively ascertain the tendencies of an examinee, such as the examinee's occupational aptitude. [Solution] The subconscious mind of an examinee is revealed by the affixing condition of a plurality of icons that are affixed to a check sheet in which a plurality of areas are formed in a frameless test area and which comprises graphic figures having no particular meaning in and of themselves. Through the information the examinee obtains visually, i.e.

NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT,
QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL,
SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA,
UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

規則4. 17に規定する申立て：

- 一 発明者である旨の申立て (規則 4. 17(iv))

添付公開書類：

- 一 国際調査報告 (条約第21条(3))

the affixing condition of the icons upon the check sheet, the inner, subconscious mind of the examinee is expressed, via a picture, in a manner that is visual and specific. The amygdala, which controls emotions, reacts to visual information 100 ms faster than the neocortex. Accordingly, the present invention makes it possible to obtain an understanding of the subconscious mind at the unconscious level prior to conscious control, and thus the aptitude of the examinee is revealed. The icons are recognized as graphic figures, and therefore affect the subconscious in the frontal lobe without stimulating emotional systems.

(57) 要約：【課題】人間の精神構造を視覚情報を通して多面的に把握し、職業適性等、被験者の性向を正確に客観的に把握すること。【解決手段】枠のない検査領域内に多数のエリアが形成されそれ自体意味を有しない図形からなるチェックシートに貼付される複数のアイコンの貼付状況により、被験者の潜在的な意識を表出させる。被験者が視覚から得る情報、即ち、チェックシート上のアイコンの貼付状況より、画像を通して被験者の内面的、潜在的な意識を視覚上具体的に表出させる。視覚情報に対しては新皮質よりも先に、感情をコントロールする扁桃体の方が100ms早く反応する。よって無意識下の潜在的な意識を意識下のコントロールをする前に、把握することができるから被験者の適性が分かる。アイコンは、図形として認識されるから、感情系を刺激することなく、前頭葉の潜在意識に影響を与える。

明 細 書

発明の名称： 視覚アプローチ適性検査方法

技術分野

[0001] 本願発明は、人の精神分野を視覚情報を通して多面的に把握し判定する方法に関し、とくに、特定の職業に対し被験者がどれほど適した素質をもつかについて判定する視覚アプローチ適性検査方法に関する。

背景技術

[0002] 人間の行動は心的な状況がもたらす様々な影響が交差するものであり、基礎潜在能力と業務遂行潜在能力が関係する。業務に従事するとき種々の外部刺激が負担として働くことがあり、このようなとき心身にはストレスが生ずる。ストレスは不可視的であることが多いため、業務上のストレスの状態を可視的に正確に把握することが困難であることが多かった。

[0003] また従来、業務における人間のパフォーマンスをどのように評価するかについて、マーケットバリュー（市場価値）の観点から、集中（仕事ができる）ということと、それに対する格差（お金によって報いる）という考え方がある。

[0004] しかしながら、従来のパフォーマンス理論は、分析結果の再利用がし難い剛構造システムのため、これを利用した理論に基づく適性検査の結果から適切な判定をすることが難しかった。

[0005] ところで人の社会行動には多様性がある。多様性のある人が何故に協力行動をするのかにつき、従来は利己的な古い脳を前頭葉が抑えるとされてきた。

[0006] しかしながら、最近では、情動系が不公平を避ける、との学説が有力となっている。即ち、購買行動の予測精度、安静時 fMRI からの IQ 推定、MRI データによる予測より、人には不公平を避けるメカニズムが備わっていることが判り、深部に存在する古い脳である扁桃体が、直感的、自動的に反応して、不公平を避け、向社会（prosocial な）行動をするとされ

る。

向社会（*prosocial*）な行動とは、自分と他人の和を最大にし、差を最小にする行動をいい、自分を最大にする *Individualistic*（個人的）行動、自分と他人の差を最大にする *Competitive*（競争的）行動とは異なるものである。

[0007] fMRIデータの解析結果から、*prosocial*行動では報酬差の絶対値と扁桃体の活動が相関していることが判っており、*prosocial*の扁桃体は報酬差の絶対値が大きいとき活動する。

最終提案ゲーム実験や信頼ゲーム実験の結果が上記説を支持し、また社会的格差とうつ傾向が関係する可能性がある。

fMRI解析の結果、進化的に新しく高次認知機能の中枢である前頭前野（前頭葉連合野）つまり新皮質が罪悪感を表現し、進化的に原始的な扁桃体・側坐核が不平等感を表現することが判った。

[0008] また大脳皮質の1／3が視覚に関わっている。

[0009] 従来は、競争が進歩を生むとされ（渋谷栄一）、自分と他人を比較するだけでは社会の奴隷である（ルソー）、他人との比較は不幸になる最短の道である（ブッダ）、と言われてきた。

[0010] しかしながら、最近の有力説は社会的格差とうつ傾向が相関すると報告されている。

[0011] 以上をまとめると、近年の脳機能画像化技術の進展で、ヒトの社会的意思決定の脳内基盤に皮質下領域、大脳皮質を中心とするものがあることが明らかとなった。

[0012] また、前頭葉（新皮質）は意識的な情報処理、扁桃体は恐怖や喜びなどの情動に関する情報処理、中隔・海馬は記憶と情動の抑制に関係する。つまり脳の構造を考えるなら、人には二つの心がある、一つは意識的な、判断可能な心、それは前頭葉を中心として存在し、もう一つは意識に上らない情動のこころであり、それは扁桃体を中心として存在する。

一部の潜在意識と顕在意識に関しては、人間の主観的な意識を含めて知覚

や行動の決定が前頭葉（新皮質）でなされていることがわかっている。それに対して情動（扁桃体の反応）は直接的には意識に上らない。

前頭葉（新皮質）は、大人と子供で、発達の度合いが異なる。つまり子供の場合、前頭葉（新皮質）による反応は少ないと考えられる。実際には、情動が体に表出された結果を意識が感じとって、過去の経験と比較して自分の情動を認知し、これを感情として表現する。また、習慣のように意識はしないが、反射的に行ってしまう行動もある、と言われている。

[0013] 本願発明が参照した主な文献は次の通りである。

<1>心理学的な要求と意思決定の度合いからの進展モデルについて 非特許文献 1

<2>ストレスの観察について 非特許文献 2、3、4

<3>エッジ効果について 非特許文献 5、6

<4>モアレ現象について 非特許文献 7、8、9

<5>人のパフォーマンスについて 非特許文献 10、11

<6>ストレス理論 非特許文献 12、13、14

<7>感情についての心理学的および生理学的アプローチ 非特許文献 15、16、17

<8>汎適応症候群（general adaptation syndrome）（GAS）理論 非特許文献 18

<9>脳科学、認知科学、神経科学からの情報 非特許文献 19

先行技術文献

非特許文献

[0014] 非特許文献1: Psychological demand/decision latitude model : Karasek and Theorell (1990)

非特許文献2: Stress Viewer (model) : by Johanna Paula Monique Fikkers, Haike Jacobs - Language Arts & Disciplines - 2003 - 463 pages

非特許文献3: 1995 Metrical Stress Theory: Principles and case studies . . . Hogg, Richard 1992

非特許文献4 : A Grammar of Old English, volume I: Phonology, Oxford: Basil Blackwall. ...

非特許文献5 : Edge effect and job stress (theory) : Cross-Functional Project Groups in Research and New Product Development; Diversity, Communications, Job Stress, and Outcomes

非特許文献6 : Robert T. Keller The Academy of Management Journal, Vol. 44, No. 3 (Jun., 2001), pp. 547-555

非特許文献7 : Stress moire (theory) : A Water-Bonded, Floating Element Shear-Stress Sensor Using a Geometric Moire Optical Transduction Technique

非特許文献8 : Stephen Horowitz, Tai-An Chen, Venkataraman Chandrasekaran, Ken Tedjojuwono, Louis Cattafesta, Toshikazu Nishida, and Mark Sheplak

非特許文献9 : Interdisciplinary Microsystems Group, PO Box 116250, University of Florida, Gainesville, Florida 32611-6250

非特許文献10 : Human Performance (model) : Enhancing Human Performance : Background Papers, Stress Management

非特許文献11 : Authors:Committee on Techniques for the Enhancement of Human Performance, National Research Council

非特許文献12 : Stress theory and phonology in Old and Middle English
上梨恵子 (1994)

非特許文献13 : Managing Stress : Principles and strategies for Health and Wellbeing by Brian Luke Seaward - Self-Help - 2005 - 590 pages

非特許文献14 : Lazarus, RS, and Folkman, S. Stress, Appraisal, and Coping. Springer, New York, 1984. Matheny, K., et al. Stress Coping: A Qualitative and Quantitative ...

非特許文献15 : Psychological and Biological Approaches to Emotion : by Nancy L. Stein, Bennett Leventhal, Tom Trabasso - Psychology - 19

90

非特許文献16 : Stress, appraisal, and coping. New York: Springer, Lazarus, RS, Kanner, AD, & Folkman, S. (1980).

非特許文献17 : Emotions: A cognitive-phenomenological analysis. ...

非特許文献18 : Stress without Distress(1974), Stress of Life(1956) by Hans Hugo Bruno Selye CC

非特許文献19 : 2017年10月30日応用脳科学コンソーシアム、NICT脳情報通信融合センター春野雅彦氏

発明の概要

発明が解決しようとする課題

- [0015] 本願発明は上記背景に鑑み、人間の精神構造を視覚情報を通して多面的に把握し、職業適性等、被験者の性向を正確に客観的に把握することを目的とする。

課題を解決するための手段

- [0016] 上記目的達成のため、本願発明による視覚アプローチ適性検査方法は、枠のない検査領域内に描かれた境界エレメントにより多数のエリアが形成されそれ自体意味を有しない図形からなるチェックシートに、シールシートに配置された複数個のアイコンから選択されるアイコンが貼付され、貼付されたアイコンの貼付位置及び貼付個数により被験者の精神構造を判定する方法であって、コンピュータの記憶手段に予め上記チェックシートに設定された境界エレメントについての定義を予め定めたテーブル1、上記アイコンの種類及び貼付個数とその意味についての定義を予め定めたテーブル2、上記チェックシート上のアイコンの貼付位置における意味を予め定義したテーブル3が各格納され、上記チェックシート上に貼付された上記アイコンの貼付位置及び貼付個数からなる検査データ及び被験者IDをコンピュータに読み込ませ、次いで、読み出された貼付アイコンのカウントアップ処理を行ない、次いで読み出された上記検査データのアイコンの配置について、上記各テーブルの定義に該当するか否かが判定され、上記各判定より得られる結果が上記

コンピュータに保存され、検査対象物のアイコンの個数及び検査対象物の全体の形状により被験者の適性検査の評価資料とすることを特徴とする。

また請求項2による本願発明による視覚アプローチ適性検査方法は、請求項1記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記境界エレメントがライン、角の全部又は一部であることを特徴とする。

また請求項3による本願発明による視覚アプローチ適性検査方法は、請求項2記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記ラインが直線、曲線、破線の全部又は一部であることを特徴とする。

また請求項4による本願発明による視覚アプローチ適性検査方法は、請求項2又は請求項3記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記角が枠のコーナ、ラインとラインの交点である接点の全部又は一部であることを特徴とする。

また請求項5による本願発明による視覚アプローチ適性検査方法は、請求項1乃至請求項4のいずれか記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記本部コンピュータは、上記記憶手段にさらに複数のアイコン間又はアイコンとライン間の位置関係による関係性（以下「アイコン関係性」という）についての意味を予め定義したテーブル4が格納され、読み出された上記検査データのアイコンの配置について、上記各テーブルの定義により、上記アイコン関係性が存在するか否かの判定を実行することを特徴とする。

また請求項6による本願発明による視覚アプローチ適性検査方法は、請求項1乃至請求項5のいずれか記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記本部コンピュータは、上記記憶手段にさらに貼付アイコンが特定パターンを形成したときの意味を予め定義したテーブル5が格納され、予め定められている特定パターンが存在するか否かの判定を実行することを特徴とする。

また請求項7による本願発明による視覚アプローチ適性検査方法は、請求項1乃至請求項6のいずれか記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記本部コンピュータは、上記記憶手段にさらに特定アイコンの出現による

意味付けを予め定義したテーブル6が格納され、特定アイコンが出現するかどうかの判定を実行することを特徴とする。

また請求項8による本願発明による視覚アプローチ適性検査方法は、請求項6記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記特定パターンが密集配置、分散配置、バランス配置、偏差配置、底辺配置、上部配置、上下配置、左右配置、はみ出し配置及び／又はドール（DOLL）配置であることを特徴とする。

また請求項9による本願発明による視覚アプローチ適性検査方法は、請求項5記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記アイコン関係性が重合、接合、ライン接合及び／又は近接であることを特徴とする。

発明の効果

[0017] 本願発明による視覚アプローチ適性検査方法によれば、被験者が視覚から得る情報、即ち、チェックシート上のアイコンの貼付状況、具体的には、アイコンの貼付個数及び貼付位置より、画像を通して被験者の内面的、潜在的な意識を視覚上具体的に表出させることができる。よって、視覚を通して被験者の精神構造を多面的に把握することができる。

[0018] 前述したように、大脳皮質の1／3は視覚に関わっている。視覚の刺激即ち視覚情報に対しては、認知処理をするといわれる新皮質よりも先に、感情脳といわれ感情をコントロールする扁桃体の方が早く反応する。刺激に対する扁桃体の反応は受刺激後100msであり、受刺激後200msに起こる新皮質の反応より100ms先行する。

本願発明は、この扁桃体の反応時間の迅速性を利用し、無意識下の潜在的な意識を表出させることができる。これは新皮質による補正（意識下のコントロール）をする前に、被験者の潜在的な意識を把握することができるからであり、これにより被験者の適性が分かるのである。

言い換えると、アイコンは、視覚（つまり目）で認識されると同時に、古い脳に属する扁桃体をも刺激する。この扁桃体の刺激は前頭葉への刺激に先行するのである。

[0019] 潜在意識に影響を与えるものには、新皮質（前頭葉）の感知する感覚器からの情報の他に、偏桃体の反応（情動反応）も含まれる。新皮質と偏桃体の反応に100msの差を生じることから、偏桃体の反応により影響を受ける潜在意識と、偏桃体の反応が少なく影響を受けない潜在意識がある。

[0020] またアイコンは、人アイコンにおいても表情は持たず、図形として認識される。よって、アイコンは感情系を刺激することなく、前頭葉の潜在意識に影響を与えるのである。

アイコン検査は、この前頭葉の潜在意識を呼び起こし、その反応としてアイコン付与作業が表出される。

100ms以前に反応する偏桃体においては、即反応で前頭葉に影響を与えるものは少ないものの、感情の累積が前頭葉に影響を与えることがあり、この差がアイコンの反応に現れる。本願発明はこの反応の時間差を利用するものである。

[0021] これが、本願発明の脳科学、認知科学、神経科学等による理論的根拠であり、本願発明はかかる根拠に基づき、被験者の職業適性や性向を把握する。このように、本願発明によれば、視覚を通して被験者の内面的、潜在的な意識を表出させることができるから、被験者の精神構造を多面的に把握することができる。よって、検査結果より、被験者の性格及び適性を評価するのに、そのまま利用することができる。

[0022] 請求項2乃至請求項4による視覚アプローチ適性検査方法によれば、境界エレメントを多種多様とすることができ、又は反対に簡素にすることもできるため、複雑な調査から被験者の負担が少ない簡単な調査まで、種々の調査、分析をすることができる。

[0023] 請求項5乃至請求項7による視覚アプローチ適性検査方法によれば、アイコン関係性、特定パターン、特定アイコンに関する判定もすることができるから、被験者の適性や性向把握をより一層正確にすることができる。

[0024] 請求項8又は／及び請求項9による視覚アプローチ適性検査方法によれば、特定パターンやアイコン関係性に関する判定をより一層正確にすることが

できるから、被験者の適性や性向把握に一層効果的である。

図面の簡単な説明

[0025] [図1A]本願発明による視覚アプローチ適性検査方法に使用するチェックシート及びアイコンの実施例を示す図である。

[図1B]図 1 Aを説明するための図である。

[図1C]本願発明による視覚アプローチ適性検査方法に使用するアイコンの実施例を示す図である。

[図2A]図 1 のチェックシートに記載されたライン、コーナ、エリア及び接点のテンプレートを示す図である。

[図2B]テンプレートの換算表である。

[図2C]図 2 Bの続きの図である。

[図3A]各アイコンの意味並びに各アイコンが各ライン、各接点、各コーナー及び各エリアに置かれたときの表示を示すコード表である。

[図3B]図 3 Aの続きの図である。

[図3C]図 3 Bの続きの図である。

[図3D]図 3 Cの続きの図である。

[図3E]図 3 Dの続きの図である。

[図3F]図 3 Eの続きの図である。

[図3G]図 3 Fの続きの図である。

[図3H]図 3 Gの続きの図である。

[図3I]図 3 Hの続きの図である。

[図3J]図 3 Iの続きの図である。

[図3K]図 3 Jの続きの図である。

[図3L]図 3 Kの続きの図である。

[図4A]アイコンの「重合」の意味を示す図である。

[図4B]図 4 Aの続きの図である。

[図4C]図 4 Bの続きの図である。

[図4D]図 4 Cの続きの図である。

[図5A]本願発明による視覚アプローチ適性検査方法のロジックコメントのコード表（単独）である。

[図5B]図 5 A の続きの図である。

[図5C]図 5 B の続きの図である。

[図6]本願発明による視覚アプローチ適性検査方法のロジックコメントのコード表（重合）である。

[図7A]本願発明による視覚アプローチ適性検査方法の検査分析用マスターシートである。

[図7B]図 7 A の続きの図である。

[図7C]図 7 B の続きの図である。

[図8]本願発明による視覚アプローチ適性検査方法の本部コンピュータ用マスターシートである。

[図9A]「密集配置」の算出口ジックを示す図である。

[図9B]「分散配置」の算出口ジックを示す図である。

[図9C]「偏差配置」の算出口ジックを示す図である。

[図9D]「底辺配置」の算出口ジックを示す図である。

[図9E]「上部配置」の算出口ジックを示す図である。

[図9F]「はみ出し配置」の算出口ジックを示す図である。

[図9G]「ドール（DOLL）配置」の算出口ジックを示す図である。

[図10]ドール（DOLL）配置の詳細を判定するために別途設けられた基準を示す図であり、（A）は標準仕様、（B）はサンプル例を示す。

[図11]本願発明による視覚アプローチ適性検査方法の結果の処理仕様を示す図である

[図12]本願発明による視覚アプローチ適性検査方法の一例を示す処理フロー図である。

[図13]（A）は本願発明による視覚アプローチ適性検査方法の実施例を示し、被験者によりチェックシートに貼付されたアイコンのスキャナー入力画像を示す図、（B）は（A）による入力データのコンピュータ内のロケーショ

ンを示す図である。

[図14] (A) は本願発明による視覚アプローチ適性検査方法の他の実施例を示し、被験者によりチェックシートに貼付されたアイコンのスキャナー入力画像を示す図、(B) は (A) による入力データのコンピュータ内のロケーションを示す図である。

[図15] (A) は本願発明による視覚アプローチ適性検査方法の他の実施例を示し、被験者によりチェックシートに貼付されたアイコンのスキャナー入力画像を示す図、(B) は (A) による入力データのコンピュータ内のロケーションを示す図である。

[図16] (A) は本願発明による視覚アプローチ適性検査方法の他の実施例を示し、被験者によりチェックシートに貼付されたアイコンのスキャナー入力画像を示す図、(B) は (A) による入力データのコンピュータ内のロケーションを示す図である。

[図17] (A) は本願発明による視覚アプローチ適性検査方法の他の実施例を示し、被験者によりチェックシートに貼付されたアイコンのスキャナー入力画像を示す図、(B) は (A) による入力データのコンピュータ内のロケーションを示す図である。

[図18A] 密集配置の貼付例を示す図である。

[図18B] 分散配置の貼付例を示す図である。

[図18C] バランス配置の貼付例を示す図である。

[図18D] 偏差配置の貼付例を示す図である。

[図18E] 底辺配置の貼付例を示す図である。

[図18F] 上部配置の貼付例を示す図である。

[図18G] 上下配置の貼付例を示す図である。

[図18H] 左右配置の貼付例を示す図である。

[図18I] はみ出し配置の貼付例を示す図である。

[図18J] ドール (DOLL) 配置の貼付例を示す図である。

[図18K] 重合の貼付例を示す図である。

[図18L]接合の貼付例を示す図である。

[図18M]近接の貼付例を示す図である。

[図19A]本願発明による視覚アプローチ適性検査方法に使用するチェックシートの他の実施例を示す図である。

[図19B]図19Aのチェックシートに記載されたライン、コーナ、エリア及び接点のテンプレートを示す図である。

[図20]本願発明による視覚アプローチ適性検査方法に使用するチェックシートのさらに他の実施例を示す図である。

[図21]本願発明による視覚アプローチ適性検査方法に使用するチェックシートのさらに他の実施例を示す図である。

[0026] 次に、実施の形態を示す図面に基づき本願発明による視覚アプローチ適性検査方法をさらに詳しく説明する。なお、便宜上同一の機能を奏する部分には同一の符号を付してその説明を省略する。

[0027] 図1は本願発明による視覚アプローチ適性検査方法に使用するチェックシート及びアイコンを示す。本実施の形態においては、枠のない検査領域内に後述する境界エレメントを組み合わせ形成されるエリアが描かれ、いわゆるオープンシートとなっている。この場合、画面に表示されるエリアはチェックシートを球面体の一部と考えたときのウィンド (window) として扱えられる。便宜上このウィンドを図1等に2点鎖線で示す。チェックシートには直線、曲線及び破線からなるラインが適宜に組み合わせられ多数の円様図形と多角形様図形からなるエリアが設けられ、これらにより、閉空間、開放空間、円開放空間、台形一部開放空間、スロープ及び指定意味空間が形成される。被験者には、図1Aに示すペーパのチェックシート及び図1Cに示すアイコンが着脱自在に貼付されたアイコンシートが配布される。アイコンは18種類あり、詳細は後記する。図示しない本部コンピュータには図1Aのチェックシート及び図1Cのアイコンと同一の図形及びエリアが格納されている。また本部コンピュータには、図2Aのテンプレート及び図2Bの換算表も格納されている。

[0028] 次に図 1 に示す境界エレメントについて概説する。詳しい説明は次段落以下に譲る。便宜上 2 点鎖線で示すウィンド 1 内に、異なる種類の境界エレメントが描かれる。該境界エレメントは、曲線 3 としての円周の右側上部に切欠部 4 を有する円様図形 5 と、頂点に切欠部 6 を有する三角形様図形 7 であって、対向する直線としての斜辺 8、9 間に、直線としての底辺 10 に平行する直線としての中間辺 11 を有する図形と、上記中間辺 11 の右端からウィンド仮想線 1 a まで右上がりに傾斜する直線（傾斜直線）13 と、上記底辺 10 の反傾斜直線 13 側の端つまり左端からウィンド仮想線 1 c まで左上がりに傾斜する破線（傾斜破線）14 と、上記底辺 10 の右寄中間部からウィンド仮想線 1 b まで下降する S 字の曲線 15 とからなる。かかる各種境界エレメントにより、次に詳述するエリアが水平方向及び垂直方向に概ね 3 区分ずつ計 9 区分に区画される。上記切欠部 4、6 はいずれも上向きに形成される。かかる境界エレメントが組み合わされてなる図形は、それ自体完結した意味を有しない。チェックシートに区画される多数のエリアはかかる境界エレメントにより形成される。

[0029] 図 2 A はチェックシートに記載されたライン、コーナ、エリア及び接点のテンプレート、図 2 B 及び図 2 C はその換算表を示す。表 1 A はライン L 1 ～ L 18 を示す。表 1 B はコーナ C 1 ～ C 4 を示す。表 1 C はエリア A 1 ～ A-13 を示す。表 1 D は接点 X 1 ～ X 8 を示す。表 2 は上記アイコンの形状及び呼称並びに色彩を示す。表 3 A 及び表 3 B はアイコンとそのイメージする意味づけとの関係を A ～ H の各系別に示す。表 4 は選択されたアイコン総数の意味付けの定義を示す。表 5 は特定状況として把握される特定パターン（後記）の定義を示す。表 6 はこれら特定パターンの解釈について定義を示す。表 7 はアイコンの意味を示すテンプレートである（後記）。本部コンピュータには図 1 乃至図 11（後記）及び図 18 A 乃至図 18 M 並びに表 1 A 乃至表 8 の情報が予め格納されている。

[0030] ここで、表 1 A 乃至表 8 の内容を挙げる。また、ここでテーブル 1 乃至テーブル 6 と各表及び各図の関係を表 8 として示す。表 3 A、表 3 B、表 4、

表 5 及び表 6 の指定コメントは、検査結果のデータの統計処理から得られた知見に基づくものである。

[0031] [表1A]

ラインの番号	ラインの位置
L-1	長方形チャートの上辺のライン
L-2	長方形チャートの右辺のラインの上部
L-3	長方形チャートの右辺のラインの下部
L-4	長方形チャートの下辺のラインの右側
L-5	長方形チャートの下辺のラインの左側
L-6	長方形チャートの左辺のラインの下部
L-7	長方形チャートの左辺のラインの上部
L-8	チャートの中央部に描かれた台形の図の底辺のラインの左側
L-9	チャートの中央部に描かれた台形の図の右辺のライン
L-10	長方形チャートの上部と下部を区画する右上がりに傾斜するライン
L-11	チャートの中央部に描かれた三角形の図の右辺のライン
L-12	チャートの中央部に描かれた三角形の図の底辺のライン
L-13	チャートの中央部に描かれた三角形の図の左辺のライン
L-14	チャートの中央部に描かれた台形の図の左辺のライン
L-15	チャートの左側部に描かれた円周の一部を欠く円の円弧となるライン
L-16	チャートの下部に描かれたエリア A-11 とエリア A-12 を区画する S 曲線からなるライン
L-17	チャートの中央部に描かれた台形の図の底辺をなすラインの右側
L-18	チャートの左側の上部と下部を区画する破線からなるラインで交点 X-6 と交点 X-8 とを結ぶ

[0032]

[表1B]

コーナの番号	コーナの位置
C 1	左上部
C 2	右上部
C 3	右下部
C 4	左下部

[0033]

[表1C]

エリア番号	エリアの形状
A-1	右上部が欠けた円からなるエリアでチャートの左側上部に配される
A-2	A-1 エリアにおける欠けた円弧の部分（右上部）
A-3	台形からなるエリアでチャートの中央部に配される
A-4	A-3 エリアの上部に接続された上部の欠けた三角形からなるエリア
A-5	A-4 エリアの欠けた上部部分
A-6	左上部がエリア A-7 と一体に、右上部がエリア A-8 と一体に区画され、上部の一部に円弧が、下辺が傾斜した破線の異形図形からなるエリア
A-7	A-8 及び A-9 の各エリアと一体のエリアとして区画され、チャートの上部に形成されるエリアの左側のエリアであり、右下部に円弧があり、左下部が A-6 エリアに隣接する。
A-8	A-7 及び A-9 の各エリアと一体のエリアとして区画され、チャートの上部に形成されるエリアの中央部のエリアであり、下部に A-5 エリアがある。
A-9	A-7 及び A-8 の各エリアと一体のエリアとして区画され、チャートの上部に形成されるエリアの右側のエリアであり、下部に右上がりの傾斜線からなるライン L-10 が形成され、左側に左上がりの傾斜線からなるライン L-11 が形成される
A-10	A-11 と一体のエリアとして区画された上部のエリアであり、上端部に右上がりの傾斜線からなるライン L-10 が形成され、左端部に左上がりの傾斜線からなるライン L-9 が形成される
A-11	A-10 と一体のエリアとして区画された下部のエリアであり、左端部に S 曲線からなるライン L-16 が形成され、左上部にライン L-17 が形成される。
A-12	A-13 と一体のエリアとして区画された右側のエリアであり、右端部に S 曲線からなるライン L-16 が形成される。
A-13	A-12 と一体のエリアとして区画された左側のエリアであり、上端に破線からなるライン L-18 が形成される

[0034] [表1D]

接点の番号	接点の位置
X-1	ラインL-2とラインL-10との交点
X-2	ラインL-4とラインL-16との交点
X-3	ラインL-13とラインL-12との交点
X-4	ラインL-11とラインL-12との交点
X-5	ラインL-9とラインL-17との交点
X-6	ラインL-14とラインL-8との交点
X-7	ラインL-8とラインL-16との交点
X-8	ラインL-7とラインL-18との交点

[0035]

[表2]

アイコン 番号	アイコンの形状／呼称	色彩
1	円	ピンク
2	正方形	薄グレイ
3	正五角形	紫
4	円柱	緑
5	楕円	薄黄
6	長方形	薄青
7	直角三角形	黄
8	正八角形	オレンジ
9	矢印	濃グレイ
10	立方体	薄ピンク
11	顔（円と、円内の目様2個の小円及び口様の凹弧状面）	白（小円のみグレイ）
12	月（円弧状面）	グレイ
13	ドーナツ（同心円面）	薄黄緑
14	台形	薄青
15	二等辺三角形	濃ピンク
16	ハート図形	青
17	菱形	アイボリー
18	星形	黄

[0036]

[表3A]

	番号		アイコン	アイコンの意味概要	指定コメント
A			顔系		
1	11			人（自分および他人）を含めた関係を表す。アイコンの傾きは思考の偏りを表し、逆転の場合は、自己否定や他人軽視を表す。閉鎖空間（A3）に存在する場合は孤独や独自性を表す、他のアイコンとの接合は別途意味探索が必要	人と関係したい。対象化したい人が居る。人を無視できない。大事な人が居る。嫌な人が居る。
B			○系		
2	1			柔らかい対象物を表す。和や円満を表し、協調性の容易さを表す。チェックシートのラインとの接合は漠然とした依頼や安心感を表す。閉鎖空間に存在する場合は、なんとなくの自分の孤独感を表す。	やさしさ。温かさ。ゆったりした。緊張していない。穏やかな。
3	5			柔らかい対象物を表す。和や円満を表し、協調性での柔軟性を表す。チェックシートのラインとの接合は漠然とした依頼や安心感を表す。閉鎖空間に存在する場合は、なんとなくの自分だけでない孤独感を表す。アイコンの傾きは思考の不安定を表し、依頼心が強い場合もある。選択する場合は幾分ユニークな面を持っている。	柔和な。良い人。人（人間）。卵、生暖かい。安心できる。
C			立体系		
4	13			柔らかい対象物を表す。和や円満を表すものの、他との協調性は薄い。チェックシートのラインとの接合は漠然とした虚脱感や安心感を表す。閉鎖空間に存在する場合は、なんとなくの自分の孤独感の強い主張が存在する場合がある。アイコン（9：矢印）との結合は、強い充足感を要求している。	違和感。穴のあいた。逃げたい。隠したい。動く。車。走る。
5	4			強い存在感を意識させるものの、あまり深い意味は存在しない。アイコンの面白さゆえに取り上げることが多い。時として宝物を表す場合があり、残る幼稚性を表す場合もある。アイコンの傾きは不安定さに鈍感な意識が存在する。案外容易な意識が存在する場合もある。	充実したい。満足したい。豊富な。
6	10			単独の場合は、強い存在感を表し、他のアイコン（7／14）との接合は、単なる存在である場合が多い。チェックシートのラインとの接合は強い安定感を望み、こころの不安定を表す場合もある。選択する場合は幾分ユニークな面を持っている。	安定した。動かない。箱に入りたい。箱。
D			丸み角系		
7	8			あまり深い意味は存在しないものの、他のアイコンとの接合には多様な可能性があり、評価する場合は、複合的な評価が必要である。選択する場合は幾分ユニークな面を持っている。	気になる人。怖い人。
8	3			選択する場合はかなりユニークな面を持っている。一般には選択することが少なく、全体構成上も使いにくい。人の胴として使用する場合などもあまり深い意味はない。	薬。依頼心のある。頼りたい。落ち着いた。

[0037]

[表3B]

E			四角系		
9	2			チェックシートのラインや角と接合する場合は、強い安定性や安心感を望み、雑然とした雰囲気は望まない。整理整頓を好み、いい加減なことは好まないことが多いが、時としてそうでない場合もある。家の中心として使用する場合（7との接合）は単なる造形だけでなく、家としての意識があり、注目する必要がある。	普通と同じ。
10	6			チェックシートのラインや角と接合する場合は、強い安定性や安心感を望み、雑然とした雰囲気は望まない。整理整頓を好み、いい加減なことは好まないことが多い。家の中心として使用する場合（7との接合）は単なる造形だけでなく、家としての意識があり、注目する必要がある。幾分ユニークさを好む場合もあり、矢印（9）との接合には注目する必要がある。	普通と少し異なった。
F			ひし形系		
11	14			強い安定を望み、依頼心は少ない場合が多い。逆転は不安定さを表し、依頼や助けを必要としている場合もある。家として（2）との接合は、別の意味を持ち、家族の結束を望んでいる場合もある。	安定した。簡単には動かない。上昇志向。
12	17			標準形の場合は強い不安定を表すものの、感覚が鈍い場合もあり、不安定は問題ない場合もある。普通は傾いて付与される場合が多く、安定を表す。アイコン（7）との接合は傾いた家を表し、家族内での不安定さを示す場合がある。強い自己主張は少なく、依頼心が強い場合があり、充足の必要がある。	こだわり。不安定。落ち着きたくない。
G			シャープ系		
13	7			45度の傾斜で逆△の配置は強い不安定感を表し、こころの動揺を示す場合がある。チェックシートの四隅に2面接合の場合は、強い依頼心を持ち、安定や安心を求めている場合が多い。アイコン（2）との接合は家を表し、家や家族としての分析が必要である。	危険な。窮屈な。シャープな、危険な。怪しい。
14	15			シャープさや鋭さを表し、強い要求を表す場合もある。刀としての意味と矢印としての意味があり、峻別する必要がある。刀としての配置の場合は、向きに注意して、意味を解釈する必要がある。特にアイコン（11）との接合には注目する必要がある。アイコン（1/5）の場合も同様である。	切れる。危ない。刺す。刺される。錐。
H			ユニーク系		
15	9			一としての配置が主であるが、槍としての意味も含んでいる。特にアイコン（11）との接合には注目する必要がある。アイコン（1/5）の場合も同様である。また、特定空間からの脱出や解放を意味する場合があり、A1/A3/A4における方向性に注目する必要がある。	注目。見る。ここ。視点。
16	12			単なる月としての使用と、アイコン（11）との接合による造形的な配置の場合がある。チェックシートの上部に存在する場合は心配はない。A1/A3/A4に存在する場合、強い孤独感を表す場合がある。	不安。怖い。なんとなく。はっきりしない。
17	18			チェックシートの上部に存在する場合は、希望や喜びを表すものの、下部に存在する場合は、絶望感を表し、助けを求めている場合がある。A5に配置される場合は、自己主張があり、A1に配置される場合は、強い安心感を表す。A3の場合は宝物としての存在を表し、大事にされているとこの主張である場合が多い。	希望。願い。期待。
18	16			本来、色の影響を受けるものであるが、青という色は消極的な愛や好きを表す。単独にA1/A3/A4に存在する場合は、自分なりの密かな楽しみや希望が存在する。アイコンの傾斜は不信感や不快感をあらわすことがあり、チェックシートの下部に存在する場合は注意する必要がある。	気持ち。好き。優しい。

[0038] [表4]

	Total		採用したアイコンの数を表し、数が多い場合は、積極性や多様性を示す。逆に少ない場合は、消極性や慎重さを示す。規定を超えてアイコンを採用した場合は、不注意や自己主張の強さなどがあり、注目すべきである。規定よりも少ない場合は、自己否定的で包み隠しの傾向が強く、コミュニケーションが取りにくい。
α	A系		A系はチェックシートのライン（線／枠）以外の場所にアイコンが付与されている場合のアイコンの数である。チェックシートの線成分を踏まないということである。
β	O系		O系はTotalからA系を引いたもので、Oの場合は、チェックシートの線成分（線や枠）の上にアイコンが存在しないことを表している。慎重さや一線を踏み越えられない意識も存在するが、消極的というわけではない。
	アイコン総数		指定コメント
カ ウ ン ト	2-5	少ない	自分のことを知られたくない。隠したい。めんどろくさい。注意欠陥、意識低下
	6-10	普通	はみ出しがない。制約に弱い。ありきたり。
	11-17	多い	注意欠陥、のぼせ、意識過剰、はしやぎすぎ。
アイコン重 接	重合		積極性や打破する力が存在する。数が多い場合は多様性の度合いを表し、形成された図形は意味付けを評価した上で、検討する必要がある。
	接合		積極性や打破する力が存在するが、慎重さも同時に存在している。数が多い場合は多様性や思考の広がりがあり、形成された図形は意味付けを評価した上で検討する必要がある。
ライン接合	1接		下枠に接する場合は、強い安定や安心感があるものの、それを望むという傾向も存在する。チェックシートの枠以外のライン（線や角）に接する場合は、依頼心や強固心および安心感を表し、同時に求めている。上部の枠に接する場合は、不安や虚脱感を示す場合がある。
	2接		チェックシートの線の四隅のどこかに接合する場合は、強い安定や安心を示し、また同時に求めている。数はその強さを表している。枠以外のライン（線）に接する場合は、意外性を好み、他と異なる自己主張が存在する。探索ではアイコン同士の接合を含めて検証する必要がある。
	アイコン番号 11/		存在の場所によって、人（本人・人）の置かれた状態を示す（詳細は別途記載）
	アイコン番号 18/		存在の場所によって、希望の置かれた状態を示す（詳細は別途記載）
	アイコン番号 12/		存在の場所によって、意識の置かれた状態を示す（詳細は別途記載）
	アイコン番号 16/		存在の場所によって、気持ちの置かれた状態を示す（詳細は別途記載）
	アイコン番号 9/		存在の場所によって、方向性の置かれた状態を示す（詳細は別途記載）
	アイコン番号 11/12		存在の場所によって、象徴された人（本人・人）の置かれた状態を示す（詳細は別途記載）
	アイコン番号 11/15		存在の場所によって、他との強い関係人（本人・人）の置かれた状態を示す（詳細は別途記載）

[0039]

[表5]

	特定パターン	定義	指定コメント
特定状況	密集配置	ある特定の付近にアイコンが多く密集している状態	強い依頼心。強いこだわり。攻撃性。偏向性。妬み嫉妬。凝集力。いい加減に出来ない。
	分散配置	全体または一部のエリアにアイコンが分散して配置されている状態	散らかす。意識散漫。殻を破れない。不明な不安。頼れない。
	バランス配置	エリアや線成分でアイコンがバランス良く配置されている状態	平等意識、平均化意識。バランス感覚、不安解消。不安分散。細分化意識。
	偏差配置	チェックシートの上下左右を含めて、特定の側（左右）や部（上下）にアイコンが配置されている状態	散漫な気持ち。好き勝手。適当。意識の偏差。優柔不断。
	底辺配置	チェックシートの底辺にアイコンが密着または近接して配置される状態（非バランス状態）	安定志向。依存心。安心を求める。自信がある。現状に対する強い意識。異動しない。
	はみ出し配置	アイコンの1つ以上がチェックシート枠の外にはみ出している状態（線を踏んでいる）	意識過剰、いい加減。のぼせ。対象の排除。迷い。戸惑い。
	上部配置	ほとんどのアイコンが上部に配置されている状態（非バランス状態）	不安定な意識。上昇志向。希望。望み。第一の・・・最初の・・・
	D o l l 配置	アイコンの配置でD o l l（人形）を形成しようとする傾向が見られる状態	人意識、ターゲット。その人、この人、あの人。人形。形見。攻撃対象。仮身。
	左右配置	ほとんどのアイコンが左側と右側に配置されている状態（非バランス状態）	不安定。分離意識。中心からの逃避。中心に対する恐怖。
	上下配置	ほとんどのアイコンが上部と下部に配置されている状態（非バランス状態）	不安。なんとなく恐怖。よくわからない不安。

[0040] [表6]

		特定パターン	指定コメント
特定状況の 解釈 o n（有） ／o f f（無）		重合	強い意識下行動。偏屈。意識表現。偏重思考。意識過剰。規則無視。身勝手。融合意識。
		接合	興味のある近接心。意識された間隔。依頼心。共感をのぞむ。対話や関係を望む。
		ライン接合	強い依頼心。安定感を望む。寂しさからの脱出。規則に従う意識。以心伝心。

[0041] [表7]

番号	指定	項目	定義	見本
1	A	箇数	付与されたアイコンの箇数(はみ出したアイコンも含む)	
2	B		このアイコンが存在する場合は、「1」と入力される	
3			このアイコンが存在する場合は、「1」と入力される	
4			このアイコンが存在する場合は、「1」と入力される	
5			このアイコンが存在する場合は、「1」と入力される	
6			このアイコンが存在する場合は、「1」と入力される	
7			このアイコンが存在する場合は、「1」と入力される	
8	C	密集配置	多くのアイコンがどこかのエリアで集まって(接合・重合)付与されている場合	図18A参照
9		分散配置	アイコンがほとんど分散して付与されている場合	図18B参照
10		バランス配置	各エリアに一個ずつのようにバランスよく付与されている場合	図18C参照
11		偏差配置	塊(クラスター)があるように重合してアイコンが付与されている場合	図18D参照
12		底辺配置	底の方(底辺を含む)に3つ以上のアイコンが付与されている場合	図18E参照
13		上部配置	上部の方に3つ以上のアイコンが付与されている場合	図18F参照
14		上下配置	上部と底辺部にアイコンが付与されていて、中層(上下以外)部分にアイコンがない場合	図18G参照
15		左右配置	右側や左側にアイコンが付与されていて、中間(左右以外)部分にアイコンがない場合	図18H参照
16	D	はみ出し配置	アイコンが外枠のラインをはみ出して付与されている場合、外枠のラインを踏んでいる場合も含む	図18I参照
17	E	DOIL配置	顔および円形アイコンが指定位置(A4/A5)に付与されている場合と、その他の位置で人形(頭と胴)のように付与されている場合	図18J参照
18	F	重合	アイコン同士が重なって付与されている場合	図18K参照
19		接合	アイコン同士が線や面や点で接触して付与されている場合	図18L参照
20		近接	3つ以上のアイコンがやや接触しそうな位近づいて付与されている場合	図18M参照

[0042]

[表8]

テーブル	表、図	主な内容
テーブル1	表1A	ラインの定義
	表1B	コーナの定義
	表1C	エリアの定義
	表1D	接点の定義
テーブル2	表2	アイコンの種類の定義
	表3	アイコンの意味
	表4	アイコン総数の意味
	表7	重合・接合等
テーブル3	図3A～図3L	チェックシート上のどの位置にアイコンが存在するかによる意味付け
テーブル4	図4A～図4D	複数のアイコン間又はアイコンとライン間の位置関係による関係性(アイコン関係性)による意味付け
テーブル5	表5 表7 図9A～図9H	特定状況・特定パターンの定義(10種)
	表6	特定状況、重合・接合・ライン接合の定義
テーブル6	表7 図9H 図10	特定アイコンの出現による意味付け(ドール)

[0043] 被験者により、図1に示すチェックシートにアイコンが選択、貼付される。なお、図示しないコンピュータにも図1に示すアイコンと同一のアイコンが格納されている。本願発明においては、アイコンの貼付箇수에制限が設けられ、10箇所以上15箇所に以内に設定される。

[0044] その理由は、本願発明では、個々人の状況を単独にみていくというより、大量の被験者を想定する必要があるため、このため、貼付箇数の制限を行なうのである。よって本願発明では、下限の箇数でもフラストレーションを起こさないと判定される程度までアイコンが小型化される。換言すれば、本願発明ではアイコンをチェックシートに貼付する場合、空間占有率が小となり、貼付の自由度が失われるため、貼付の自由度を確保するために、アイコン自体が縮小される。これにより、チェックシートに貼付したときの空間認識が拡大するからである。

[0045] コンピュータの記憶手段(図示省略)には、上記したところのチェックシ

ートに記載されたライン、エリア、コーナ及び接点の定義を予めテーブル 1 として格納し、また上記したところのアイコンの種類及びその意味の定義をテーブル 2 として格納する。

[0046] 上記記憶手段のテーブル 3 には、上記チェックシートのどの位置に、即ち各ライン、各コーナ、各エリア及び各接点のいずれかに上記アイコンが存在するかによって、図 3 A 乃至図 3 L の如く意味付けされた定義及びコード番号が格納される。

[0047] 上記記憶手段のテーブル 4 には、複数のアイコン間又はアイコンとライン間の位置関係による関係性（アイコン関係性）により、図 4 A 乃至図 4 D の如く意味付けされた定義及びコード番号が格納される。

なお、図 5 A 乃至図 5 C は上記テーブル 3 のロジックコメントのコード表（単独）であり、図 6 は上記テーブル 3 のロジックコメントのコード表（重合）である。また図 7 A 乃至図 7 C は検査分析用のマスターシートであり、図 8 は本部コンピュータ用のマスターシートである。

上記記憶手段のテーブル 5 には、表 5 及び表 7 の如く定義された特定パターンが特定状況として格納される。10 種の特定パターンについては図 9 A 乃至図 9 G に基づき後述する。また上記記憶手段のテーブル 5 には表 6 に示す「重合」「接合」「ライン接合」さらには後記する「近接」について定義された特定パターンも格納される。

[0048] 上記記憶手段のテーブル 6 には、特定アイコンの出現による意味付けについて、表 7 並びに図 9 G 及び図 10 の如く予め規定された定義が格納される。

[0049] 表 3 A 及び表 3 B 並びに表 4 で述べた各アイコンは次の 8 個のグループに仕分けされ、前記各テーブルに格納されている次の指定コメントをもっている。

A 系（人系） : 顔

人と関係したい。対象化したい人が居る。人を無視できない。大事な人が居る。嫌な人が居る。

B系（円系）：円、楕円

円：やさしさ。温かさ。ゆったりした。緊張していない。穏やかな。

楕円：柔和な。良い人。人（人間）。卵、生暖かい。安心できる。

C系（立体系）：ドーナツ、円柱、立方体

ドーナツ：違和感。穴のあいた。逃げたい。隠したい。動く。車。走る。

。

円柱：充実したい。満足したい。豊富な。

立方体：安定した。動かない。箱に入りたい。箱。

D系（丸み角系）：正八角形、正五角形

正八角形：気になる人。怖い人。

正五角形：薬。依頼心のある。頼りたい。落ち着きたい。

E系（四角系）：長方形、正方形

長方形：普通と同じ。

正方形：普通と少し異なった。

F系（菱形系）：台形、菱形

台形：安定した。簡単には動かない。上昇志向。

菱形：こだわり。不安定。落ち着きたくない。

G系（シャープ系）：直角三角形、二等辺三角形

直角三角形：危険な。窮屈な。シャープな、危険な。怪しい。

二等辺三角形：切れる。危ない。刺す。刺される。錐。

H系（ユニーク系）：矢印、月、星、ハート図形

矢印：注目。見る。ここ。視点。

月：不安。怖い。なんとなく。はっきりしない。

星：希望。願い。期待。

ハート図形：気持ち。好き。優しい。

[0050] また表5に示す「特定状況」とは、本実施の形態では、以下に述べる10種の特定パターンが定義される。次に記述する。

[0051] 図9A乃至図9Gはテーブル5の特定状況についての仕様であり、図9A

は「密集配置」の算出口ジック、図9Bは「分散配置」の算出口ジック、図9Cは「偏差配置」の算出口ジック、図9Dは「底辺配置」の算出口ジック、図9Eは「上部配置」の算出口ジック、図9Fは「はみ出し配置」の算出口ジック、図9Gは「ドール（DOLL）配置」の算出口ジックを示す。

[0052] 上記各特定状況の定義及び算出口ジックを次に示す。

密集配置とは、近接する2つのエリア、または近接する3つのエリア内に全てのアイコンの重心が存在する場合をいう。例えばエリアA2、A10、A9の如きである。

算出口ジックは次の通りである。

（ア）エリアA4は、エリアA1、またはエリアA8いずれかの一部として判断される。またエリアA5はエリアA3またはエリアA8いずれかの一部として判断とされる。

（イ）エリアA1～A13に属さないアイコンが存在する場合は「密集配置」ではない。

近接するエリアの組み合わせは次の58通りである。

<1>エリアA1とA6、<2>エリアA1とA7、<3>エリアA1とA8、<4>エリアA2とA3、<5>エリアA2とA6、<6>エリアA2とA10、<7>エリアA2とA11、<8>エリアA2とA12、<9>エリアA3とA8、<10>エリアA3とA9、<11>エリアA6とA7、<12>エリアA6とA8、<13>エリアA6とA13、<14>エリアA7とA8、<15>エリアA8とA9、<16>エリアA9とA10、<17>エリアA10とA11、<18>エリアA11とA12、<19>エリアA12とA13、

<20>エリアA1とA6とA7、<21>エリアA1とA6とA8、<22>エリアA1とA2とA6、<23>エリアA1とA6とA13、<24>エリアA1とA7とA8、<25>エリアA1とA3とA8、<26>エリアA1とA8とA9、<27>エリアA2とA3とA6、<28>エリアA2とA3とA10、<29>エリアA2とA3とA11、<30>エリ

ア A 2 と A 3 と A 1 2、＜3 1＞エリア A 2 と A 3 と A 1 3、＜3 2＞エリア A 2 と A 3 と A 8、＜3 3＞エリア A 2 と A 3 と A 9、＜3 4＞エリア A 2 と A 6 と A 7、＜3 5＞エリア A 2 と A 6 と A 8、＜3 6＞エリア A 2 と A 6 と A 1 0、＜3 7＞エリア A 2 と A 6 と A 1 1、＜3 8＞エリア A 2 と A 6 と A 1 2、＜3 9＞エリア A 2 と A 6 と A 1 3、＜4 0＞エリア A 2 と A 1 0 と A 1 1、＜4 1＞エリア A 2 と A 1 0 と A 1 2、＜4 2＞エリア A 2 と A 9 と A 1 0、＜4 3＞エリア A 2 と A 1 1 と A 1 2、＜4 4＞エリア A 2 と A 1 2 と A 1 3、＜4 5＞エリア A 3 と A 6 と A 8、＜4 6＞エリア A 3 と A 8 と A 9、＜4 7＞エリア A 3 と A 7 と A 8、＜4 8＞エリア A 3 と A 9 と A 1 0、＜4 9＞エリア A 6 と A 7 と A 8、＜5 0＞エリア A 6 と A 7 と A 1 3、＜5 1＞エリア A 6 と A 8 と A 1 3、＜5 2＞エリア A 6 と A 8 と A 9、＜5 3＞エリア A 6 と A 1 2 と A 1 3、＜5 4＞エリア A 7 と A 8 と A 9、＜5 5＞エリア A 8 と A 9 と A 1 0、＜5 6＞エリア A 9 と A 1 0 と A 1 1、＜5 7＞エリア A 1 0 と A 1 1 と A 1 2、＜5 8＞エリア A 1 1 と A 1 2 と A 1 3。（図 9 A）。

[0053] 分散配置とは、ラインに近接していないエリアに 1 個、または 2 個のアイコンが存在する場合をいう。この場合、エリア A 1、A 2、A 3 は近接するラインの対象とはしない。

算出口ジックは次の通りである。

（ア）エリア A 1、A 2、A 3 のいずれかに 2 つ以上アイコンがある場合、

（イ）A 1 ～ A 1 3 に属さないアイコンがある場合、

（ウ）A 4 ～ A 1 3 のいずれかに 3 個以上のアイコンがある場合は分散配置ではない。

（エ）また＜1＞エリア A 6、A 7 に属するアイコンが 1 つでも存在する場合、＜2＞エリア A 6、A 8 に属するアイコンが 1 つでも存在する場合、＜3＞エリア A 6、A 1 3 に属するアイコンが 1 つでも存在する場合、＜4＞エリア A 7、A 8 に属するアイコンが 1 つでも存在する場合、＜5＞エリ

ア A 8、A 9 に属するアイコンが 1 つでも存在する場合、＜6＞エリア A 9、A 10 に属するアイコンが 1 つでも存在する場合、＜7＞エリア A 10、A 11 に属するアイコンが 1 つでも存在する場合、＜8＞エリア A 11、A 12 に属するアイコンが 1 つでも存在する場合、＜9＞エリア A 12、A 13 に属するアイコンが 1 つでも存在する場合分散配置ではない（図 9 B）。

[0054] バランス配置とは、1 箇のエリア内に最大 1 個のアイコンのみ存在する場合をいう。

算出口ジックは次の通りである。次の場合は「バランス配置」とはならない。

＜1＞エリア A 1 ～ A 13 に属さないアイコンが存在する場合、

＜2＞1 箇のエリア内に 2 個以上のアイコンが存在する場合、

＜3＞規定数以下、規定数以上のアイコンが存在する場合

[0055] 偏差配置とは、最外側の 2 箇のエリア内に全てのアイコンが存在する場合をいう。ただし、エリア A 4、A 5 については、エリア A 8 として判断される。

算出口ジックは次の通りである。次の場合は偏差配置である。（図 9 C）

＜1＞アイコンがエリア A 6、A 7 すべて存在する場合

＜2＞アイコンがエリア A 6、A 13 すべて存在する場合

＜3＞アイコンがエリア A 7、A 8 すべて存在する場合

＜4＞アイコンがエリア A 8、A 9 すべて存在する場合

＜5＞アイコンがエリア A 9、A 10 すべて存在する場合

＜6＞アイコンがエリア A 10、A 11 すべて存在する場合

＜7＞アイコンがエリア A 11、A 12 すべて存在する場合

＜8＞アイコンがエリア A 12、A 13 すべて存在する場合

[0056] 底辺配置とは、底辺エリア A 11、A 12、A 13 内にすべてのアイコンが存在する場合をいう。

よってこの算出口ジックによる底辺配置の組合せは次の 7 通りである（図 9 D）。

- <1>エリアA 1 1
- <2>エリアA 1 2
- <3>エリアA 1 3
- <4>エリアA 1 1とA 1 2
- <5>エリアA 1 1とA 1 3
- <6>エリアA 1 2とA 1 3
- <7>エリアA 1 1、A 1 2及びA 1 3

[0057] 上部配置とは、上部エリアA 7，A 8，A 9内にすべてのアイコンが存在する場合をいう。

よってこの算出口ジックによる上部配置の組合せは次の7通りである（図9 E）。

- <1>エリアA 7
- <2>エリアA 8
- <3>エリアA 9
- <4>エリアA 7とA 8
- <5>エリアA 7とA 9
- <6>エリアA 8とA 9
- <7>エリアA 7、A 8及びA 9

[0058] はみ出し配置とは、すべてのアイコンが外側のラインL-1乃至L-7のいずれかを踏んでいるか、または外側にはみ出している場合をいう。

はみ出し配置の算出口ジックは、アイコンの重心位置では無く、解析エンジンからのエリア、ライン情報により判断される。すべてのアイコンが図9 Fに示す8個のエリア、即ち

- <1>OUT U/L
- <2>OUT U
- <3>OUT U/R
- <4>OUT R
- <5>OUT D/R

<6>OUT D

<7>OUT D/L

<8>OUT L

のフラグがオン（ON）の場合、「はみ出し配置」と判断される。

[0059] 上下配置とは、上部エリアA-7、A-8及びA-9内及び下部エリアA-13、A-12及びA-11内にすべてのアイコンが存在する場合をいい、これが算出口ジックである。

[0060] 左右配置とは、左側エリアA-7、A-6及びA-13内及び右側エリアA-9、A-10及びA-11内にすべてのアイコンが存在する場合をいい、これが算出口ジックである。

[0061] ドール（DOLL）配置とは、エリアA4、A5にDOLLの顔となるアイコンが存在する場合をいう。

ドール（DOLL）配置の算出口ジックは次の通りである。まず顔となりうるアイコンは、

顔（アイコン番号11）

円（アイコン番号1）

楕円（アイコン番号5）

ドーナツ（アイコン番号13）

星（アイコン番号18）である。

[0062] また上記顔アイコンに次の胴アイコンが貼付されている場合にも「DOLL配置」と認識される（図9G）。

<1>顔アイコン（アイコン番号11）に、円柱（アイコン番号4）、立方体（アイコン番号10）、正方形（アイコン番号2）、長方形（アイコン番号6）、正八方形（アイコン番号8）、正五角形（アイコン番号3）及び台形（アイコン番号14）が組み合わされた場合

<2>円アイコン（アイコン番号1）に、円柱（アイコン番号4）、立方体（アイコン番号10）、正方形（アイコン番号2）、長方形（アイコン番号6）、正八方形（アイコン番号8）、正五角形（アイコン番号3）及び台形

（アイコン番号１４）が組み合わされた場合

<３>楕円アイコン（アイコン番号５）に、円柱（アイコン番号４）、立方体（アイコン番号１０）、正方形（アイコン番号２）、長方形（アイコン番号６）、正八方形（アイコン番号８）、正五角形（アイコン番号３）及び台形（アイコン番号１４）が組み合わされた場合

<４>ドーナツアイコン（アイコン番号１３）に、円柱（アイコン番号４）、立方体（アイコン番号１０）、正方形（アイコン番号２）、長方形（アイコン番号６）、正八方形（アイコン番号８）、正五角形（アイコン番号３）及び台形（アイコン番号１４）が組み合わされた場合

<５>星アイコン（アイコン番号１８）に、円柱（アイコン番号４）、立方体（アイコン番号１０）、正方形（アイコン番号２）、長方形（アイコン番号６）、正八方形（アイコン番号８）、正五角形（アイコン番号３）及び台形（アイコン番号１４）が組み合わされた場合

[0063] 図１０はドール（ＤＯＬＬ）配置の詳細を判定するために別途設けられた基準を示す。これもまたコンピュータの記憶手段に格納されている。

[0064] 次に、表６で述べた「重合」、「接合」、「ライン接合」及び「近接」について説明する。「重合」とはアイコン同士が重なり合う状況のことを指称し、「接合」とはアイコン同士の周辺部が接する状態のことを指称し、チェックシートのラインとアイコンの周辺部が接する「ライン接合」も含まれる。「近接」とは、アイコンがアイコン及びチェックシートのラインと接する状態のことを指称する。

[0065] 表７は、コンピュータに入力されるアイコンの意味を示すテンプレートである。表７に基づき、被験者によりピックアップされチェックシートに貼付されたアイコンシールの有無が入力される。なお、アイコンの貼付状況の認定は、コンピュータが判断できない場合、表７に基づき担当者が行なうことがある。

[0066] 表７において「指定」欄Ａ～Ｆは次の意味がある。

Ａ：箇条指定

B：特定アイコンの選択指定

C：配置指定

D：はみ出し指定

E：人形（DOLL）指定

F：重合、接合、近接指定

[0067] 表7に基づき、チェックシートに貼付済アイコンがあれば、そのアイコン番号が入力される。例えば、指定欄Bに「円柱」があれば「1」が入力され、無ければ「0」が入力される。また指定欄Cの「密集配置」「分散配置」「バランス配置」「偏差配置」「底辺配置」「上部配置」「上下配置」「左右配置」の認定は、図18A乃至図18M参照の典型例に基づいてなされ、有れば「1」が入力され、無ければ「0」が入力される。コンピュータが判断できない場合、表7に基づき担当者が行なうことがある。同様に、指定欄Dにおいて「はみ出し配置」と認定されれば「1」が入力され、無ければ「0」が入力される。指定欄Eにおいて「DOLL配置」と認定されれば「1」が入力され、無ければ「0」が入力される。指定欄Fにおいて「重合」「接合」「近接」と認定されれば「1」が入力され、無ければ「0」が入力される。

[0068] 表7 C欄乃至F欄の各項目の定義は次の中欄の記載の通りである。

密集配置：多くのアイコンがどこかのエリアで集まって（接触・重合）貼付されている場合（図18Aの典型例参照）

分散配置：アイコンがほとんど分散して貼付されている場合（図18Bの典型例参照）

バランス配置：各エリアに一個ずつのようにバランスよく貼付されている場合（図18Cの典型例参照）

偏差配置：塊（クラスター）があるように重合してアイコンが貼付されている場合（図18Dの典型例参照）

底辺配置：底の方（底辺を含む）に3つ以上のアイコンが貼付されている場合（図18Eの典型例参照）

上部配置：上部の方に3つ以上のアイコンが貼付されている場合（図18Fの典型例参照）

上下配置：上部と底辺部にアイコンが貼付されていて、中層（上下以外）部分にアイコンがない場合（図18Gの典型例参照）

左右配置：右側や左側にアイコンが貼付されていて、中間（左右以外）部分にアイコンがない場合（図18Hの典型例参照）

はみ出し配置：アイコンが外枠のラインをはみ出して貼付されている場合、外枠のラインを踏んでいる場合も含む（図18Iの典型例参照）

DOLL配置：顔および円形アイコンが指定位置（A4／A5）に貼付されている場合と、その他の位置で人形（頭と胴）のように貼付されている場合（図18Jの典型例参照）

重合：アイコン同士が重なって貼付されている場合（図18Kの典型例参照）

接合：アイコン同士が線や面や点で接触して貼付されている場合（図18Lの典型例参照）

近接：3つ以上のアイコンがやや接触しそうな位近づいて貼付されている場合（図18Mの典型例参照）

図18A乃至図18Mに表7の「見本」欄に記す典型例を示す。

[0069] 指定欄Cでは、通常1個の項目を選択するが、2個まで選択してもよいように設定されている。これにより、まず配置状況を把握することができる。ただし、上下左右の位置を表すものに関しては、重合でも矛盾を生じない組合せがあるので、これを認めるよう設定される。

[0070] かかる構成のコンピュータを用いて被験者の精神構造を判定する。被験者は制限時間（約5分）内において所望のアイコンを所定数（10箇所以上15箇所以内）上記チェックシートの所望の場所に貼付する。このアイコンが貼付されたチェックシートを図12のフロー図に基づいて、S1よりS16までのステップを踏んでコンピュータ処理していくのである。

[0071] 次に、コンピュータによる処理手順を図12に基づき説明する。まずアイ

コンが貼付されたチェックシートが本部コンピュータに読み込まれる（S 1）。次いで、貼付されたアイコンの総数が計数される（「カウントアップ」・S 2）。

[0072] 次いでアイコン貼付の特定状況が判定される。特定状況の判定は「密集配置」（S 3）、「分散配置」（S 4）、「バランス配置」（S 5）、「偏差配置」（S 6）、「底辺配置」（S 7）、「上部配置」（S 8）、「はみ出し配置」（S 9）、「ドール（DOLL）配置」（S 10）、「上下配置」（S 11）、「左右配置」（S 12）の全部又は一部に該当するか否かについての判定である。一連の「特定状況」（S 3乃至S 12）の判定ステップは、アイコンの貼付状況を抽出するステップである。

[0073] 特定状況「有」（on）の場合次のように判定される。

密集配置：強い依頼心。強いこだわり。攻撃性。偏向性。妬み嫉妬。密集力。いい加減に出来ない。

分散配置：散らかす。意識散漫。殻を破れない。不明な不安。頼れない。

バランス配置：平等意識、平均化意識。バランス感覚、不安解消。不安分散。細分化意識。

偏差配置：散漫な気持ち。好き勝手。適当。意識の偏差。優柔不断。

底辺配置：安定志向。依存心。安心を求める。自信がある。現状に対する強い意識。異動しない。

はみ出し配置：意識過剰、いい加減。のぼせ。対象の排除。迷い。戸惑い。

上部配置：不安定な意識。上昇志向。希望。望み。第一の・・・。最初の・・・。仮身。

DOLL配置：人意識、ターゲット。その人、この人、あの人。人形。形見。攻撃対象

左右配置：不安定。分離意識。中心からの逃避。中心に対する恐怖。

上下配置：不安。なんとなく恐怖。よくわからない不安。

[0074] 次に、選択、貼付されたアイコンについて、「重合」（S 13）、「接合

」(S 1 4)及び「ライン接合」(S 1 5)が判定される。これらのステップにより、被験者の性格の屈折方向性(「direction」)が判断される。例えば「重合」の多い場合は偏向性が強い傾向があり、反対に「ライン接合」の多い場合は安定感を望む傾向がある。詳しくは次の如くである。

重合：強い意識下行動。偏屈。意識表現。偏重思考。意識過剰。規則無視。身勝手。融合意識。

接合：興味のある近接心。意識された間隔。依頼心。共感をのぞむ。対話や関係を望む。

ライン接合：強い依頼心。安定感を望む。寂しさからの脱出。規則に従う意識。以心伝心。

[0075] ドール(DOLL)配置の判定に関しては顔と胴の形成についての定義が格納されたテーブル6(図10)により判定される。この判定に関しては、必要により上記基準に基づき担当者が手動により処理結果を修正する。

[0076] かくして1人の被験者についての処理が終了すると(S 1 6)、ステップ1に戻り、次の被験者について上記した一連のステップを踏むことになる。

[0077] 次に、各ステップにおける評価の内容について説明する。

アイコンの総数をカウントするカウントアップによる評価は次の通りである。

<1>カウントアップ数に制限がない場合は次のように評価する。

0：回答拒否に相当し無反応又は単純拒否(したくない)と評価する。

1～17：意欲度、自己表現力、自己主張(多い：高い)と評価する。

18(ALL)：自己主張(かなり高い)、高意欲、高興味と評価する。

<2>カウントアップ数に制限がある場合(10以上18以下)

9以下：勘違い、低反応又は単純拒否(したくない)と評価する。

10～17(指定)：意欲度、自己表現力、自己主張(多い：高い)と評価する。

18 (ALL) : 勘違い、自己主張 (かなり高い)、高意欲、高興味と評価する。

[0078] 前述したように、精神構造つまり心のはたらきには扁桃体の反応として捉えられるものと、新皮質の反応として捉えられるものがある。人は刺激に対する反応として、扁桃体の反応が新皮質の反応より100msほど先行する。扁桃体の反応は、好き嫌い、危険を察知する、嫌悪感や違和感等が含まれる。扁桃体は、体内に入ってくる異物 (未知の物質も含まれる) に対して危険信号を発し、反射神経運動等が新皮質を経由しないで即座に行われる。

これに対して、新皮質の反応は、特定個人の経験や知識の影響を受けるものとして認識されている。これは、扁桃体の反応をすり抜けたものが最終的に新皮質の反応によって決定されることを意味する。

本願発明においては、選択、配置されたアイコンの分析において、扁桃体の反応のみで決定されたものと、新皮質の反応にまでたどりついたものがあるとの認識に根拠を置く。

[0079] この観点から、特定状況の解釈ステップにおける重合、接合、ライン接合の評価について説明する。

「重合」は、複数のアイコンが重なった状態を表し、扁桃体の反応として捉えられる。選択・貼付されるアイコンは人やモノの代表格として認識され、重合により、隠す、押しつぶすなどの潜在下の意識や傾向が表出される。

「接合」は、アイコン同士の周辺部が接する状態を表し、新皮質の反応として捉えられる。これは、密接な関係を表すものの、重合までは踏み出せない反応とみることができる。

「ライン接合」は、チェックシートのラインとアイコンの周辺部が接する状態を表し、扁桃体の反応として捉えられる。これは、違和感を代表するもので、稀な反応である。新皮質の反応があまり働かない無意識の反応としてとらえることができる。

「近接」は、アイコンが他のアイコン及びチェックシートの線成分と接する状態を表し、新皮質の反応である。

[0080] アイコン貼付による特定状況の判定は、次の3箇の条件での反応に分類され、扁桃体の反応が新皮質の反応より100ms先行することから、次のように評価される。

＜1＞採用されたアイコンと非採用のアイコン

この反応は、アイコンへの興味関心の反応としてとらえることができる。

よって、扁桃体の反応が優先し、感覚的な反応が先行することになる。また、興味関心だけでなく、必要性などの認識も判る。

＜2＞アイコンのエリアやチェックシートの線成分に影響を受けるもの

アイコンは、エリアや線成分に影響を受けて貼付される。つまりエリアやライン成分に対する影響の有無が観察の対象となる。

アイコン単独でない場合、扁桃体の反応だけでなく、後から新皮質の反応が加わる。つまり脳の反応は試行錯誤を必要とする状況になるが、選択貼付が非可逆反応であることから、結果的には、扁桃体の反応が優先する結果が観察されることになる。

＜3＞アイコン同士の相互作用

アイコンは単独だけでなく、近接や接合による相互作用を観察することができ、また場合によってはアイコン同士で上下や主従関係を表現している場合もある。

アイコンとチェックシートの線成分の関係は、動かせるもの（アイコン）と、動かせないもの（チェックシート）の関係となる。これに対してアイコンとアイコンの関係は動かせるということが異なるだけで、扁桃体の反応が新皮質の反応より100ms先行するため、この影響は前項の反応の他に、結果的に生ずるアイコンの選択貼付の前後関係が影響を受けることになる。つまり、アイコン同士の相互作用とは、アイコン単独の存在意義が離れて、アイコン同士の関係が生じさせることである。例えば、星アイコンと月アイコンは、天体としての認識から、上部に位置するも

のとして認識される。丸いアイコンと四角いアイコンとの組み合わせは、その形状から人形（ドール）を想起させる。

- [0081] 密集配置は、アイコンが特定のエリアやポイントに集中することである。密集は段階的に近接密集、接合密集、重合密集があり、内向性を表し、自らを集まりの中に隠し込んでしまう要求なども含まれる。この反応は好き嫌いに由来し、扁桃体の反応が優先する。
- [0082] 分散配置は、アイコンが密集せず、アイコン同士や線成分との距離が一定に保たれている状況である。分散配置は開放性、外向性を表わす。「自由のびのびと・・・」というように、扁桃体の反応がなかったかのように新皮質に到達する。つまり、分散配置は、新皮質の反応である。
- [0083] バランス配置は、エリアに1つずつなどのように、バランスよく配置されている場合である。これは分散配置の特別な状態であり、新皮質の反応である。新皮質にバランス感覚がない場合にはバランス配置が形成されない。
- [0084] 偏差配置は、密集配置ほどではなく、ややエリアにアイコンが偏って集中している状態である。つまり偏差配置はアイコンの分布が偏る場合であり、扁桃体の反応が優先して影響する。新皮質はあとからの修正を余儀なくさせられることから影響が小さい。
- [0085] 底辺配置は、枠の底辺にアイコンが位置している場合である。底辺配置は安定性を求める反応で、扁桃体よりも遅れた新皮質による反応である。
- [0086] 上部配置は、アイコンが上部の3箇のエリアに集中している場合である。上部配置は当たり前の感覚を保持するもので、アイコンとの関係が重要となる。例えば星や月は本来上部の空に位置するもので、通常感覚を代表する。星や月のアイコンが下部に配置された場合、新皮質に何らかの影響があると評価することができる。多くのアイコンが上部に配置された場合などは、不安を表している。不安は新皮質の反応であり、あとからの反応の影響が大きくなっていることが判る。
- [0087] 上下配置は、アイコンが上部と下部のエリアに位置して中央・中心部にアイコンがあまりない場合である。上下配置は、好き嫌いや違和感の感覚の影

響を受けた結果として表出する。つまり扁桃体の反応が優先される。

[0088] 左右配置は、アイコンが左右のエリアに位置している場合であり、論理反応であるので、新皮質の反応である。上下配置、左右配置の反応が出る頻度は少ない。

[0089] はみだし配置は、枠からの完全はみ出しと、部分はみ出しに分類される。完全はみ出しは、扁桃体の反応が優先された場合の反応であり、潜在的に存在していたものが、表出の場が与えられたことから反応したものと解釈される。部分はみ出しは、扁桃体の反応より新皮質の反応が優先される場合の反応であり、躊躇している状態もこの反応としてとらえることができる。

[0090] ドール配置は、下方に位置するアイコンが四角形類で上方に位置するアイコンが円形類の場合である。ドール配置は新皮質の反応であり、元々新皮質の反応の潜在化していたものが表出したものである。

[0091] アイコンは、それ自体に表3 A及び表3 Bに示す意味を含むことから、あるアイコンを選択することが自分自身の心のはたらきや状態を反映するため、内省的と解釈される。これに対して、アイコンがチェックシートという環境のどの位置、角度等に配置されるかという相互作用から解釈される場合、外省的和と扱われる。同様に、アイコン同士の相互作用についても外省的和と扱えることができる。つまり「内省的」とは、自分自身の心のはたらきや状態をかえりみることであり、「外省的和」とは、自分自身の心のはたらきや状態をかえりみることなく、外から意味や解釈を与えられることである。

[0092] 扁桃体の反応は、新皮質の反応より100ms先行することから、新皮質による思考・分析・判断に先行して、感覚系が先に反応する。つまり、視覚情報により網膜が反応し、扁桃体に伝わる。このとき、脳は新皮質の反応も加わり潜在的な反応が表出するのである。アイコン貼付は時間とともに飽きる反応も現れるが、興味や意欲が高ければ反応は持続し、貼付の数が増えることになる。カウントアップ数に制限がある場合にも、新皮質は範囲制限内で同様の反応をする。

[0093] 図11は記憶手段に格納されている処理仕様テーブルの内容を示し、これ

により処理された結果が検査結果として次のよう出力される。

アイコン部（カウント：貼付箇数）

アイコン部（特定状況）

アイコン部（アイコン貼付の位置状況）

アイコン部（採用アイコンの単独と組合せ状況）

[0094] コンピュータ処理されたデータは、本願発明による検査結果として本部コンピュータ内に保存される。

[0095] 図 1 1 に示すアイコンの並べ順について説明する。図 1 1 において、アイコンは左方から右方に向かって、丸みのあるアイコンから序々に角張ったアイコンが並べられる。この並べ順において、アイコン番号 1 2（月）、アイコン番号 1 8（星）及びアイコン番号 1 6（ハート図形）の設定は別立てとなっており、かつ並べ順は上記順に左方から右方に並べられる。

実施例

[0096] 図 1 3 乃至図 1 7 に被験者による実施例を示す。各図において、（A）は当該被験者によるアイコンの貼付例、（B）はこの貼付されたアイコンのロケーションを集計したコンピュータ内データをの処理を示す。

[0097] 図 1 3（A）において、被験者 0 0 0 1 の表 7 に基づくアイコンの貼付状況は次の通りである。

[0098]

[表9]

A (カウントアップ) : 1 3		
B (特定アイコンの選択指定) と出現箇所 :		
特定アイコンの選択指定 :	特定状況の出現箇所 :	図 3 A 乃至図 3 L の定義
アイコン番号 1 1 (顔) :	エリア A-5 :	ドール
アイコン番号 1 2 (月) :	エリア A-7 :	解放された
アイコン番号 1 3 (ドーナツ) :	エリア A-9 :	解放された
アイコン番号 1 6 (ハート図形) :	エリア A-4 :	
意中の対象の顕在化		
C ~ F (配置指定等) :		
	密集配置 :	0
	分散配置 :	0
	バランス配置 :	0
	偏差配置 :	0
	底辺配置 :	0
	上部配置 :	1
	上下配置 :	0
	左右配置 :	0
	はみだし配置 :	0
	ドール配置 :	1
	重合 :	1
	接合 :	1
	ライン接合 :	0

[0099] よって、被験者 0 0 0 1 はこの段階では、以下の如く判定される。

[0100] [表10]

特定アイコンの選択指定 :	特定状況の出現箇所 (エリア)	定義
(0 0 0 1)		
カウント : 1 3		適度な意欲
アイコン番号 1 1 (顔)	A 5	人間関係を拒否していない
アイコン番号 1 3 (ドーナツ)	A 9	違和感、脱力感など
アイコン番号 1 2 (月)	A 7	常識的な判断や思考ができる
アイコン番号 1 6 (ハート図形)	A 4	やさしさや配慮ができる
上部配置		やや不安な状況を抱えている
ドール配置		記憶・分析・判断などの能力が高い
重合		ある程度の人間関係を維持できる
接合		適度な距離で周りと付き合える

[0101] 図 1 4 (A) において、被験者 0 0 0 2 の表 7 に基づくアイコンの貼付状況は次の通りである。

[0102]

[表11]

A (カウントアップ) : 1 1		
B (特定アイコンの選択指定) と出現箇所 :		
特定アイコンの選択指定 :	特定状況の出現箇所 :	図 3 A 乃至図 3 L の定義
アイコン番号 4 (円柱) :	エリア A-1 0 :	余裕のある、問題のない
アイコン番号 1 1 (顔) :	エリア A-1 1 :	特定の人は、関係ないけど
アイコン番号 1 2 (月) :	エリア A-9 :	解放された
アイコン番号 1 5 (二等辺三角形) :	エリア A-1 0 :	余裕のある、問題のない
アイコン番号 1 6 (ハート図形) :	エリア A-1 1 :	誰にも分かってもらえそうにない気持ち
アイコン番号 9 (矢印) :	接点 X-5 (ライン L 9 と T A L 1 7 との交点) :	自分自身でなんとなく良くないことを気づいている
C ~ F (配置指定等) :		
	密集配置 : 0	
	分散配置 : 1	
	バランス配置 : 0	
	偏差配置 : 0	
	底辺配置 : 0	
	上部配置 : 0	
	上下配置 : 0	
	左右配置 : 0	
	はみだし配置 : 0	
	ドール配置 : 1	
	重合 : 1	
	接合 : 1	
	ライン接合 : 1	

[0103] よって、被験者 0 0 0 2 はこの段階では、以下の如く判定される。

[0104] [表12]

特定アイコンの選択指定 : (0 0 0 2)	特定状況の出現 箇所 (エリア)	定義
カウント : 1 1		やや低めな意欲
アイコン番号 1 1 (顔)	A-1 0 / 1 1	人間関係を拒否していない
アイコン番号 1 2 (月)	A 9	常識的な判断や思考ができる
アイコン番号 1 6 (ハート図形)	A 1 1	やさしさや配慮ができる
アイコン番号 4 (円柱)	A 1 0	本来存在感を表すものですが、ここでは 反射望遠鏡
アイコン番号 1 5 (二等辺三角形)	A 1 0	バランス台 (反射望遠鏡の) として使われる
アイコン番号 4 (円柱) + アイコン番号 1 5 (二等辺三角形)	— —	アイコン番号 4 (円柱) とアイコン 番号 1 5 (二等辺三角形) の組み合わせ は、反射望遠鏡みたいなものを表す (深い 意味は持たない)
分散配置		開放的、固執していない
ドール配置		記憶・分析・判断などの能力が高い
重合		ある程度の人間関係を維持できる
接合		適度な距離で周りと付き合える
ライン接合		依頼心がある。

[0105] 図 1 5 (A) において、被験者 0 0 0 3 の表 7 に基づくアイコンの貼付状況は次の通りである。

[0106]

[表13]

A (カウントアップ) : 13		
B (特定アイコンの選択指定) と出現箇所 :		
特定アイコンの選択指定 :	特定状況の出現箇所 :	図3A乃至図3Lの定義
アイコン番号4 (円柱) :	エリアA-10 :	余裕のある、問題のない
アイコン番号11 (顔) :	エリアA-1 :	特定の人は、関係ないけど
アイコン番号13 (ドーナツ) :	ラインL-16 :	
アイコン番号15 (二等辺三角形) :	エリアA-13 :	破壊意識や攻撃的意識が消えない
アイコン番号16 (ハート図形) :	エリアA-7 :	解放された
C~F (配置指定等) :		
密集配置 : 0		
分散配置 : 1		
バランス配置 : 0		
偏差配置 : 0		
底辺配置 : 0		
上部配置 : 0		
上下配置 : 0		
左右配置 : 0		
はみだし配置 : 0		
ドール配置 : 1		
重合 : 0		
接合 : 1		

[0107] よって、被験者0003はこの段階では、以下の如く判定される。

[0108] [表14]

特定アイコンの選択指定 :	特定状況の出現箇所 (エリア)	定義
(0003)		
カウント : 13		適度な意欲
アイコン番号11 (顔)	A-1	人間関係を拒否していない
アイコン番号13 (ドーナツ)	A-11 / 12	違和感、脱力感など
アイコン番号4 (円柱)	A10	させるものと解釈される。
アイコン番号15 (二等辺三角形)	A13	単独で傾きは、被験者の不安定な状況を表していると解釈する。
アイコン番号16 (ハート図形)	A7	やさしさや配慮ができる
分散配置		開放的、固執していない
ドール配置		記憶・分析・判断などの能力が高い
接合		適度な距離で周りと付き合える

[0109] 図16 (A) において、被験者0004の表7に基づくアイコンの貼付状況は次の通りである。

[0110]

[表15]

A (カウントアップ) : 1 1		
B (特定アイコンの選択指定) と出現箇所 :		
特定アイコンの選択指定 :	特定状況の出現箇所 :	図 3 A 乃至図 3 L の定義
アイコン番号 4 (円柱) :	エリア A-3 :	何かを対象化したい
アイコン番号 1 1 (顔) :	エリア A-1 :	特定の人を独占したり対象化したい
アイコン番号 1 2 (月) :	エリア A-7 :	解放された
アイコン番号 1 3 (ドーナツ) :	エリア A-1 3 :	車輪、車
アイコン番号 1 5 (二等辺三角形) :	エリア A-1 1 :	破壊意識や攻撃的意識が消えない
アイコン番号 9 (矢印) :	エリア A-1 3 :	気付いてくれ
C ~ F (配置指定等) :		
	密集配置 :	0
	分散配置 :	1
	バランス配置 :	0
	偏差配置 :	0
	底辺配置 :	0
	上部配置 :	0
	上下配置 :	0
	左右配置 :	0
	はみだし配置 :	0
	ドール配置 :	1
	重合 :	0
	接合 :	1
	ライン接合 :	1

[0111] よって、被験者 0 0 0 4 はこの段階では、以下の如く判定される。

[0112] [表16]

特定アイコンの選択指定 :	特定状況の出現箇所 (エリア)	定義
(0 0 0 4)		
カウント : 1 1		注意散漫、意識過剰
アイコン番号 1 1 (顔)	A-1	人間関係を拒否していない
アイコン番号 1 3 (ドーナツ)	A-1 2	違和感、脱力感など
アイコン番号 4 (円柱)	A-3	閉空間での傾きのない存在は孤独感を表す
アイコン番号 1 2 (月)	A-7	常識的な判断や思考ができる
アイコン番号 1 5 (二等辺三角形)	A-1 0	鋭い、危ない、刺すなどのイメージを持つ
アイコン番号 6 (長方形)	A-1 1	普通でない事を示す。他とは違う等
アイコン番号 1 5 (二等辺三角形)	-	小さな家を連想させる
+アイコン番号 6		
分散配置		開放的、固執していない
ドール配置		記憶・分析・判断などの能力が高い
接合		適度な距離で周り付き合える
ライン接合		依頼心がある。

[0113] 図 1 7 (A) において、被験者 0 0 0 5 の表 7 に基づくアイコンの貼付状況は次の通りである。

[0114]

[表17]

A (カウントアップ) : 18		
B (特定アイコンの選択指定) と出現箇所 :		
特定アイコンの選択指定 :	特定状況の出現箇所 :	図3 A乃至図3 Lの定義
アイコン番号4 (円柱) :	エリアA-10 :	余裕のある、問題のない
アイコン番号11 (顔) :	エリアA-1 :	特定の人を独占したり対象化したい
アイコン番号12 (月) :	エリアA-1 :	不安との共存
アイコン番号13 (ドーナツ) :	エリアA-1 :	何かを対象化したい
アイコン番号15 (二等辺三角形) :	エリアA-4 :	制御できない危険な要素
アイコン番号16 (ハート図形) :	エリアA-6 :	窮屈な
アイコン番号4 (円柱)	ラインA-10	: 余裕のある、問題のない
C~F (配置指定等) :		
密集配置 : 0		
分散配置 : 0		
バランス配置 : 0		
偏差配置 : 0		
底辺配置 : 0		
上部配置 : 0		
上下配置 : 0		
左右配置 : 0		
はみだし配置 : 0		
ドール配置 : 0		
重合 : 0		
接合 : 1		
ライン接合 : 0		

[0115] よって、被験者0005はこの段階では、以下の如く判定される。

[0116] [表18]

特定アイコンの選択指定 :	特定状況の出現箇所 (エリア)	定義
(0005)		
カウント : 18		注意散漫、意識過剰
アイコン番号11 (顔)	A-1	人間関係を拒否していない
アイコン番号13 (ドーナツ)	A-1	違和感、脱力感など
アイコン番号4 (円柱)	A-10	強い依頼心を表すモノとして使われている
アイコン番号15 (二等辺三角形)	A-4	同様に固執する依頼心を表す
アイコン番号12 (月)	A-1	常識的な判断や思考ができる
アイコン番号16 (ハート図形)	A-6	やさしさや配慮ができる
アイコンの接合が多い		強い依頼心を表し、強い依存度を示している

[0117] 上記したこれら図13乃至図17に示す各データは、検査結果として本部コンピュータ内に保存され、次なるステップとしての資料として活用される。

[0118] 本願発明によるアイコン付与の標準的なテスト時間は5分程度とする。また検査対象者については年齢制限があり、就務可能年齢に達した者であって60才までの者が検査を受けることができ、とくに45才位までの者に適する。

[0119] 本願発明は上記実施の形態に限定されない。例えば、エリアが区画形成さ

れる図形形状は、図 1 の如きものに限定されず、各種のものが考えられ、例えば図 19 A や図 20 の如き図形により区画形成されてもよい。

[0120] 図 19 A の場合、ウィンド仮想線 1 a 乃至 1 d からなる長方形のウィンド 1 内に描かれる境界エレメントは、曲線 3 としての円周の上部に切欠部 4 を有する円様図形 5 と、頂点に切欠部 6 を有する三角形様図形 7 であって、対向する直線としての斜辺 8、9 間に、直線としての底辺 10 に平行する直線としての中間辺 11 を有する図形と、上記中間辺 11 の右端からウィンド仮想線 1 b まで右下がりに傾斜する直線（傾斜直線）13 と、上記傾斜直線 13 の中途部から円様図形 5 の下部まで右上がりに傾斜する破線（傾斜破線）14 と、上記底辺 10 の中間部からウィンド仮想線 1 d まで上昇する S 字の曲線 15 とからなる。かかる各種境界エレメントにより、上述したエリアが水平方向及び垂直方向に概ね 3 区分ずつ計 9 区分に区画される。上記切欠部 4 は上向きに形成され、上記切欠部 6 は下向きに形成される。

[0121] 図 20 の場合、ウィンド仮想線 1 a 乃至ウィンド仮想線 1 d からなる長方形のウィンド 1 内に描かれる境界エレメントは、曲線 3 としての円周の右側上部に切欠部 4 を有する円様図形 5 と、頂点に切欠部 6 を有する三角形様図形 7 であって、対向する直線としての斜辺 8、9 間に、直線としての底辺 10 に平行する直線としての中間辺 11 を有する図形と、上記中間辺 11 の右端からウィンド仮想線 1 a まで右上がりに傾斜する直線（傾斜直線）13 と、上記底辺 10 の反傾斜直線 13 側の端つまり左端からウィンド仮想線 1 c まで左上がりに傾斜する破線（傾斜破線）14 と、上記底辺 10 の右寄中間部からウィンド仮想線 1 b まで下降する S 字の曲線 15 と、上記円様図形 5 の切欠部 4 の一端と上記三角形様図形 7 の切欠部 6 の一端とを連結する他の直線（連結直線）16 と、さらに上記中間辺 11 の反傾斜直線 13 側端つまり左端と底辺 10 の右端とを連結する他の傾斜した直線（傾斜直線）17 とからなる。かかる各種境界エレメントにより、次に詳述するエリアが水平方向及び垂直方向に概ね 3 区分ずつ計 9 区分に区画される。上記切欠部 4、6 はいずれも上向きに形成される。

[0122] 図 2 1 は上記した境界エレメントの一部を使った場合である。この場合上記境界エレメントは、上記ウィンド 1 内に、直交した直線 1 8 a、1 8 b からなり、上部 1 9 が開放された 4 角形の孔 2 0 が左方に、平行に配された直線 2 1 a、2 1 b と該直線 2 1 a、2 1 b の下端を連結する半円状の曲線 2 2 からなり、上部 2 3 が開放された U 字形の孔 2 4 が右方に配設される。

[0123] 図 2 1 のようなチェックシートとした場合は、比較的簡単な調査となるため、被験者の負担が少ないという効果がある。これに対し、図 1、図 1 9 A 及び図 2 0 のような境界エレメントが多くエリアの多いチェックシートとした場合は、比較的複雑な調査となるため、広汎な調査を可能とし、また多様な分析結果を得ることができる。

産業上の利用可能性

[0124] 本願発明による視覚アプローチ適性検査方法は、例えば、会社や官庁等の入社試験（中途採用試験を含む）、昇進試験等職種に応じた人材の適性を判定するのに活用することができ、また人事考課に利用することができる。

符号の説明

- [0125]
- | | |
|-----|---------|
| 1 | ウィンド |
| 1 a | ウィンド仮想線 |
| 1 b | ウィンド仮想線 |
| 1 c | ウィンド仮想線 |
| 1 d | ウィンド仮想線 |
| 3 | 曲線 |
| 4 | 切欠部 |
| 5 | 円様図形 |
| 6 | 切欠部 |
| 7 | 三角形様図形 |
| 8 | 斜辺 |
| 9 | 斜辺 |
| 1 0 | 底辺 |

- 1 1 中間辺
- 1 3 傾斜直線
- 1 4 傾斜破線
- 1 5 曲線
- 1 6 連結直線
- 1 7 傾斜直線
- 1 8 a 直線
- 1 8 b 直線
- 1 9 上部
- 2 0 孔
- 2 1 直線
- 2 2 曲線
- 2 3 上部
- 2 4 U字孔

請求の範囲

[請求項1] 枠のない検査領域内に描かれた境界エレメントにより多数のエリアが形成されそれ自体意味を有しない図形からなるチェックシートに、シールシートに配置された複数個のアイコンから選択されるアイコンが貼付され、貼付されたアイコンの貼付位置及び貼付個数により被験者の精神構造を判定する方法であって、

 コンピュータの記憶手段に予め上記チェックシートに設定された境界エレメントについての定義を予め定めたテーブル1、上記アイコンの種類及び貼付個数とその意味についての定義を予め定めたテーブル2、上記チェックシート上のアイコンの貼付位置における意味を予め定義したテーブル3が各格納され、

 上記チェックシート上に貼付された上記アイコンの貼付位置及び貼付個数からなる検査データ及び被験者IDをコンピュータに読み込ませ、

 次いで、読み出された貼付アイコンのカウントアップ処理を行ない、

 次いで読み出された上記検査データのアイコンの配置について、上記各テーブルの定義に該当するか否かが判定され、

 上記各判定より得られる結果が上記コンピュータに保存され、検査対象物のアイコンの個数及び検査対象物の全体の形状により被験者の適性検査の評価資料とすることを特徴とする視覚アプローチ適性検査方法。

[請求項2] 請求項1記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記境界エレメントがライン、角の全部又は一部であることを特徴とする視覚アプローチ適性検査方法。

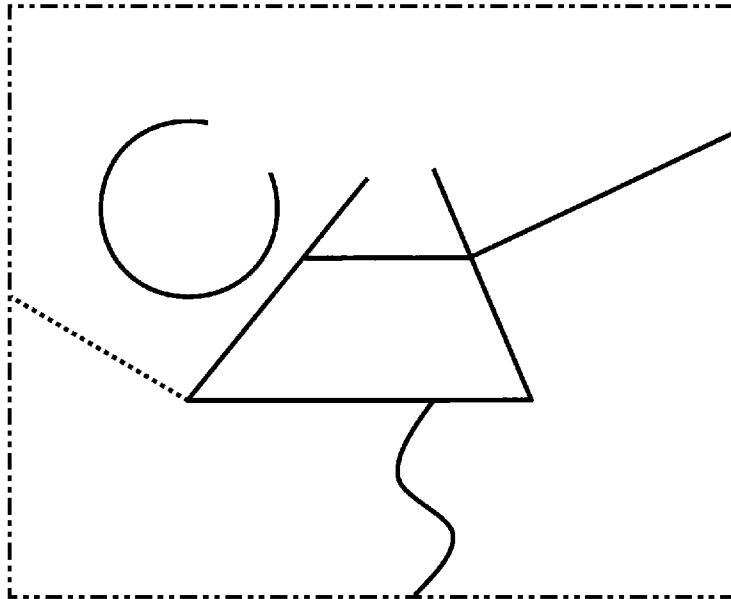
[請求項3] 請求項2記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記ラインが直線、曲線、破線の全部又は一部であることを特徴とする視覚アプローチ適性検査方法。

- [請求項4] 請求項2又は請求項3記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記角が枠のコナ、ラインとラインの交点である接点の全部又は一部であることを特徴とする視覚アプローチ適性検査方法。
- [請求項5] 請求項1乃至請求項4のいずれか記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記本部コンピュータは、上記記憶手段にさらに複数のアイコン間又はアイコンとライン間の位置関係による関係性（以下「アイコン関係性」という）についての意味を予め定義したテーブル4が格納され、読み出された上記検査データのアイコンの配置について、上記各テーブルの定義により、上記アイコン関係性が存在するか否かの判定を実行することを特徴とする視覚アプローチ適性検査方法。
- [請求項6] 請求項1乃至請求項5のいずれか記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記本部コンピュータは、上記記憶手段にさらに貼付アイコンが特定パターンを形成したときの意味を予め定義したテーブル5が格納され、予め定められている特定パターンが存在するか否かの判定を実行することを特徴とする視覚アプローチ適性検査方法。
- [請求項7] 請求項1乃至請求項6のいずれか記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記本部コンピュータは、上記記憶手段にさらに特定アイコンの出現による意味付けを予め定義したテーブル6が格納され、特定アイコンが出現するか否かの判定を実行することを特徴とする視覚アプローチ適性検査方法。
- [請求項8] 請求項6記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記特定パターンが密集配置、分散配置、バランス配置、偏差配置、底辺配置、上部配置、上下配置、左右配置、はみ出し配置及び／又はドール（DOLL）配置であることを特徴とする視覚アプローチ適性検査方法。
- [請求項9] 請求項5記載の視覚アプローチ適性検査方法において、上記アイコン関係性が重合、接合、ライン接合及び／又は近接であることを特徴とする視覚アプローチ適性検査方法。

[図1A]

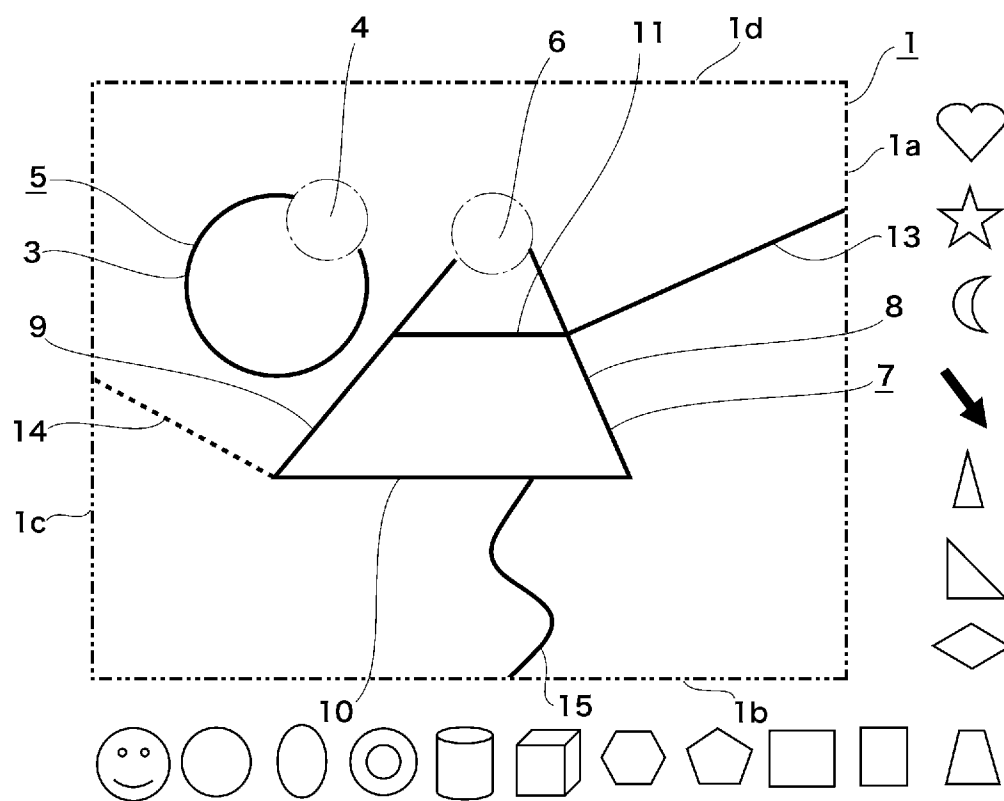
チェック・シート

日付		年		月		日	番号		フリガナ 氏名		年齢		才	
											性別		男・女	

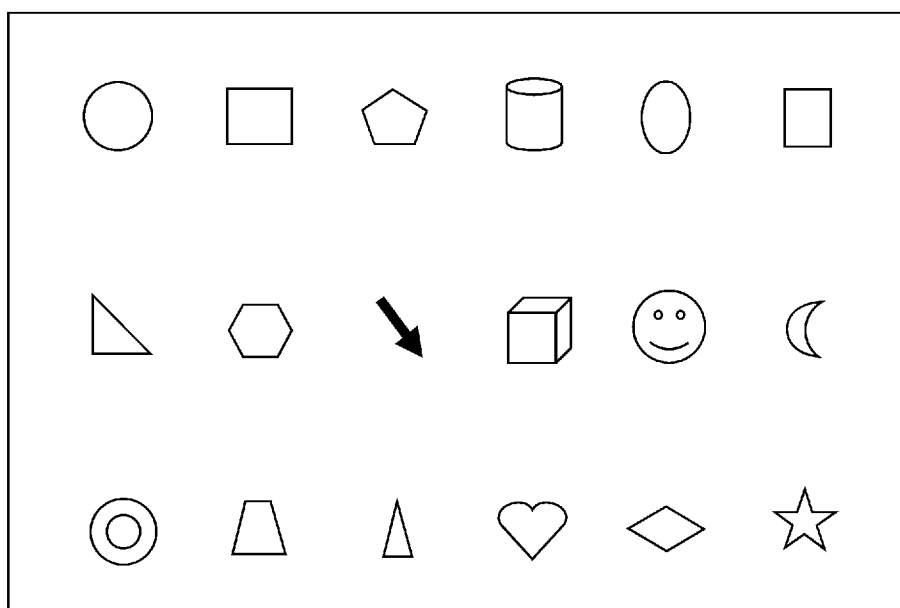


題またはテーマ

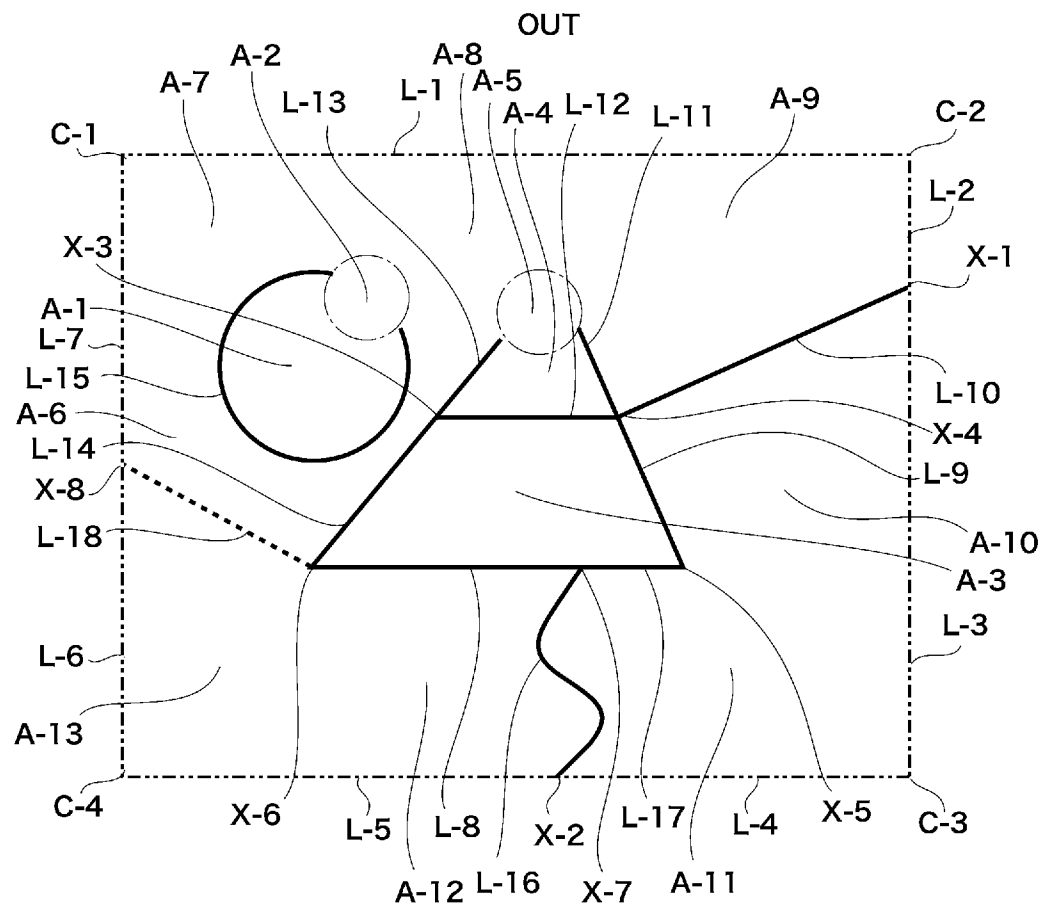
[図1B]



[図1C]



[図2A]



[図2B]

TAL	JOW			
Area	A-1	A1		
	A-2	A4		
	A-3	A2		
	A-4	A3		
	A-5	A5		
	A-6	A6		
	A-7	A7		
	A-8	A8		
	A-9	A9		
	A-10	A10		
	A-11	A11		
	A-12	A12		
	A-13	A13		
	C-1	C1		
	C-2	C2		
	C-3	C3		
	C-4	C4		
Line	L-1	L12	L13	L14
	L-2	L15		
	L-3	L16	L17	
	L-4	L18		

[図2C]

	L-5	L19	L20		
	L-6	L21			
	L-7	L22	L23		
	L-8	L4			
	L-9	L6			
	L-10	L9			
	L-11	L7			
	L-12	L8			
	L-13	L2			
	L-14	L3			
	L-15	L1			
	L-16	L10			
	L-17	L5			
	L-18	L11			
Cross	X-01	X6			
	X-02	X7			
	X-03	X1			
	X-04	X5			
	X-05	X4			
	X-06	X2			
	X-07	X3			
	X-08	X8			
Out	OUT	OUT_U	OUT_D	OUT_L	OUT_R
		OUT_U/L	OUT_U/R	OUT_D/L	OUT_D/R

[図3A]

ロジック コメント #	1	2	3	4	5	6	7
	11	1	5	13	4	10	8
LINE							
意味	人(自分および他人)を含めた関係を表す。アイコンの傾き、向き、位置、視線、顔の向き、自己否定や他人否定を表す。閉鎖空間(A3)に存在する場合、孤独や不安を感じる。他のアイコンとの接合は別途意味探索が必要	柔らかい対象物を表す。和やかな雰囲気、協調性、容易さ、安心感を表す。アイコンの傾き、向き、位置、視線、顔の向き、自己否定や他人否定を表す。閉鎖空間(A3)に存在する場合、孤独や不安を感じる。他のアイコンとの接合は別途意味探索が必要	柔らかい対象物を表す。和やかな雰囲気、協調性、容易さ、安心感を表す。アイコンの傾き、向き、位置、視線、顔の向き、自己否定や他人否定を表す。閉鎖空間(A3)に存在する場合、孤独や不安を感じる。他のアイコンとの接合は別途意味探索が必要	柔らかい対象物を表す。和やかな雰囲気、協調性、容易さ、安心感を表す。アイコンの傾き、向き、位置、視線、顔の向き、自己否定や他人否定を表す。閉鎖空間(A3)に存在する場合、孤独や不安を感じる。他のアイコンとの接合は別途意味探索が必要	柔らかい対象物を表す。和やかな雰囲気、協調性、容易さ、安心感を表す。アイコンの傾き、向き、位置、視線、顔の向き、自己否定や他人否定を表す。閉鎖空間(A3)に存在する場合、孤独や不安を感じる。他のアイコンとの接合は別途意味探索が必要	柔らかい対象物を表す。和やかな雰囲気、協調性、容易さ、安心感を表す。アイコンの傾き、向き、位置、視線、顔の向き、自己否定や他人否定を表す。閉鎖空間(A3)に存在する場合、孤独や不安を感じる。他のアイコンとの接合は別途意味探索が必要	柔らかい対象物を表す。和やかな雰囲気、協調性、容易さ、安心感を表す。アイコンの傾き、向き、位置、視線、顔の向き、自己否定や他人否定を表す。閉鎖空間(A3)に存在する場合、孤独や不安を感じる。他のアイコンとの接合は別途意味探索が必要
対象	人(自分・他人・特定の人)	不特定多数の人やもの(自分・他人・特定の人である場合もある)	あの人(この人・その人)	ドーナツ：車：韓：◎：リング	有形物(実際に存在するもの)情報：さす場合もある。	立体構造物(意識を表す場合もある)：キュービックス(面)：意識：とらふ(やわらかいもの)の意識もあり注意	安定を表すことがある。
L1	L1-1	L1-1	L1-5	L1-13	L1-4	L1-10	L1-8
L2	L2-1	L2-1	L2-5	L2-13	L2-4	L2-10	L2-8
L3	L3-1	L3-1	L3-5	L3-13	L3-4	L3-10	L3-8
L4	L4-1	L4-1	L4-5	L4-13	L4-4	L4-10	L4-8
L5	L5-1	L5-1	L5-5	L5-13	L5-4	L5-10	L5-8
L6	L6-1	L6-1	L6-5	L6-13	L6-4	L6-10	L6-8
L7	L7-1	L7-1	L7-5	L7-13	L7-4	L7-10	L7-8
L8	L8-1	L8-1	L8-5	L8-13	L8-4	L8-10	L8-8
L9	L9-1	L9-1	L9-5	L9-13	L9-4	L9-10	L9-8
L10	L10-1	L10-1	L10-5	L10-13	L10-4	L10-10	L10-8

[図3B]

ロジック コメント 様	1	2	3	4	5	6	7
	11	1	5	13	4	10	8
LINE							
L11	L11-11	L11-1	L11-5	L11-13	L11-4	L11-10	L11-8
L12	L12-11	L12-1	L12-5	L12-13	L12-4	L12-10	L12-8
L13	L13-11	L13-1	L13-5	L13-13	L13-4	L13-10	L13-8
L14	L14-11	L14-1	L14-5	L14-13	L14-4	L14-10	L14-8
L15	L15-11	L15-1	L15-5	L15-13	L15-4	L15-10	L15-8
L16	L16-11	L16-1	L16-5	L16-13	L16-4	L16-10	L16-8
L17	L17-11	L17-1	L17-5	L17-13	L17-4	L17-10	L17-8
L18	L18-11	L18-1 車輪・車	L18-5	L18-13 車輪・車	L18-4	L18-10	L18-8
L19	L19-11	L19-1 車輪・車	L19-5	L19-13 車輪・車	L19-4	L19-10	L19-8
L20	L20-11	L20-1 車輪・車	L20-5	L20-13 車輪・車	L20-4	L20-10	L20-8
L21	L21-11	L21-1	L21-5	L21-13	L21-4	L21-10	L21-8
L22	L22-11	L22-1	L22-5	L22-13	L22-4	L22-10	L22-8
L23	L23-11	L23-1	L23-5	L23-13	L23-4	L23-10	L23-8
X1	X1-11 ... に対して複雑である。	X1-1 ... に対して複雑である。	X1-5 ... に対して複雑である。	X1-13 ... に対して複雑である。	X1-4 ... に対して複雑である。	X1-10 ... に対して複雑である。	X1-8 ... に対して複雑である。
X2	X2-11 ... からの解放	X2-1 ... からの解放	X2-5 ... からの解放	X2-13 ... からの解放	X2-4 ... からの解放	X2-10 ... からの解放	X2-8 ... からの解放
X3	X3-11 ... に対する模索	X3-1 ... に対する模索	X3-5 ... に対する模索	X3-13 ... に対する模索	X3-4 ... に対する模索	X3-10 ... に対する模索	X3-8 ... に対する模索

[図3C]

ロジック コメント 種	1		2		3		4		5		6		7	
	11		1		5		13		4		10		8	
LINE														
X4	X4-11 解決すべき・・・		X4-1 解決すべき・・・		X4-5 解決すべき・・・		X4-13 解決すべき・・・		X4-4 解決すべき・・・		解決すべき・・・		X4-8 解決すべき・・・	
X5	X5-11 特定の人に対する集中や攻撃を表す。		X5-1 不特定の人やものに対する集中や攻撃を表す。		X5-5 ある人に対する集中や攻撃を表す。		X5-13 危険要素を内包している。		X5-4 危険要素を内包している。		X5-10 危険要素を内包している。		X5-8 危険要素を内包している。	
X6	X6-11 あまり関係ない・・・		X6-1 あまり関係ない・・・		X6-5 あまり関係ない・・・		X6-13 あまり関係ない・・・		X6-4 あまり関係ない・・・		X6-10 あまり関係ない・・・		X6-8 あまり関係ない・・・	
X7	X7-11 無関係な・・・		X7-1 無関係な・・・		X7-5 無関係な・・・		X7-13 無関係な・・・		X7-4 無関係な・・・		X7-10 無関係な・・・		X7-8 無関係な・・・	
X8	X8-11 意外な・・・		X8-1 意外な・・・		X8-5 意外な・・・		X8-13 意外な・・・		X8-4 意外な・・・		X8-10 意外な・・・		X8-8 意外な・・・	
C1	C1-11・・・偏り		C1-1・・・偏り		C1-5・・・偏り		C1-13・・・偏り		C1-4・・・偏り		C1-10・・・偏り		C1-8・・・偏り	
C2	C2-11・・・偏り		C2-1・・・偏り		C2-5・・・偏り		C2-13・・・偏り		C2-4・・・偏り		C2-10 強安定や固執		C2-8・・・偏り	
C3	C3-11・・・偏り		C3-1・・・偏り		C3-5・・・偏り		C3-13・・・偏り		C3-4・・・偏り		C3-10・・・偏り		C3-8・・・偏り	
C4	C4-11・・・偏り		C4-1・・・偏り		C4-5・・・偏り		C4-13・・・偏り		C4-4・・・偏り		C4-10 強安定や固執		C4-8・・・偏り	
A1	A1-11 特定の人を独占したり、対象化したい。		A1-1 とにかく誰でも何でもよいが特定した。		A1-5 ある人を対象化した。		A1-13 何かを対象化したい。		A1-4 何かを対象化したい。		A1-10 何かを対象化したい。		A1-8	
A2	A2-11 特定の人を閉じ込めた。		A2-1 誰でも良いがある人やものを閉じ込めた。		A2-5 ある人を閉じ込めた。		A2-13 何かを対象化したい。		A2-4 何かを対象化したい。		A2-10 何かを対象化したい。		A2-8	
A3	A3-11 特定の人を閉じ込めたい。(無理やり)		A3-1 誰でも良いがある人やものを閉じ込めたい。(無理やり)		A3-5 ある人を閉じ込めたい。(無理やり)		A3-13 何かを対象化したい。		A3-4 何かを対象化したい。		A3-10 何かを対象化したい。		A3-8	
A4	A4-11 ドール		A4-1 ドール		A4-5 ドール		A4-13 ドール		A4-4 閉じ込めや封印		A4-10 閉じ込めや封印		A4-8 ドール	

[図3D]

ロジック コメント 枠	1	2	3	4	5	6	7
	11	1	5	13	4	10	8
LINE							
A5	A5-11 ドール	A5-1 ドール	A5-5 ドール	A5-13 ドール	A5-4 閉じ込めや封印	A5-10 閉じ込めや封印	A5-8 ドール
A6	A6-11 窮屈な	A6-1 窮屈な	A6-5 窮屈な	A6-13 窮屈な	A6-4 窮屈な	A6-10 窮屈な	A6-8 窮屈な
A7	A7-11 解放された・・・	A7-1 解放された・・・	A7-5 解放された・・・	A7-13 解放された・・・	A7-4 解放された・・・	A7-10 解放された・・・	A7-8 解放された・・・
A8	A8-11 注目したい・・・	A8-1 注目したい・・・	A8-5 注目したい・・・	A8-13 注目したい・・・	A8-4 注目したい・・・	A8-10 注目したい・・・	A8-8 注目したい・・・
A9	A9-11 解放された・・・	A9-1 解放された・・・	A9-5 解放された・・・	A9-13 解放された・・・	A9-4 解放された・・・	A9-10 解放された・・・	A9-8 解放された・・・
A10	A10-11 余裕のある・問題のない・・・	A10-1 余裕のある・問題のない・・・	A10-5 余裕のある・問題のない・・・	A10-13 余裕のある・問題のない・・・	A10-4 余裕のある・問題のない・・・	A10-10 余裕のある・問題のない・・・	A10-8 余裕のある・問題のない・・・
A11	A11-11 特定の人とは関係ないけど・・・	A11-1 それはあまり関係ない。車輪・車	A11-5 あの人とは関係がないが・・・	A11-13 車輪・車	A11-4 落ち着く	A11-10 強く安定を求めている。	A11-8 とりあえず・・・
A12	A12-11 特定の人とは関係ないけど・・・	A12-1 それはあまり関係ない。車輪・車	A12-5 あの人とは関係がないが・・・	A12-13 車輪・車	A12-4 落ち着く	A12-10 強く安定を求めている。	A12-8とりたいあえず・・・
A13	A13-11 特定の人とは関係ないけど・・・	A13-1 それはあまり関係ない。車輪・車	A13-5 あの人とは関係がないが・・・	A13-13 車輪・車	A13-4 落ち着く	A13-10 強く安定を求めている。	A13-8とりたいあえず・・・
OUT_U	U-11 特定の人を排除したい。	U-1 よく分らないが、何かを排除したい。	U-5 あの人を排除したい。	U-13 異質なものを排除したい。	U-4 異質なものを排除したい。	U-10 異質なものを排除したい。	U-8 この薬はいらない。
OUT_D	D-11 特定の人を排除したい。	D-1 よく分らないが、何かを排除したい。	D-5 あの人を排除したい。	D-13 異質なものを排除したい。	D-4 異質なものを排除したい。	D-10 異質なものを排除したい。	D-8 薬はいらない。
OUT_R	R-11 特定の人を排除したい。	R-1 よく分らないが、何かを排除したい。	R-5 あの人を排除したい。	R-13 異質なものを排除したい。	R-4 異質なものを排除したい。	R-10 異質なものを排除したい。	R-8 薬はいらない。
OUT_L	L-11 特定の人を排除したい。	L-1 よく分らないが、何かを排除したい。	L-5 あの人を排除したい。	L-13 異質なものを排除したい。	L-4 異質なものを排除したい。	L-10 異質なものを排除したい。	L-8 薬はいらない。

[図3E]

ロジック コメント 特	8	9	10	11	12
	3	2	6	14	17
LINE					
意味	選択する場合はかなりユニークな面を持つことが少なく、全体的構成上も使いにくい。人の胸として使用する場合などあまり深い意味はない。	チェックシートのラインや角と接合する場合は、強い安定性や安心感を望み、雑然とした雰囲気を見まさない。整理整頓を好み、いいかげんなことは好まないことが多いが、時としてそうでない場合もある。家の中心として使用する場合は（7との接合）は単なる意識があり、注目する必要がある。	チェックシートのラインや角と接合する場合は、強い安定性や安心感を望み、雑然とした雰囲気を見まさない。整理整頓を好み、いいかげんなことは好まないことが多い。家の中心として使用する場合は（7との接合）は単なる意識があり、注目する必要がある。	強い安定感を望み、依頼心は少ない場合が多い。逆転は不安定さを表し、依頼や助けを必要としている場合もある。家として（2）との接合は、別々の意味を持ち、家族の結束を望んでいる場合もある。	標準形の場合は強い不安定を表すものの、感覚が鈍い場合もあり、不安定は問題ない場合もある。普通は傾いて設置される場合が多く、安定を要する。アイコン（7）との接合は傾いた家を表し、家族内での不安定さを示す場合がある。強い自己主張は少なく、依頼心が強い場合があり、充足の必要がある。
	対象	葉・妙案・とつひなアイディアなどを指すこともある。	薄い紙と意識する場合と、厚い紙や立方体と意識する場合がある。安定意識	向きが正常の場合は安定を表し、逆の場合は不安定をあらわす。傾斜は意識の不安定さを表す。	傾斜がない場合は、神経質や九転面を現す。権威的なものを好む性質がある場合もある。
	L1	L1-3	L1-2	L1-6	L1-14
	L2	L2-3	L2-2	L2-6	L2-14
	L3	L3-3	L3-2	L3-6	L3-14
	L4	L4-3	L4-2	L4-6	L4-14
	L5	L5-3	L5-2	L5-6	L5-14
	L6	L6-3	L6-2	L6-6	L6-14
	L7	L7-3	L7-2	L7-6	L7-14
	L8	L8-3	L8-2	L8-6	L8-14
	L9	L9-3	L9-2	L9-6	L9-14
	L10	L10-3	L10-2	L10-6	L10-14

[図3F]

ロジック コメント 行	8	9	10	11	12
	3	2	6	14	17
LINE					
L11	L11-3	L11-2	L11-6	L11-14	L11-17
L12	L12-3	L12-2	L12-6	L12-14	L12-17
L13	L13-3	L13-2	L13-6	L13-14	L13-17
L14	L14-3	L14-2	L14-6	L14-14	L14-17
L15	L15-3	L15-2	L15-6	L15-14	L15-17
L16	L16-3	L16-2	L16-6	L16-14	L16-17
L17	L17-3	L17-2	L17-6	L17-14	L17-17
L18	L18-3	L18-2	L18-6	L18-14	L18-17
L19	L19-3	L19-2	L19-6	L19-14	L19-17
L20	L20-3	L20-2	L20-6	L20-14	L20-17
L21	L21-3	L21-2	L21-6	L21-14	L21-17
L22	L22-3	L22-2	L22-6	L22-14	L22-17
L23	L23-3	L23-2	L23-6	L23-14	L23-17
X1	X1-3 ... に対して複雑である。	X1-2 ... に対して複雑である。	X1-6 ... に対して複雑である。	X1-14 ... に対して複雑である。	X1-17 ... に対して複雑である。
X2	X2-3 ... からの解放	X2-2 ... からの解放	X2-6 ... からの解放	X2-14 ... からの解放	X2-17 ... からの解放
X3	X3-3 ... に対する模索	X3-2 ... に対する模索	X3-6 ... に対する模索	X3-14 ... に対する模索	X3-17 ... に対する模索

[図3G]

ロジック コメント 種	8		9		10		11		12	
	3		2		6		14		17	
LINE										
X4	X4-3 解決すべき・・・		X4-2 解決すべき・・・		X4-6 解決すべき・・・		X4-14 解決すべき・・・		X4-17 解決すべき・・・	
X5	X5-3 危険要素を内包している。		X5-2 危険要素を内包している。		X5-6 危険要素を内包している。		X5-14 危険要素を内包している。		X5-17 危険要素が表出している。	
X6	X6-3 あまり関係ない・・・		X6-2 あまり関係ない・・・		X6-6 あまり関係ない・・・		X6-14 あまり関係ない・・・		X6-17 あまり関係ない・・・	
X7	X7-3 無関係な・・・		X7-2 無関係な・・・		X7-6 無関係な・・・		X7-14 無関係な・・・		X7-17 無関係な・・・	
X8	X8-3 意外な・・・		X8-2 意外な・・・		X8-6 意外な・・・		X8-14 意外な・・・		X8-17 意外な・・・	
C1	C1-3・・・偏り		C1-2・・・偏り		C1-6・・・偏り		C1-14・・・偏り		C1-17・・・偏り	
C2	C2-3・・・偏り		C2-2 強安定や固執		C2-6 強安定や固執		C2-14・・・偏り		C2-17・・・偏り	
C3	C3-3・・・偏り		C3-2・・・偏り		C3-6・・・偏り		C3-14・・・偏り		C3-17・・・偏り	
C4	C4-3・・・偏り		C4-2 強安定や固執		C4-6 強安定や固執		C4-14・・・偏り		C4-17・・・偏り	
A1	A1-3		A1-2		A1-6		A1-14		A1-17 内包している警戒心	
A2	A2-3		A2-2		A2-6		A2-14		A2-17 内包している警戒心	
A3	A3-3		A3-2		A3-6		A3-14		A3-17 内包している警戒心	
A4	A4-3 (ドール)		A4-2 閉じ込めや封印		A4-6 閉じ込めや封印		A4-14 無意味な対象化		A4-17 無意味な対象化	

[図3H]

ロジック コメント 枠	8	9	10	11	12
	3	2	6	14	17
LINE					
A5	A5-3 (ドール)	A5-2 閉じ込めや封印	A5-6 閉じ込めや封印	A5-14 無意味な対象化	A5-17 無意味な対象化
A6	A6-3 窮屈な	A6-2 窮屈な	A6-6 窮屈な	A6-14 窮屈な	A6-17 窮屈な
A7	A7-3 解放された・・・	A7-2 解放された・・・	A7-6 解放された・・・	A7-14 解放された・・・	A7-17 解放された・・・
A8	A8-3 注目したい・・・	A8-2 注目したい・・・	A8-6 注目したい・・・	A8-14 注目したい・・・	A8-17 注目したい・・・
A9	A9-3 解放された・・・	A9-2 解放された・・・	A9-6 解放された・・・	A9-14 解放された・・・	A9-17 解放された・・・
A10	A10-3 余裕のある・問題 のない・・・	A10-2 余裕のある・問題 のない・・・	A10-6 余裕のある・問題 のない・・・	A10-14 余裕のある・問題 のない・・・	A10-17 余裕のある・問題 のない・・・
A11	A11-3とりあえず・・・	A11-2 強く安定を求めている。	A11-6 強く安定を求めている。	A11-14 強く安定を求めている。動こうとしない。	A11-17 中途半端な意識がある。
A12	A12-3とりあえず・・・	A12-2 強く安定を求めている。	A12-6 強く安定を求めている。	A12-14 強く安定を求めている。動こうとしない。	A12-17 中途半端な意識がある。
A13	A13-3とりあえず・・・	A13-2 強く安定を求めている。	A13-6 強く安定を求めている。	A13-14 強く安定を求めている。動こうとしない。	A13-17 中途半端な意識がある。
OUT_U	U-3 この訳の分からないものはいない。	U-2 この書類はいい。	U-6 この書類はいい。	U-14 こんなものは関係ない。	U-17 こんなものは関係ない。
OUT_D	D-3 訳の分からないものはいい。	D-2 書類はいい。	D-6 書類はいい。	D-14 こんなものは関係ない。	D-17 こんなものは関係ない。
OUT_R	R-3 訳の分からないものはいい。	R-2 書類はいい。	R 書類はいい。	R-14 こんなものは関係ない。	R-17 こんなものは関係ない。
OUT_L	L-3 訳の分からないものはいい。	L-2 書類はいい。	L-6 書類はいい。	L-14 こんなものは関係ない。	L-17 こんなものは関係ない。

ロジック コメント 件	13	14	15	16	17	18
LINE	7	15	9	12	18	16
						
意味	4.5度の傾斜で遊入の配置は強い不安定感を表し、ここからチェッキングシーートの四隅に2面配置の配置は、強い依頼心を表し、安定や安心を求めている場合が多い、アイコン(2)との結合は勢を乗し、勢や緊張としての分析が必要である。	シャープさや鋭さを表し、強い要求を表す場合もある。刀としての意味と矢印としての意味があり、峻別する必要がある。刀としての配置の場合、向きに注意して、意味を解釈する必要がある。特にアイコン(11)との結合には注目する必要がある。アイコン(11/5)の場合も同様である。また、特定空間からの脱出や解放を意味する場合があり、A1/A3/A4における方向性に注目する必要がある。	一としての配置が主であるが、指としての意味も含んでおり、特にアイコン(11)との結合には注目する必要がある。アイコン(11/5)の場合も同様である。また、特定空間からの脱出や解放を意味する場合があり、A1/A3/A4における方向性に注目する必要がある。	単なる月としての使用と、アイコン(11)との結合による造形的な配置の場合がある。チェッキングシーートの上部に存在する場合に心配はない。A1/A3/A4/A5に存在する場合、強い孤独感を表す場合がある。	チェッキングシーートの上部に存在する場合、希望や喜びを表すものの、下部に存在する場合、希望を表し、助けを求めている場合がある。A5に配置される場合は、自己主張があり、A1に配置される場合は、強い安心感を表す。A3の場合は宝物としての存在を表し、大層にされていることをこの主張で注意する必要がある。	本来、色の影響を受けるものであるが、青といふ色は消極的な愛や好きを表す。単独にA1/A3/A4/A5に存在する場合は、自分なりの密かな楽しみや希望が存在する。アイコンの傾斜は不意感や不快感をおこすことがあり、チェッキングシーートの下部に存在する場合は注意する必要がある。
対象	武器や兵器を象徴する場合がある。攻撃的な意識の表出と考えて良い場合がある。	鋭い刃物や刀や槍などとして意識される場合があり、攻撃性や破壊性も存在する場合がある。	傾斜のある一は正常であり、直角の場合は、強い意識や傾向性が存在する。	不安な要素から不可解な要素まで、多様なものが存在する。その意味するところを明らかにすることは難しい。	希望やその象徴を表す場合が多いが、時として攻撃性を表すことがある。	傾斜に代表されるが、傾斜が存在する場合は、不安の要素を持つていていることになる。
L1	L1-7	L1-15	L1-9	L1-12	L1-18	L1-16
L2	L2-7	L2-15	L2-9	L2-12	L2-18	L2-16
L3	L3-7	L3-15	L3-9	L3-12	L3-18	L3-16
L4	L4-7	L4-15	L4-9	L4-12	L4-18	L4-16
L5	L5-7	L5-15	L5-9	L5-12	L5-18	L5-16
L6	L6-7	L6-15	L6-9	L6-12	L6-18	L6-16
L7	L7-7	L7-15	L7-9	L7-12	L7-18	L7-16
L8	L8-7	L8-15	L8-9	L8-12	L8-18	L8-16
L9	L9-7	L9-15	L9-9	L9-12	L9-18	L9-16
L10	L10-7	L10-15	L10-9	L10-12	L10-18	L10-16

[図3J]

ロジック コメント 種	13	14	15	16	17	18
	7	15	9	12	18	16
LINE						
L11	L11-7	L11-15	L11-9	L11-12	L11-18	L11-16
L12	L12-7	L12-15	L12-9	L12-12	L12-18	L12-16
L13	L13-7	L13-15	L13-9	L13-12	L13-18	L13-16
L14	L14-7	L14-15	L14-9	L14-12	L14-18	L14-16
L15	L15-7	L15-15	L15-9	L15-12	L15-18	L15-16
L16	L16-7	L16-15	L16-9	L16-12	L16-18	L16-16
L17	L17-7	L17-15	L17-9	L17-12	L17-18	L17-16
L18	L18-7	L18-15	L18-9	L18-12	L18-18	L18-16
L19	L19-7	L19-15	L19-9	L19-12	L19-18	L19-16
L20	L20-7	L20-15	L20-9	L20-12	L20-18	L20-16
L21	L21-7	L21-15	L21-9	L21-12	L21-18	L21-16
L22	L22-7	L22-15	L22-9	L22-12	L22-18	L22-16
L23	L23-7	L23-15	L23-9	L23-12	L23-18	L23-16
X1	X1-7 ... 対して複雑である。	X1-15 ... 対して複雑である。	X1-9 ... 対して複雑である。	X1-12 ... 対して複雑である。	X1-18 ... 対して複雑である。	X1-16 ... 対して複雑である。
X2	X2-7 ... からの解放	X2-15 ... からの解放	X2-9 ... からの解放	X2-12 ... からの解放	X2-18 ... からの解放	X2-16 ... からの解放
X3	X3-7 ... に対する模索	X3-15 ... に対する模索	X3-9 ... に対する模索	X3-12 ... に対する模索	X3-18 ... に対する模索	X3-16 ... に対する模索

[図3K]

ロジック コメント	13	14	15	16	17	18
	7	15	9	12	18	16
LINE						
X4	X4-7 解決すべき・・・	X4-15 解決すべき・・・	X4-9 解決すべき・・・	X4-12 解決すべき・・・	X4-18 解決すべき・・・	X4-16 解決すべき・・・
X5	危険要素が表出している。	X5-15 危険要素が表出している。	X5-9 自分自身でなんとか良くないことを気づいている	X5-12 自分の良くない点に不安を持っている	X5-18 自分の不安やイライラをカムフラージュしている	X5-16 自分自身で気持の違和感を覚えている
X6	X6-7 あまり関係ない・・・	X6-15 あまり関係ない・・・	X6-9 あまり関係ない・・・	X6-12 あまり関係ない・・・	X6-18 あまり関係ない・・・	X6-16 あまり関係ない・・・
X7	X7-7 無関係な・・・	X7-15 無関係な・・・	X7-9 無関係な・・・	X7-12 無関係な・・・	X7-18 無関係な・・・	X7-16 無関係な・・・
X8	X8-7 意外な・・・	X8-15 意外な・・・	X8-9 意外な・・・	X8-12 意外な・・・	X8-18 意外な・・・	X8-16 意外な・・・
C1	C1-7・・・偏り	C1-15 解決の糸口	C1-9 不可解	C1-12	C1-18 希望の発展	C1-16 気持の高揚
C2	C2-7 強安定や固執	C2-15 解決の糸口	C2-9 不可解	C2-12	C2-18 希望の発展	C2-16 気持の高揚
C3	C3-7・・・偏り	C3-15 解決の糸口	C3-9 不可解	C3-12 不安の継続と焦燥	C3-18 希望のかげり	C3-16 気持の停滞
C4	C4-7 強安定や固執	C4-15 解決の糸口	C4-9 不可解	不安の継続と焦燥	C4-18 希望のかげり	C4-16 気持の停滞
A1	A1-7 内包している危険	A1-15 内包している危険	A1-9 方向性の温存	A1-12 不安との共存	A1-18 希望との共存	A1-16 気持の共有
A2	A2-7 内包している危険	A2-15 内包している危険	A2-9 方向性の温存	A2-12 漠然とした不安の解明	A2-18 希望の保ちと安心感	A2-16 気持の安定化や保存
A3	A3-7 内包している危険	A3-15 内包している危険	A3-9 方向性の温存	A3-12 閉じ込められない不安	A3-18 希望の独占や占有	A3-16 気持で封印したい
A4	A4-7 制御できない危険な要素	A4-15 制御できない危険な要素	A4-9 決まっていない方向性	A4-12 不安の顕在化	A4-18 希望の顕在化	A4-16 意中の対象の顕在化

[図3L]

ロジック コメント	13		14		15		16		17		18	
	7		15		9		12		18		16	
LINE												
A5	A5-7 制御できない危険な要素		A5-15 制御できない危険な要素		A5-9 決まっていない方向性		A5-12 不安の顕在化		A5-18 希望の顕在化		A5-16 意中の対象の顕在化	
A6	A6-7 窮屈な		A6-15 窮屈な		A6-9 窮屈な		A6-12 窮屈な		A6-18 窮屈な		A6-16 窮屈な	
A7	A7-7 解放された・・・		A7-15 解放された・・・		A7-9 解放された・・・		A7-12 解放された・・・		A7-18 解放された・・・		A7-16 解放された・・・	
A8	A8-7 注目したい・・・		A8-15 注目したい・・・		A8-9 注目したい・・・		A8-12 注目したい・・・		A8-18 注目したい・・・		A8-16 注目したい・・・	
A9	A9-7 解放された・・・		A9-15 解放された・・・		A9-9 解放された・・・		A9-12 解放された・・・		A9-18 解放された・・・		A9-16 解放された・・・	
A10	A10-7 余裕のある・問題のない・・・		A10-15 余裕のある・問題のない・・・		A10-9 余裕のある・問題のない・・・		A10-12 余裕のある・問題のない・・・		A10-18 余裕のある・問題のない・・・		A10-16 余裕のある・問題のない・・・	
A11	A11-7 破壊意識や攻撃的意識が消えない。		A11-15 破壊意識や攻撃的意識が消えない。		A11-9 気づいてくれ。		A11-12 何とかしたい不安。		A11-18 叶えられそうになり希望		A11-16 誰にも分かってもらえそうになり希望	
A12	A12-7 破壊意識や攻撃的意識が消えない。		A12-15 破壊意識や攻撃的意識が消えない。		A12-9 気づいてくれ。		A12-12 何とかしたい不安。		A12-18 叶えられそうになり希望		A12-16 誰にも分かってもらえそうになり希望	
A13	A13-7 破壊意識や攻撃的意識が消えない。		A13-15 破壊意識や攻撃的意識が消えない。		A13-9 気づいてくれ。		A13-12 何とかしたい不安。		A13-18 叶えられそうになり希望		A13-16 誰にも分かってもらえそうになり希望	
OUT_U	U-7 この危険なものを排除したい。		U-15 この危険なものを排除したい。		U-9 よく分からないが・・・とにかく		U-12 この不安を排除したい。		U-18 そんな希望なんではない。		U-16 そんな気持の問題ではない。	
OUT_D	D-7 危険なものを排除したい。		D-15 危険なものを排除したい。		D-9 よく分からないが・・・		D-12 不安を排除したい。		D-18 希望なんではない。		D-16 気持の問題ではない。	
OUT_R	R-7 危険なものを排除したい。		R-15 危険なものを排除したい。		R-9 よく分からないが・・・		R-12 不安を排除したい。		R-18 希望なんではない。		R-16 気持の問題ではない。	
OUT_L	L-7 危険なものを排除したい。		L-15 危険なものを排除したい。		L-9 よく分からないが・・・		L-12 不安を排除したい。		L-18 希望なんではない。		L-16 気持の問題ではない。	

[図4A]

マトリックス コメント		1	2	3	4	5	6	7	8	9
	11	11	1	5	13	4	10	8	3	2
										
1	11	11/11	11-1 (同質系)	11-5 (同質系)	11-13 (円・立体系)	11-4 (円・立体系)	11-10 (円・立体系)	11-8 (円・多角系)	11-3 (円・多角系)	11-2 (円・多角系)
2	1	1/11 信頼・安心でき る友人・頼れる	1-1	1-5 (同質系)	1-13 (円・立体系)	1-4 (円・立体系)	1-10 (円・立体系)	1-8 (円・多角系)	1-3 (円・多角系)	1-2 (円・多角系)
3	5	5/11 私にとって良い 人・善良で無害	5-1 親しい関係・秘 密・親しい関係・仲良 し	5-5	5-13 (円・立体系)	5-4 (円・立体系)	5-10 (円・立体系)	5-8 (円・多角系)	5-3 (円・多角系)	5-2 (円・多角系)
4	13	13/11 (立体・円系) 安心・快適	13-1 (立体・円系) 異質なライバル	13-5 (立体・円系) 喜び・充実	13-13	13-4 (同質系)	13-10 (同質系)	13-8 (立体・多角系)	13-3 (立体・多角系)	13-2 (立体・多角系)
5	4	4/11 (立体・円系) ドール・思考	4-1 (立体・円系) ドール・フォーム	4-5 (立体・円系) ドール・身代わり	4-13 ドール・ロボッ ト	4-4	4-10 (同質系)	4-8 (立体・多角系)	4-3 (立体・多角系)	4-2 (立体・多角系)
6	10	10/11 (立体・円系) ドール・独占・占有	10-1 (立体・円系) ドール・フォーム	10-5 (立体・円系) ドール・空想	10-13 ドール・ロボッ ト	10-4 不可解	10-10	10-8 (立体・多角系)	10-3 (立体・多角系)	10-2 (立体・多角系)
7	8	8/11 (多角・円系) ドール (一人称)	8-1 (多角・円系) ドール (三人称)	8-5 (多角・円系) ドール (二人称)	8-13 (多角・立体系) ドール (無感情)	8-4 (多角・立体系) 困惑・混乱	8-10 (多角・立体系) 漠然・意味のない	8-8	8-3 (同質系)	8-2 (同質系)
8	3	3/11 (多角・円系) ドール (一人称)	3-1 (多角・円系) ドール (三人称)	3-5 (多角・円系) ドール (二人称)	3-13 (多角・立体系) ドール (無感情)	3-4 (多角・立体系) 困惑・混乱	3-10 (多角・立体系) 漠然・意味のない	3-8 意味の薄い表現	3-3	3-2 (同質系)
9	2	2/11 (多角・円系) ドール (一人称)	2-1 (多角・円系) ドール (三人称)	2-5 (多角・円系) ドール (二人称)	2-13 (多角・立体系) ドール (無感情)	2-4 (多角・立体系) 困惑・混乱	2-10 (多角・立体系) 漠然・意味のない	2-8 意味の薄い表現	2-3 意味の薄い表現	2-2
10	6	6/11 (多角・円系) ドール (一人称)	6-1 (多角・円系) ドール (三人称)	6-5 (多角・円系) ドール (二人称)	6-13 (多角・立体系) ドール (無感情)	6-4 (多角・立体系) 困惑・混乱	6-10 (多角・立体系) 漠然・意味のない	6-8 意味の薄い表現	6-3 意味の薄い表現	6-2 意味の薄い表現
11	14	14/11 (多角・円系) ドール (一人称)	14-1 (多角・円系) ドール (三人称)	14-5 (多角・円系) ドール (二人称)	14-13 (多角・立体系) ドール (無感情)	14-4 (多角・立体系) 困惑・混乱	14-10 (多角・立体系) 漠然・意味のない	14-8 意味の薄い表現	14-3 意味の薄い表現	14-2 意味の薄い表現

[図4B]

マトリックス コメント		1	2	3	4	5	6	7	8	9
		11	1	5	13	4	10	8	3	2
										
12		17/11 (シャープ・円系) 特定の人への警戒	17-1 (シャープ・円系) 単なる警戒	17-5 (シャープ・円系) 対象への警戒	17-13 (シャープ・円系) 潜在的な警戒	17-4 (シャープ・円系) 大きなものに対する警戒	17-10 (シャープ・円系) 表出的な警戒	17-8 (シャープ・円系) 注意意識	17-3 (シャープ・円系) 注意意識	17-2 (シャープ・円系) 注意意識
13		7/11 (シャープ・円系) 特定の人への攻撃	7-1 (シャープ・円系) 単なる攻撃	7-5 (シャープ・円系) 対象への攻撃	7-13 (シャープ・円系) 潜在的な攻撃	7-4 (シャープ・円系) 大きなものに対する攻撃	7-10 (シャープ・円系) 表出的な攻撃	7-8 (シャープ・円系) 警戒意識	7-3 (シャープ・円系) 警戒意識	7-2 (シャープ・円系) 警戒意識
14		15/11 (シャープ・円系) 特定の人への破壊	15-1 (シャープ・円系) 単なる破壊	15-5 (シャープ・円系) 対象への破壊	15-13 (シャープ・円系) 潜在的な破壊	15-4 (シャープ・円系) 大きなものに対する破壊	15-10 (シャープ・円系) 表出的な破壊	15-8 (シャープ・円系) 危険意識	15-3 (シャープ・円系) 危険意識	15-2 (シャープ・円系) 危険意識
15		9/11 (方向・円系) あの人に対する(注目)	9-1 (方向・円系) 単なる注目	9-5 (方向・円系) 良い人に対する注目	9-13 (方向・円系) 潜在的な方向性	9-4 (方向・円系) 閉じ込める方向性	9-10 (方向・円系) 表出的な方向性	9-8 (方向・円系) 意味の少ない方向性	9-3 (方向・円系) 意味の少ない方向性	9-2 (方向・円系) 意味の少ない方向性
16		12/11 (不安・円系) あの人に対する不安	12-1 (不安・円系) 単なる不安	12-5 (不安・円系) 良い人に対する不安	12-13 (不安・円系) 潜在的な不安	12-4 (不安・円系) 閉じ込める不安	12-10 (不安・円系) 表出的な不安	12-8 (不安・円系) 形勢ににくい不安	12-3 (不安・円系) 形勢ににくい不安	12-2 (不安・円系) 形勢ににくい不安
17		18/11 (希望・方向系) あの人に対する希望	18-1 (希望・方向系) 単なる希望	18-5 (希望・方向系) 良い人に対する希望	18-13 (希望・方向系) 潜在的な希望	18-4 (希望・方向系) 閉じ込める希望	18-10 (希望・方向系) 表出的な希望	18-8 (希望・方向系) 形勢ににくい希望	18-3 (希望・方向系) 形勢ににくい希望	18-2 (希望・方向系) 形勢ににくい希望
18		16/11 (気持・円系) あの人に対する気持	16-1 (気持・円系) 単なる気持	16-5 (気持・円系) 良い人への気持	16-13 (気持・円系) 潜在的な気持	16-4 (気持・円系) 閉じ込める気持	16-10 (気持・円系) 表出的な気持	16-8 (気持・円系) 形勢ににくい気持	16-3 (気持・円系) 形勢ににくい気持	16-2 (気持・円系) 形勢ににくい気持

[図4C]

マトリクス コメント		10	11	12	13	14	15	16	17	18
		6	14	17	7	15	9	12	18	16
1	11	11-6 (円・多角系)	11-14 (円・多角系)	11-17 (円・シャープ系)	11-7 (円・シャープ系)	11-15 (円・シャープ系)	11-9 (円・方向系)	11-12 (円・不安系)	11-18 (円・希望系)	11-16 (円・気持系)
2	1	1-6 (円・多角系)	1-14 (円・多角系)	1-17 (円・シャープ系)	1-7 (円・シャープ系)	1-15 (円・シャープ系)	(円・方向系)	1-12 (円・不安系)	1-18 (円・希望系)	1-16 (円・気持系)
3	5	5-6 (円・多角系)	5-14 (円・多角系)	5-17 (円・シャープ系)	5-7 (円・シャープ系)	5-15 (円・シャープ系)	(円・方向系)	5-12 (円・不安系)	5-18 (円・希望系)	5-16 (円・気持系)
4	13	13-6 (立体・多角系)	13-14 (立体・多角系)	13-17 (立体・シャープ系)	13-7 (立体・シャープ系)	13-15 (立体・シャープ系)	13-9 (立体・方向系)	13-12 (立体・不安系)	13-18 (立体・希望系)	13-16 (立体・気持系)
5	4	4-6 (立体・多角系)	4-14 (立体・多角系)	4-17 (立体・シャープ系)	4-7 (立体・シャープ系)	4-15 (立体・シャープ系)	4-9 (立体・方向系)	4-12 (立体・不安系)	4-18 (立体・希望系)	4-16 (立体・気持系)
6	10	10-6 (立体・多角系)	10-14 (立体・多角系)	10-17 (立体・シャープ系)	10-7 (立体・シャープ系)	10-15 (立体・シャープ系)	10-9 (立体・方向系)	10-12 (立体・不安系)	10-18 (立体・希望系)	10-16 (立体・気持系)
7	8	8-6 (同質系)	8-14 (同質系)	8-17 (多角・シャープ系)	8-7 (多角・シャープ系)	8-15 (多角・シャープ系)	8-9 (多角・方向系)	8-12 (多角・不安系)	8-18 (多角・希望系)	8-16 (多角・気持系)
8	3	3-6 (同質系)	3-14 (同質系)	3-17 (多角・シャープ系)	3-7 (多角・シャープ系)	3-15 (多角・シャープ系)	3-9 (多角・方向系)	3-12 (多角・不安系)	3-18 (多角・希望系)	3-16 (多角・気持系)
9	2	2-6 (同質系)	2-14 (同質系)	2-17 (多角・シャープ系)	2-7 (多角・シャープ系)	2-15 (多角・シャープ系)	2-9 (多角・方向系)	2-12 (多角・不安系)	2-18 (多角・希望系)	2-16 (多角・気持系)
10	6	6-6	6-14 (同質系)	6-17 (多角・シャープ系)	6-7 (多角・シャープ系)	6-15 (多角・シャープ系)	6-9 (多角・方向系)	6-12 (多角・不安系)	6-18 (多角・希望系)	6-16 (多角・気持系)
11	14	14-6 意味の薄い表現	14-14	14-17 (多角・シャープ系)	14-7 (多角・シャープ系)	14-15 (多角・シャープ系)	14-9 (多角・方向系)	14-12 (多角・不安系)	14-18 (多角・希望系)	14-16 (多角・気持系)

[図4D]

マトリックス コメント		10	11	12	13	14	15	16	17	18
		6	14	17	7	15	9	12	18	16
12	17	17-6 (シャープ・多角系) 注意意識	17-14 (シャープ・多角系) 注意意識	17-17	17-7 (同質系)	17-15 (同質系)	17-9 (シャープ・方向系)	17-12 (シャープ・不安系)	17-18 (シャープ・希望系)	17-16 (シャープ・気持系)
13	7	7-6 (シャープ・多角系) 警戒意識	7-14 (シャープ・多角系) 警戒意識	7-17 攻撃や破壊	7-7	7-15 (同質系)	7-9 (シャープ・方向系)	7-12 (シャープ・不安系)	7-18 (シャープ・希望系)	7-16 (シャープ・気持系)
14	15	15-6 (シャープ・多角系) 危険意識	15-14 (シャープ・多角系) 危険意識	15-17 破壊や攻撃	15-7 破壊や攻撃	15-15	15-9 (シャープ・方向系)	15-12 (シャープ・不安系)	15-18 (シャープ・希望系)	15-16 (シャープ・気持系)
15	9	9-6 (方向・多角系) 意味の少ない方向性	9-14 (方向・多角系) 意味の少ない方向性	9-17 (方向・シャープ系) 警戒の方向性	9-7 (方向・シャープ系) 攻撃の方向性	9-15 (方向・シャープ系) 破壊の方向性	9-9	9-12 (同質系)	9-18 (同質系)	9-16 (同質系)
16	12	12-6 (不安・多角系) 形容しにくい不安	12-14 (不安・多角系) 形容しにくい不安	12-17 (不安・シャープ系) 不安を警戒	12-7 (不安・シャープ系) 不安を意識	12-15 (不安・シャープ系) 不安の爆発	12-9 不安な気持ちに気づいてほしい	12-12	12-18 (同質系)	12-16 (同質系)
17	18	18-6 (希望・多角系) 形容しにくい希望	18-14 (希望・多角系) 形容しにくい希望	18-17 (希望・シャープ系) 希望の拡散	18-7 (希望・シャープ系) 希望の選択	18-15 (希望・シャープ系) 一つの希望	18-9 幸せなことに気づいてほしい	18-12 希望と不安が入り混じっている	18-18	18-16 (同質系)
18	16	16-6 (気持・多角系) 形容しにくい気持	16-14 (気持・多角系) 形容しにくい気持	16-17 (気持・シャープ系) 気持	16-7 (気持・シャープ系) 明確な気持	16-15 (気持・シャープ系) より明確な気持	16-9 自分の気持ちに気づいてほしい	16-12 不安な気持ちをどうしたにかかわらない	16-18 幸せな気持	16-16

[図5A]

ロジック コメント 枠	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
LINE	1	1	5	13	4	10	8	3	2	6	14	17	7	15	9	12	18	16
L1	L1-1	L1-1	L1-5	L1-13	L1-4	L1-10	L1-8	L1-3	L1-2	L1-6	L1-14	L1-17	L1-7	L1-15	L1-9	L1-12	L1-18	L1-16
L2	L2-1	L2-1	L2-5	L2-13	L2-4	L2-10	L2-8	L2-3	L2-2	L2-6	L2-14	L2-17	L2-7	L2-15	L2-9	L2-12	L2-18	L2-16
L3	L3-1	L3-1	L3-5	L3-13	L3-4	L3-10	L3-8	L3-3	L3-2	L3-6	L3-14	L3-17	L3-7	L3-15	L3-9	L3-12	L3-18	L3-16
L4	L4-1	L4-1	L4-5	L4-13	L4-4	L4-10	L4-8	L4-3	L4-2	L4-6	L4-14	L4-17	L4-7	L4-15	L4-9	L4-12	L4-18	L4-16
L5	L5-1	L5-1	L5-5	L5-13	L5-4	L5-10	L5-8	L5-3	L5-2	L5-6	L5-14	L5-17	L5-7	L5-15	L5-9	L5-12	L5-18	L5-16
L6	L6-1	L6-1	L6-5	L6-13	L6-4	L6-10	L6-8	L6-3	L6-2	L6-6	L6-14	L6-17	L6-7	L6-15	L6-9	L6-12	L6-18	L6-16
L7	L7-1	L7-1	L7-5	L7-13	L7-4	L7-10	L7-8	L7-3	L7-2	L7-6	L7-14	L7-17	L7-7	L7-15	L7-9	L7-12	L7-18	L7-16
L8	L8-1	L8-1	L8-5	L8-13	L8-4	L8-10	L8-8	L8-3	L8-2	L8-6	L8-14	L8-17	L8-7	L8-15	L8-9	L8-12	L8-18	L8-16
L9	L9-1	L9-1	L9-5	L9-13	L9-4	L9-10	L9-8	L9-3	L9-2	L9-6	L9-14	L9-17	L9-7	L9-15	L9-9	L9-12	L9-18	L9-16
L10	L10-1	L10-1	L10-5	L10-13	L10-4	L10-10	L10-8	L10-3	L10-2	L10-6	L10-14	L10-17	L10-7	L10-15	L10-9	L10-12	L10-18	L10-16
L11	L11-1	L11-1	L11-5	L11-13	L11-4	L11-10	L11-8	L11-3	L11-2	L11-6	L11-14	L11-17	L11-7	L11-15	L11-9	L11-12	L11-18	L11-16
L12	L12-1	L12-1	L12-5	L12-13	L12-4	L12-10	L12-8	L12-3	L12-2	L12-6	L12-14	L12-17	L12-7	L12-15	L12-9	L12-12	L12-18	L12-16
L13	L13-1	L13-1	L13-5	L13-13	L13-4	L13-10	L13-8	L13-3	L13-2	L13-6	L13-14	L13-17	L13-7	L13-15	L13-9	L13-12	L13-18	L13-16
L14	L14-1	L14-1	L14-5	L14-13	L14-4	L14-10	L14-8	L14-3	L14-2	L14-6	L14-14	L14-17	L14-7	L14-15	L14-9	L14-12	L14-18	L14-16
L15	L15-1	L15-1	L15-5	L15-13	L15-4	L15-10	L15-8	L15-3	L15-2	L15-6	L15-14	L15-17	L15-7	L15-15	L15-9	L15-12	L15-18	L15-16
L16	L16-1	L16-1	L16-5	L16-13	L16-4	L16-10	L16-8	L16-3	L16-2	L16-6	L16-14	L16-17	L16-7	L16-15	L16-9	L16-12	L16-18	L16-16
L17	L17-1	L17-1	L17-5	L17-13	L17-4	L17-10	L17-8	L17-3	L17-2	L17-6	L17-14	L17-17	L17-7	L17-15	L17-9	L17-12	L17-18	L17-16
L18	L18-1	L18-1	L18-5	L18-13	L18-4	L18-10	L18-8	L18-3	L18-2	L18-6	L18-14	L18-17	L18-7	L18-15	L18-9	L18-12	L18-18	L18-16
L19	L19-1	L19-1	L19-5	L19-13	L19-4	L19-10	L19-8	L19-3	L19-2	L19-6	L19-14	L19-17	L19-7	L19-15	L19-9	L19-12	L19-18	L19-16
L20	L20-1	L20-1	L20-5	L20-13	L20-4	L20-10	L20-8	L20-3	L20-2	L20-6	L20-14	L20-17	L20-7	L20-15	L20-9	L20-12	L20-18	L20-16
L21	L21-1	L21-1	L21-5	L21-13	L21-4	L21-10	L21-8	L21-3	L21-2	L21-6	L21-14	L21-17	L21-7	L21-15	L21-9	L21-12	L21-18	L21-16
L22	L22-1	L22-1	L22-5	L22-13	L22-4	L22-10	L22-8	L22-3	L22-2	L22-6	L22-14	L22-17	L22-7	L22-15	L22-9	L22-12	L22-18	L22-16
L23	L23-1	L23-1	L23-5	L23-13	L23-4	L23-10	L23-8	L23-3	L23-2	L23-6	L23-14	L23-17	L23-7	L23-15	L23-9	L23-12	L23-18	L23-16

説明

ラインL1を踏んだときのコメント

ラインL2を踏んだときのコメント

ラインL3を踏んだときのコメント

ラインL4を踏んだときのコメント

ラインL5を踏んだときのコメント

ラインL6を踏んだときのコメント

ラインL7を踏んだときのコメント

ラインL8を踏んだときのコメント

ラインL9を踏んだときのコメント

ラインL10を踏んだときのコメント

ラインL11を踏んだときのコメント

ラインL12を踏んだときのコメント

ラインL13を踏んだときのコメント

ラインL14を踏んだときのコメント

ラインL15を踏んだときのコメント

ラインL16を踏んだときのコメント

ラインL17を踏んだときのコメント

ラインL18を踏んだときのコメント

ラインL19を踏んだときのコメント

ラインL20を踏んだときのコメント

ラインL21を踏んだときのコメント

ラインL22を踏んだときのコメント

ラインL23を踏んだときのコメント

[5B]

	11	1	5	13	4	10	8	3	2	6	14	17	7	15	9	12	18	16	
X-CROSS																			
X1	X1-11	X1-1	X1-5	X1-13	X1-4	X1-10	X1-8	X1-3	X1-2	X1-6	X1-14	X1-17	X1-7	X1-15	X1-9	X1-12	X1-18	X1-16	クロスX1を踏んだときのコメント
X2	X2-11	X2-1	X2-5	X2-13	X2-4	X2-10	X2-8	X2-3	X2-2	X2-6	X2-14	X2-17	X2-7	X2-15	X2-9	X2-12	X2-18	X2-16	クロスX2を踏んだときのコメント
X3	X3-11	X3-1	X3-5	X3-13	X3-4	X3-10	X3-8	X3-3	X3-2	X3-6	X3-14	X3-17	X3-7	X3-15	X3-9	X3-12	X3-18	X3-16	クロスX3を踏んだときのコメント
X4	X4-11	X4-1	X4-5	X4-13	X4-4	X4-10	X4-8	X4-3	X4-2	X4-6	X4-14	X4-17	X4-7	X4-15	X4-9	X4-12	X4-18	X4-16	クロスX4を踏んだときのコメント
X5	X5-11	X5-1	X5-5	X5-13	X5-4	X5-10	X5-8	X5-3	X5-2	X5-6	X5-14	X5-17	X5-7	X5-15	X5-9	X5-12	X5-18	X5-16	クロスX5を踏んだときのコメント
X6	X6-11	X6-1	X6-5	X6-13	X6-4	X6-10	X6-8	X6-3	X6-2	X6-6	X6-14	X6-17	X6-7	X6-15	X6-9	X6-12	X6-18	X6-16	クロスX6を踏んだときのコメント
X7	X7-11	X7-1	X7-5	X7-13	X7-4	X7-10	X7-8	X7-3	X7-2	X7-6	X7-14	X7-17	X7-7	X7-15	X7-9	X7-12	X7-18	X7-16	クロスX7を踏んだときのコメント
X8	X8-11	X8-1	X8-5	X8-13	X8-4	X8-10	X8-8	X8-3	X8-2	X8-6	X8-14	X8-17	X8-7	X8-15	X8-9	X8-12	X8-18	X8-16	クロスX8を踏んだときのコメント
C1	C1-11	C1-1	C1-5	C1-13	C1-4	C1-10	C1-8	C1-3	C1-2	C1-6	C1-14	C1-17	C1-7	C1-15	C1-9	C1-12	C1-18	C1-16	コーナーC1を踏んだときのコメント
C2	C2-11	C2-1	C2-5	C2-13	C2-4	C2-10	C2-8	C2-3	C2-2	C2-6	C2-14	C2-17	C2-7	C2-15	C2-9	C2-12	C2-18	C2-16	コーナーC2を踏んだときのコメント
C3	C3-11	C3-1	C3-5	C3-13	C3-4	C3-10	C3-8	C3-3	C3-2	C3-6	C3-14	C3-17	C3-7	C3-15	C3-9	C3-12	C3-18	C3-16	コーナーC3を踏んだときのコメント
C4	C4-11	C4-1	C4-5	C4-13	C4-4	C4-10	C4-8	C4-3	C4-2	C4-6	C4-14	C4-17	C4-7	C4-15	C4-9	C4-12	C4-18	C4-16	コーナーC4を踏んだときのコメント

[図5C]

AREA	11	1	5	13	4	10	8	3	2	6	14	17	7	15	9	12	18	16	
A1	A1-11																		エニア A 1 のときのコメント
A2	A2-11	A1-1	A1-5	A1-13	A1-4	A1-10	A1-8	A1-3	A1-2	A1-6	A1-14	A1-17	A1-7	A1-15	A1-9	A1-12	A1-18	A1-16	エニア A 2 のときのコメント
A3	A3-11	A2-1	A2-5	A2-13	A2-4	A2-10	A2-8	A2-3	A2-2	A2-6	A2-14	A2-17	A2-7	A2-15	A2-9	A2-12	A2-18	A2-16	エニア A 3 のときのコメント
A4	A4-11	A3-1	A3-5	A3-13	A3-4	A3-10	A3-8	A3-3	A3-2	A3-6	A3-14	A3-17	A3-7	A3-15	A3-9	A3-12	A3-18	A3-16	エニア A 4 のときのコメント
A5	A5-11	A4-1	A4-5	A4-13	A4-4	A4-10	A4-8	A4-3	A4-2	A4-6	A4-14	A4-17	A4-7	A4-15	A4-9	A4-12	A4-18	A4-16	エニア A 5 のときのコメント
A6	A6-11	A5-1	A5-5	A5-13	A5-4	A5-10	A5-8	A5-3	A5-2	A5-6	A5-14	A5-17	A5-7	A5-15	A5-9	A5-12	A5-18	A5-16	エニア A 6 のときのコメント
A7	A7-11	A6-1	A6-5	A6-13	A6-4	A6-10	A6-8	A6-3	A6-2	A6-6	A6-14	A6-17	A6-7	A6-15	A6-9	A6-12	A6-18	A6-16	エニア A 7 のときのコメント
A8	A8-11	A7-1	A7-5	A7-13	A7-4	A7-10	A7-8	A7-3	A7-2	A7-6	A7-14	A7-17	A7-7	A7-15	A7-9	A7-12	A7-18	A7-16	エニア A 8 のときのコメント
A9	A9-11	A8-1	A8-5	A8-13	A8-4	A8-10	A8-8	A8-3	A8-2	A8-6	A8-14	A8-17	A8-7	A8-15	A8-9	A8-12	A8-18	A8-16	エニア A 9 のときのコメント
A10	A10-11	A9-1	A9-5	A9-13	A9-4	A9-10	A9-8	A9-3	A9-2	A9-6	A9-14	A9-17	A9-7	A9-15	A9-9	A9-12	A9-18	A9-16	エニア A 10 のときのコメント
A11	A11-11	A10-1	A10-5	A10-13	A10-4	A10-10	A10-8	A10-3	A10-2	A10-6	A10-14	A10-17	A10-7	A10-15	A10-9	A10-12	A10-18	A10-16	エニア A 11 のときのコメント
A12	A12-11	A11-1	A11-5	A11-13	A11-4	A11-10	A11-8	A11-3	A11-2	A11-6	A11-14	A11-17	A11-7	A11-15	A11-9	A11-12	A11-18	A11-16	エニア A 12 のときのコメント
A13	A13-11	A12-1	A12-5	A12-13	A12-4	A12-10	A12-8	A12-3	A12-2	A12-6	A12-14	A12-17	A12-7	A12-15	A12-9	A12-12	A12-18	A12-16	エニア A 13 のときのコメント
OUT_U	U-11	A13-1	A13-5	A13-13	A13-4	A13-10	A13-8	A13-3	A13-2	A13-6	A13-14	A13-17	A13-7	A13-15	A13-9	A13-12	A13-18	A13-16	オープン上部のときのコメント
OUT_D	D-11	U-1	U-5	U-13	U-4	U-10	U-8	U-3	U-2	U-6	U-14	U-17	U-7	U-15	U-9	U-12	U-18	U-16	オープン下部のときのコメント
OUT_R	R-11	D-1	D-5	D-13	D-4	D-10	D-8	D-3	D-2	D-6	D-14	D-17	D-7	D-15	D-9	D-12	D-18	D-16	オープン右側のときのコメント
OUT_L	L-11	R-1	R-5	R-13	R-4	R-10	R-8	R-3	R-2	R	R-14	R-17	R-7	R-15	R-9	R-12	R-18	R-16	オープン左側のときのコメント
	L-11	L-1	L-5	L-13	L-4	L-10	L-8	L-3	L-2	L-6	L-14	L-17	L-7	L-15	L-9	L-12	L-18	L-16	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
マトリックス メント枠	11	1	5	13	4	10	8	3	2	6	14	17	7	15	9	12	18	16
	😊	🙄	👉	🗨️	📺	🏠	🎲	🔱	🟩	🟩	⬢	⬢	⚡	♣️	♣️	🌙	⭐️	💖
1	11/11	11-1	11-5	11-13	11-4	11-10	11-8	11-3	11-2	11-6	11-14	11-17	11-7	11-15	11-9	11-12	11-18	11-16
2	1/11	1-1	1-5	1-13	1-4	1-10	1-8	1-3	1-2	1-6	1-14	1-17	1-7	1-15	1-9	1-12	1-18	1-16
3	5/11	5-1	5-5	5-13	5-4	5-10	5-8	5-3	5-2	5-6	5-14	5-17	5-7	5-15	5-9	5-12	5-18	5-16
4	13/11	13-1	13-5	13-13	13-4	13-10	13-8	13-3	13-2	13-6	13-14	13-17	13-7	13-15	13-9	13-12	13-18	13-16
5	4/11	4-1	4-5	4-13	4-4	4-10	4-8	4-3	4-2	4-6	4-14	4-17	4-7	4-15	4-9	4-12	4-18	4-16
6	10/11	10-1	10-5	10-13	10-4	10-10	10-8	10-3	10-2	10-6	10-14	10-17	10-7	10-15	10-9	10-12	10-18	10-16
7	8/11	8-1	8-5	8-13	8-4	8-10	8-8	8-3	8-2	8-6	8-14	8-17	8-7	8-15	8-9	8-12	8-18	8-16
8	3/11	3-1	3-5	3-13	3-4	3-10	3-8	3-3	3-2	3-6	3-14	3-17	3-7	3-15	3-9	3-12	3-18	3-16
9	2/11	2-1	2-5	2-13	2-4	2-10	2-8	2-3	2-2	2-6	2-14	2-17	2-7	2-15	2-9	2-12	2-18	2-16
10	6/11	6-1	6-5	6-13	6-4	6-10	6-8	6-3	6-2	6-6	6-14	6-17	6-7	6-15	6-9	6-12	6-18	6-16
11	14/11	14-1	14-5	14-13	14-4	14-10	14-8	14-3	14-2	14-6	14-14	14-17	14-7	14-15	14-9	14-12	14-18	14-16
12	17/11	17-1	17-5	17-13	17-4	17-10	17-8	17-3	17-2	17-6	17-14	17-17	17-7	17-15	17-9	17-12	17-18	17-16
13	7/11	7-1	7-5	7-13	7-4	7-10	7-8	7-3	7-2	7-6	7-14	7-17	7-7	7-15	7-9	7-12	7-18	7-16
14	15/11	15-1	15-5	15-13	15-4	15-10	15-8	15-3	15-2	15-6	15-14	15-17	15-7	15-15	15-9	15-12	15-18	15-16
15	9/11	9-1	9-5	9-13	9-4	9-10	9-8	9-3	9-2	9-6	9-14	9-17	9-7	9-15	9-9	9-12	9-18	9-16
16	12/11	12-1	12-5	12-13	12-4	12-10	12-8	12-3	12-2	12-6	12-14	12-17	12-7	12-15	12-9	12-12	12-18	12-16
17	18/11	18-1	18-5	18-13	18-4	18-10	18-8	18-3	18-2	18-6	18-14	18-17	18-7	18-15	18-9	18-12	18-18	18-16
18	16/11	16-1	16-5	16-13	16-4	16-10	16-8	16-3	16-2	16-6	16-14	16-17	16-7	16-15	16-9	16-12	16-18	16-16

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

A6	A7	A8	A9	A10	A11	A12	A13
○	○						
○		○					
○							○
	○	○					
		○	○				
			○	○			
				○	○		
					○	○	
						○	○

[図9C]

A1	A2	A3	A6	A7	A8	A9	A10	A11	A12	A13
			○	○						
			○							○
				○	○					
					○	○				
						○	○	○		
							○	○	○	
									○	○

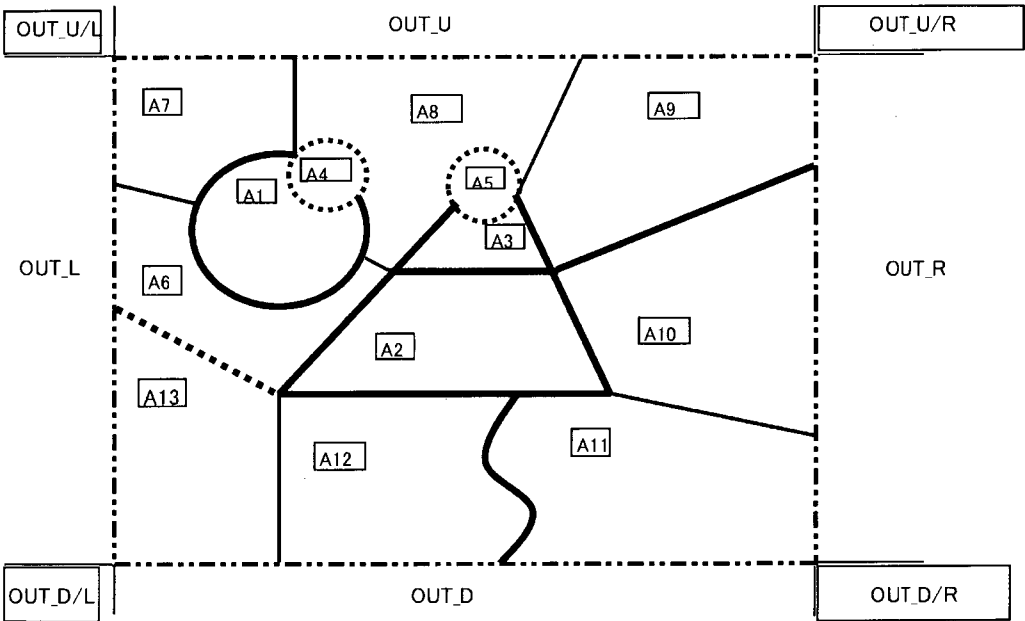
[図9D]

A11	A12	A13
○		
	○	
		○
○	○	
○		○
	○	○
○	○	○

[図9E]

A7	A8	A9
○		
	○	
		○
○	○	
○		○
	○	○
○	○	○

[図9F]



[図9G]

	頭	11	1	5	13	18
胴						
4						
10						
2						
6						
8						
3						
14						

[図10]

(B)

	頭	11	1	5	13	18
胴						
4		11/4	1/4	5/4	13/4	18/4
10		11/10	1/10	5/10	13/10	18/10
2		11/2	1/2	5/2	13/2	18/2
6		11/6	1/6	5/6	13/6	18/6
8		11/8	1/8	5/8	13/8	18/8
3		11/3	1/3	5/3	13/3	18/3
14		11/14	1/14	5/14	13/14	18/14

sample

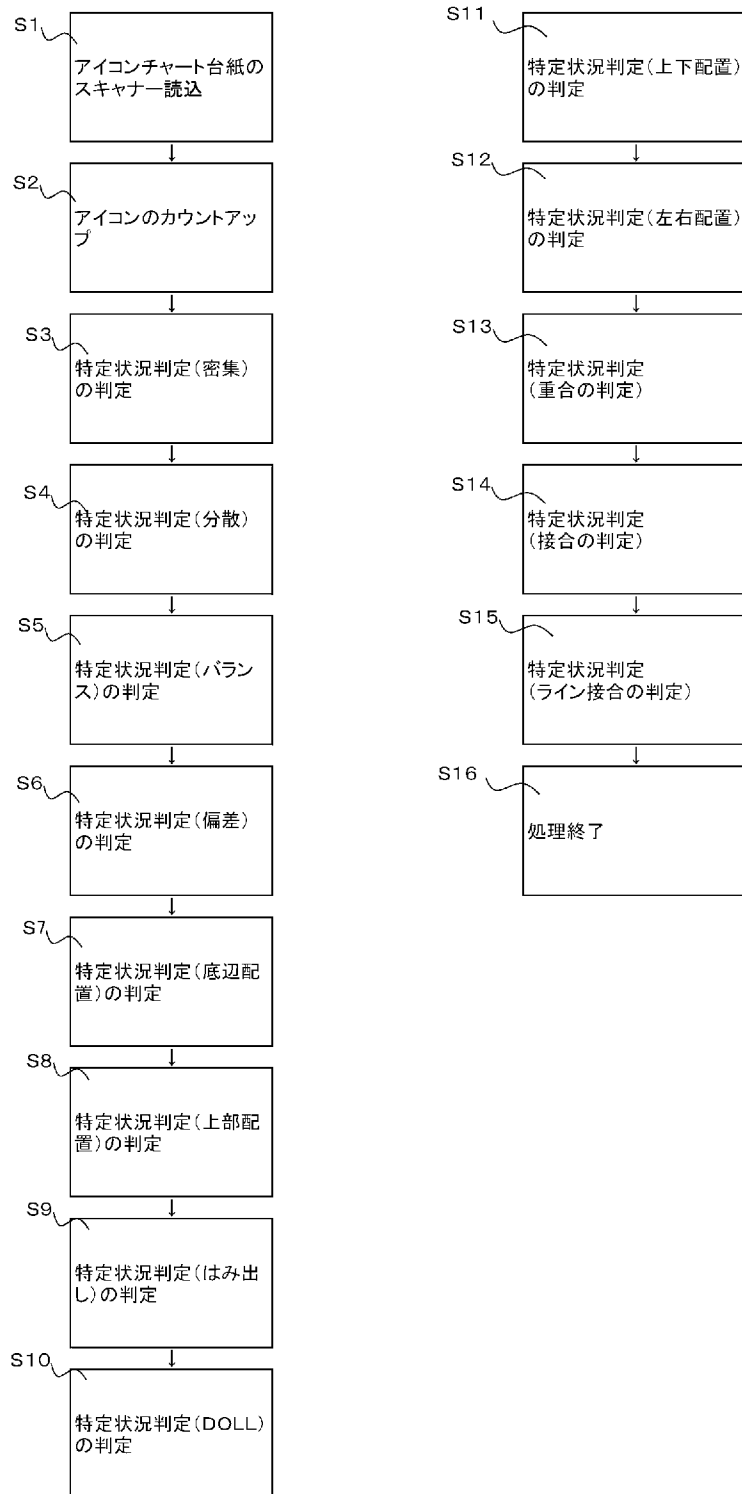
11/4



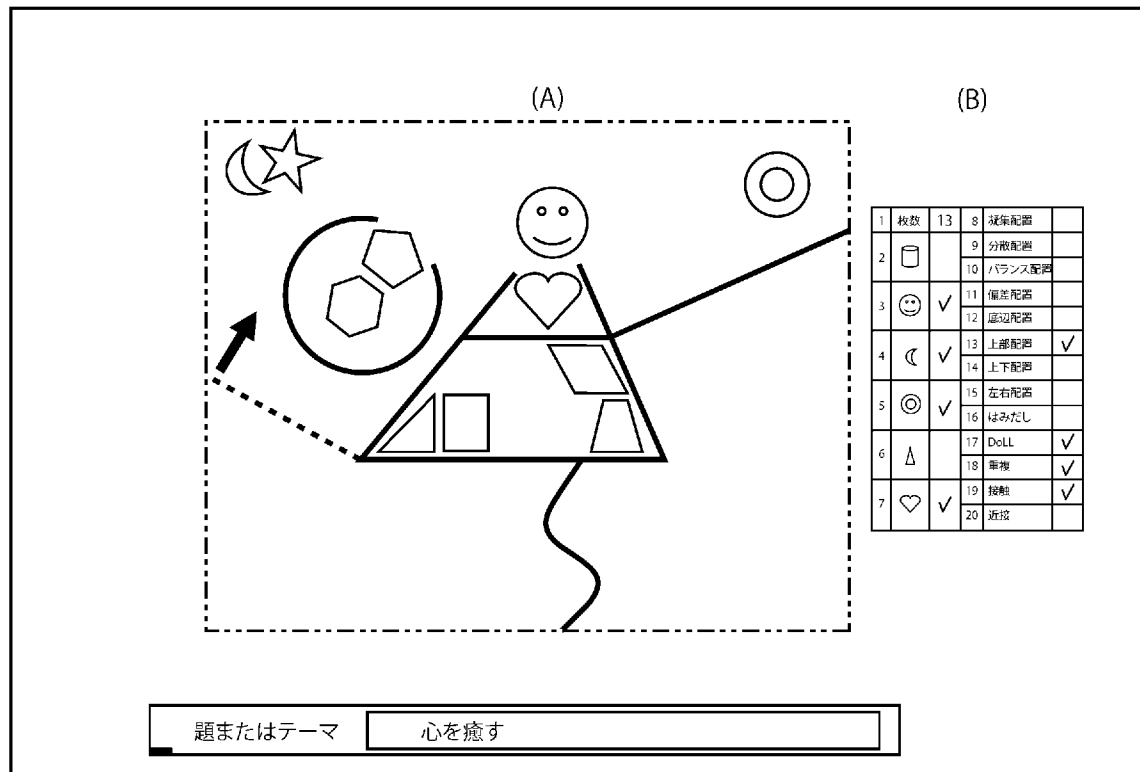
(A)

No.	頭	11	1	5	13	18
胴						
4		1	8	15	22	29
10		2	9	16	23	30
2		3	10	17	24	31
6		4	11	18	25	32
8		5	12	19	26	33
3		6	13	20	27	34
14		7	14	21	28	35

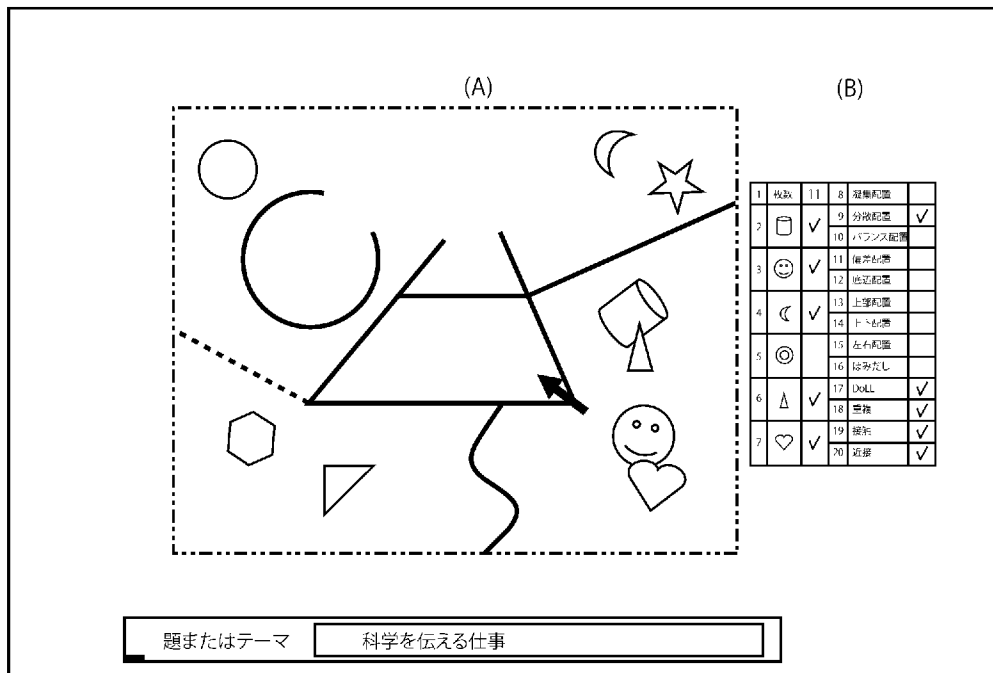
[図12]



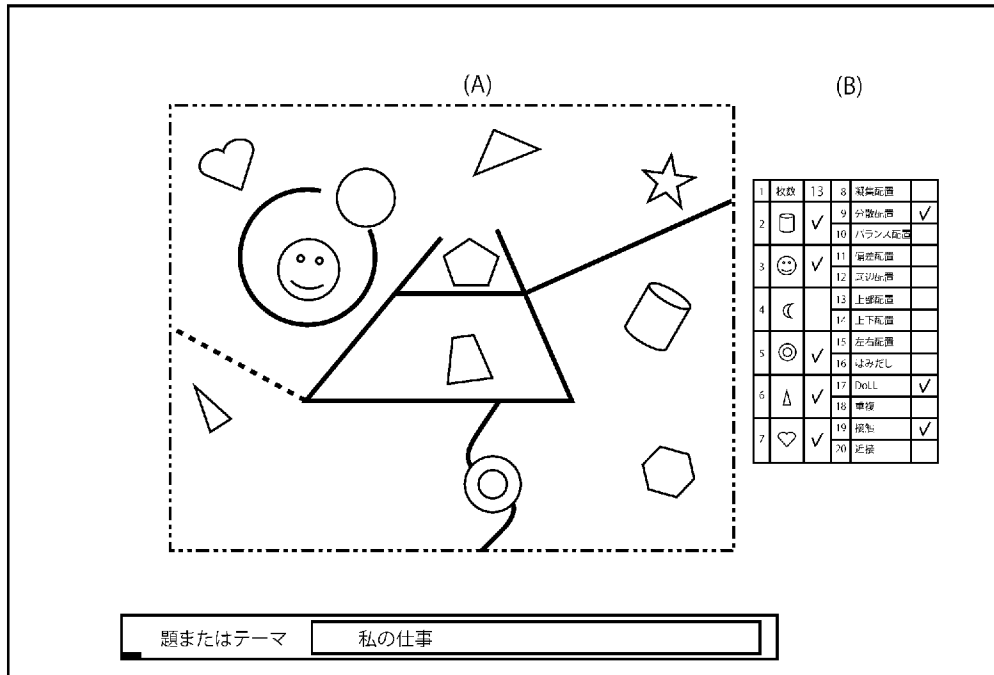
[図13]



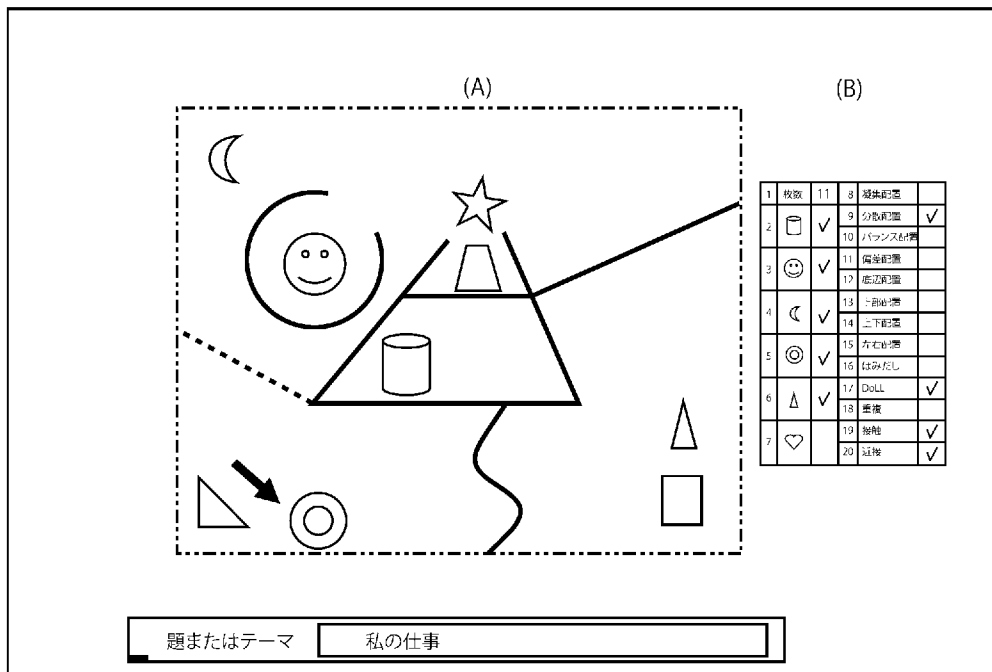
[図14]



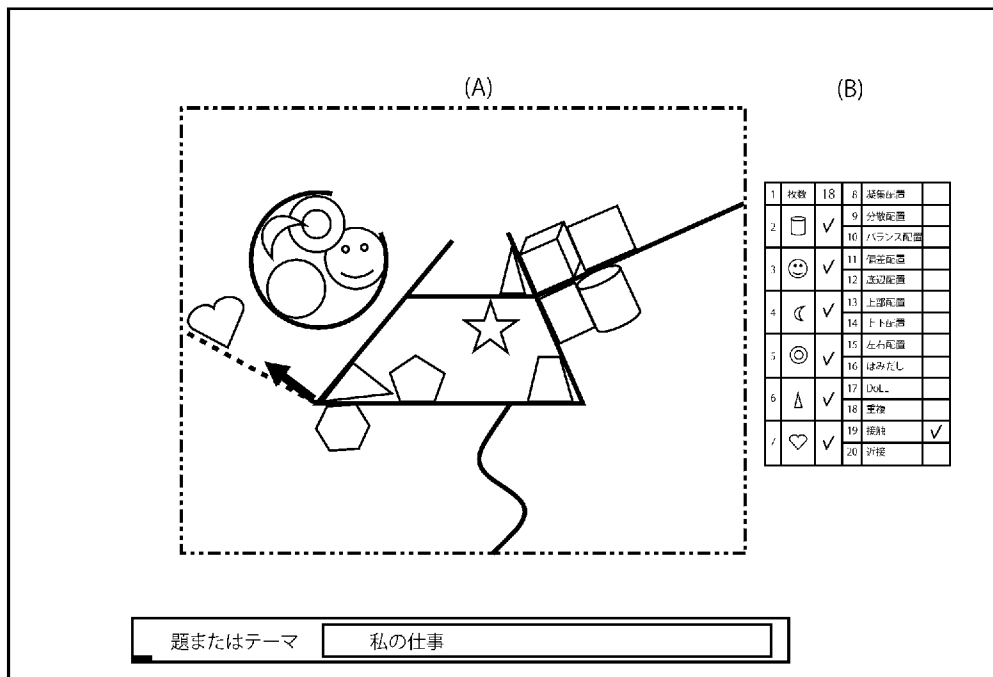
[図15]



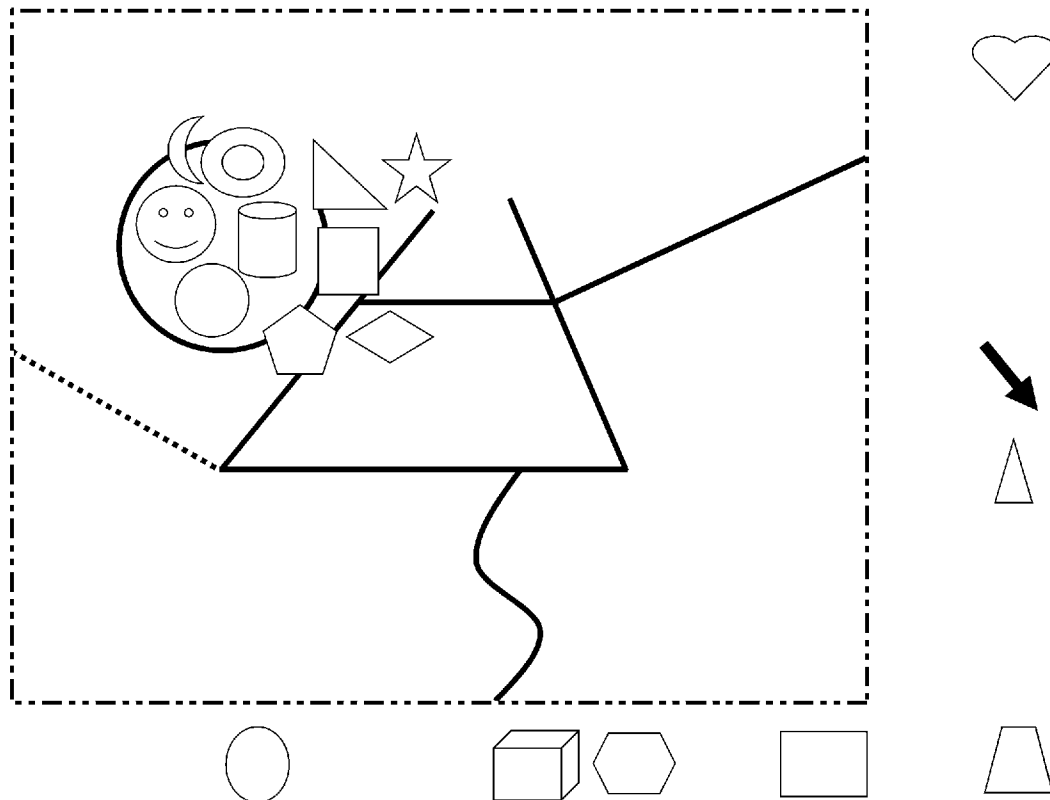
[図16]



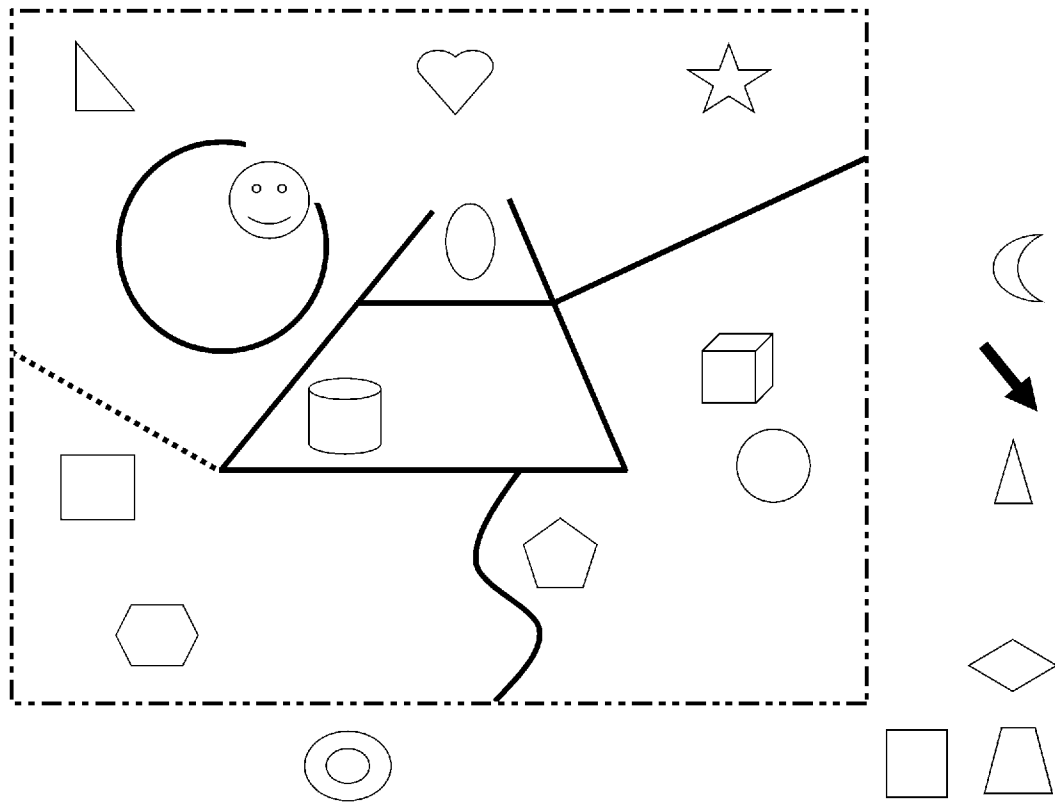
[図17]



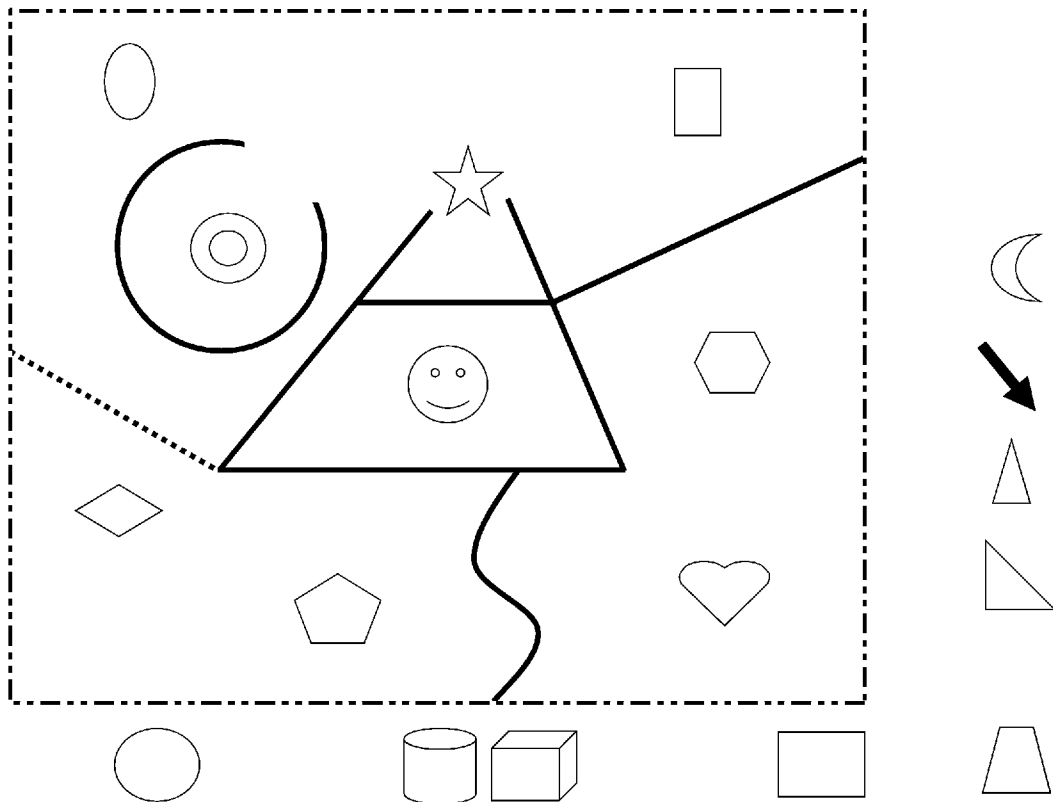
[図18A]



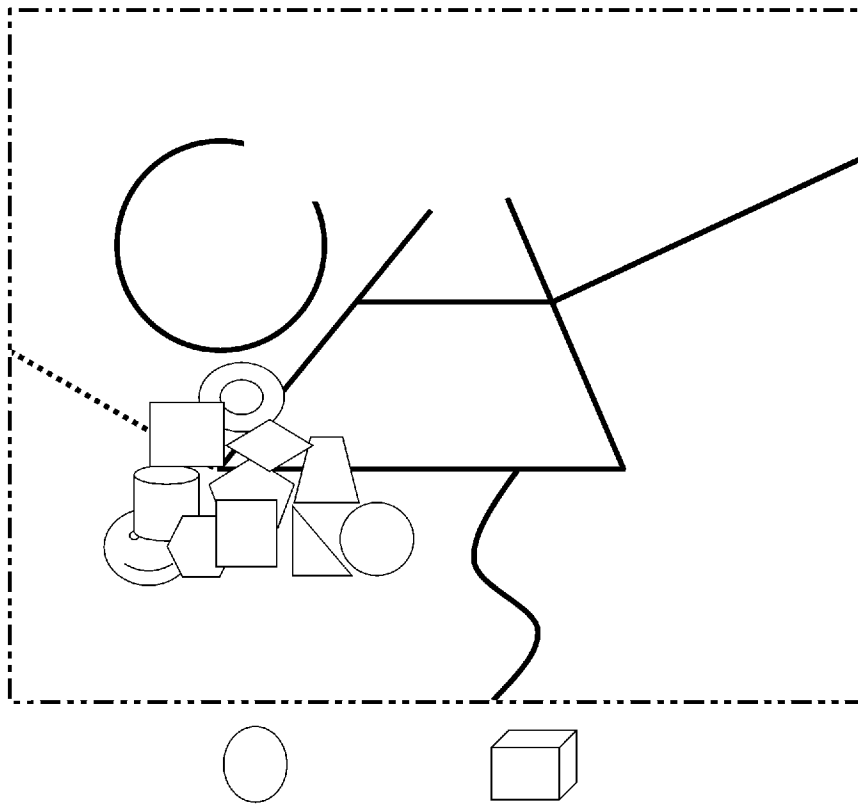
[図18B]



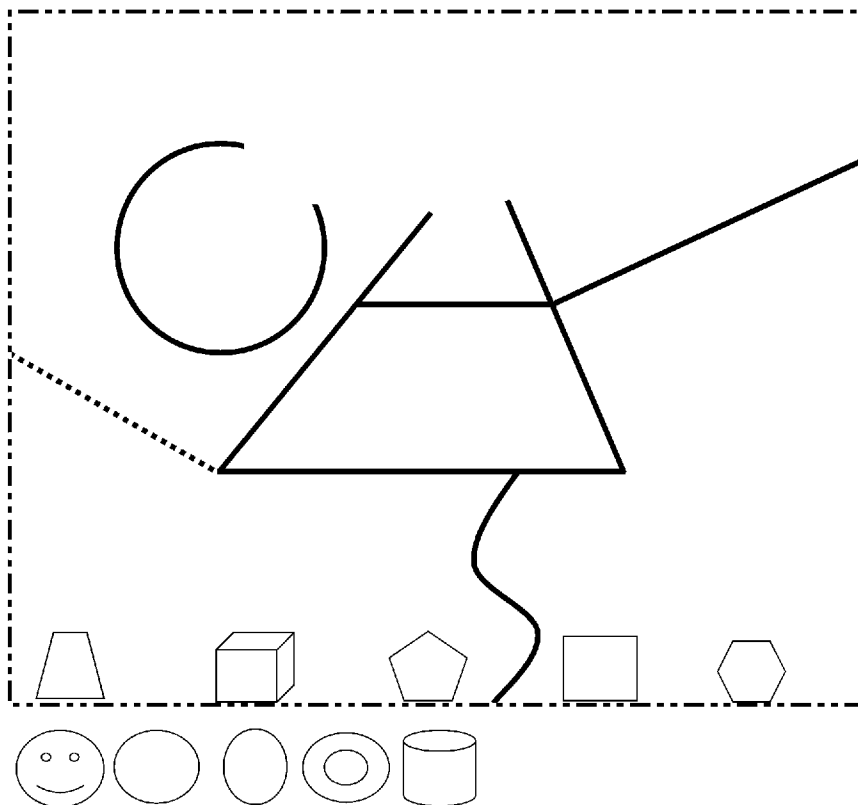
[図18C]



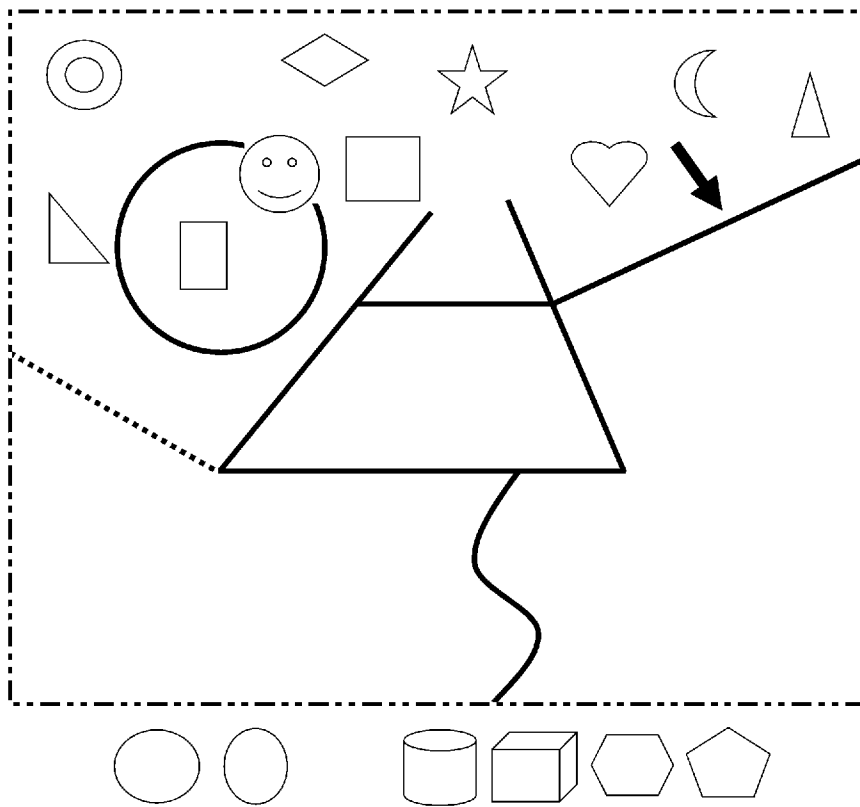
[図18D]



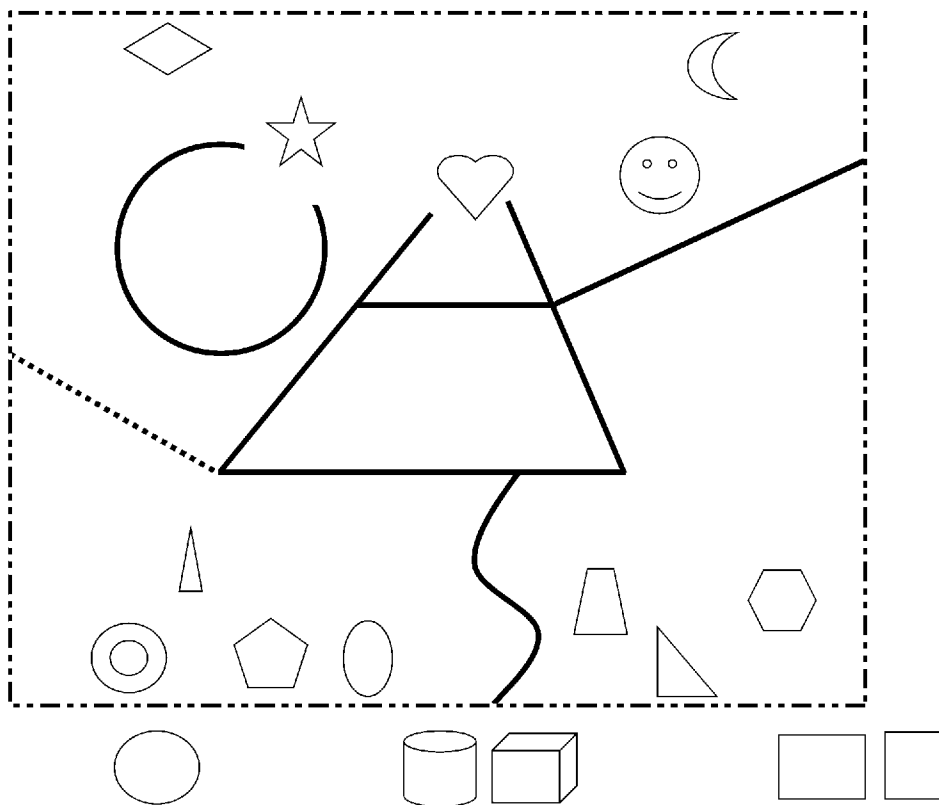
[図18E]



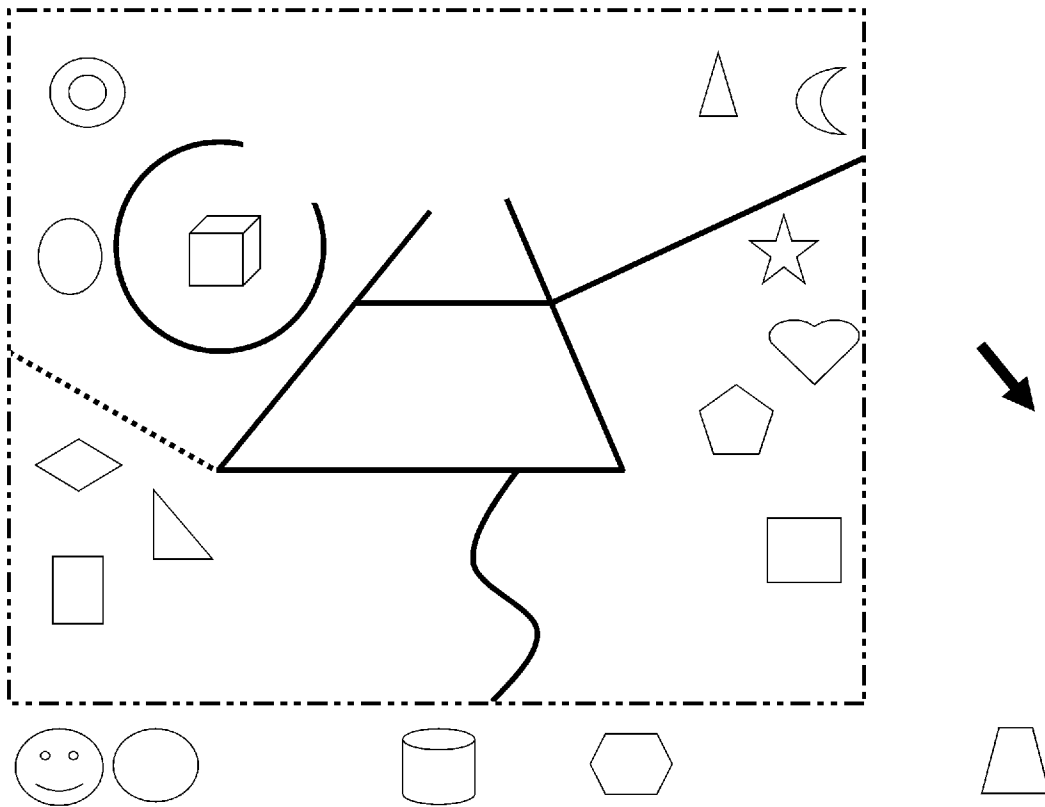
[図18F]



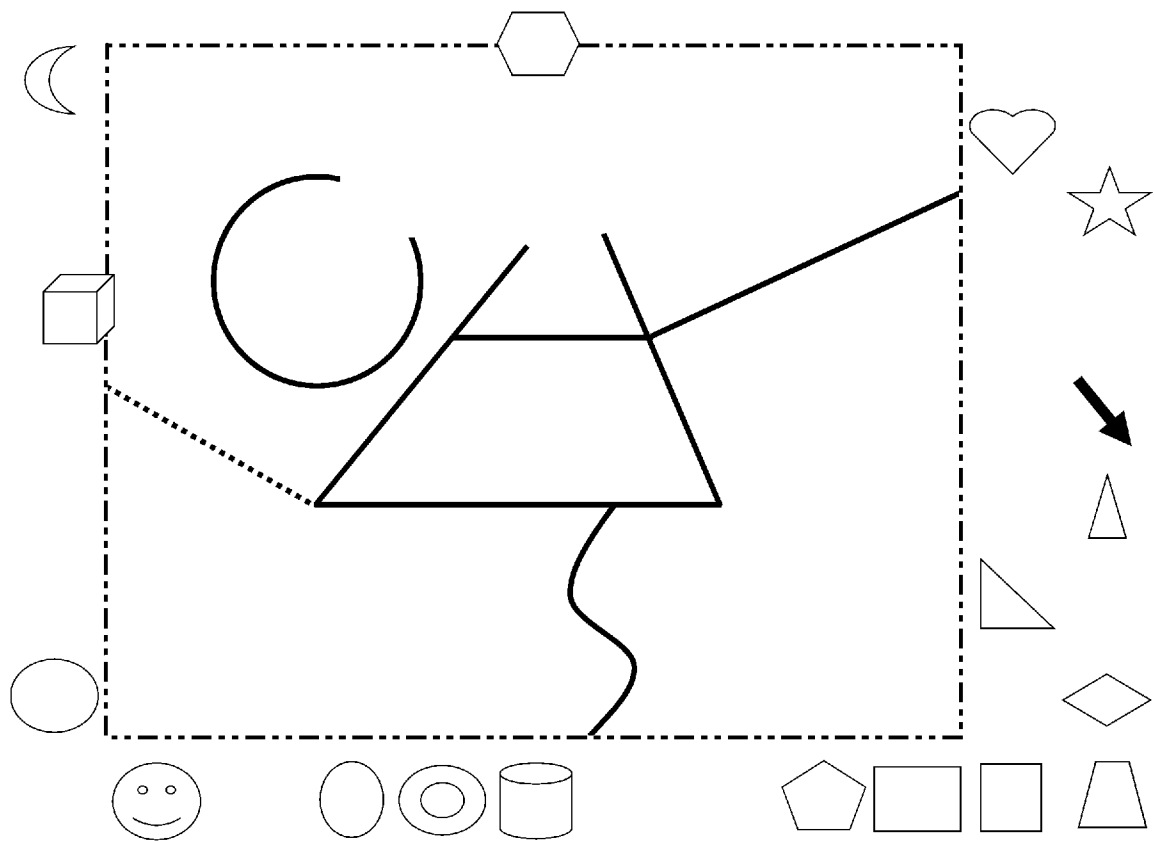
[図18G]



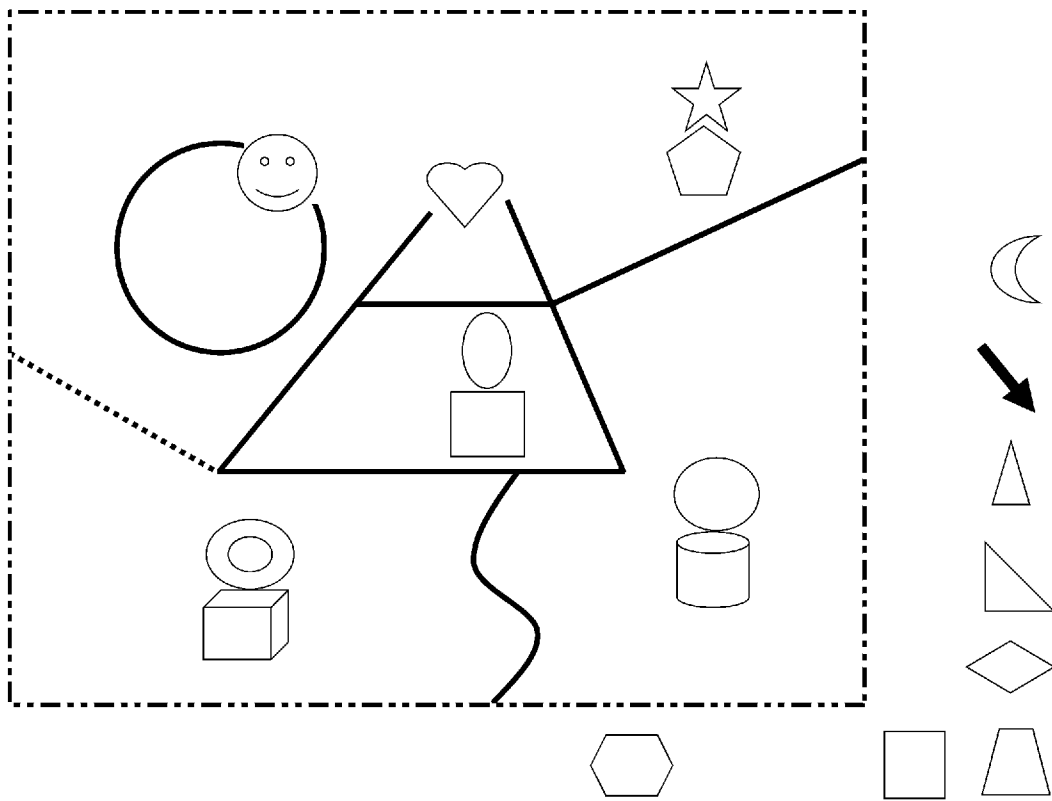
[図18H]



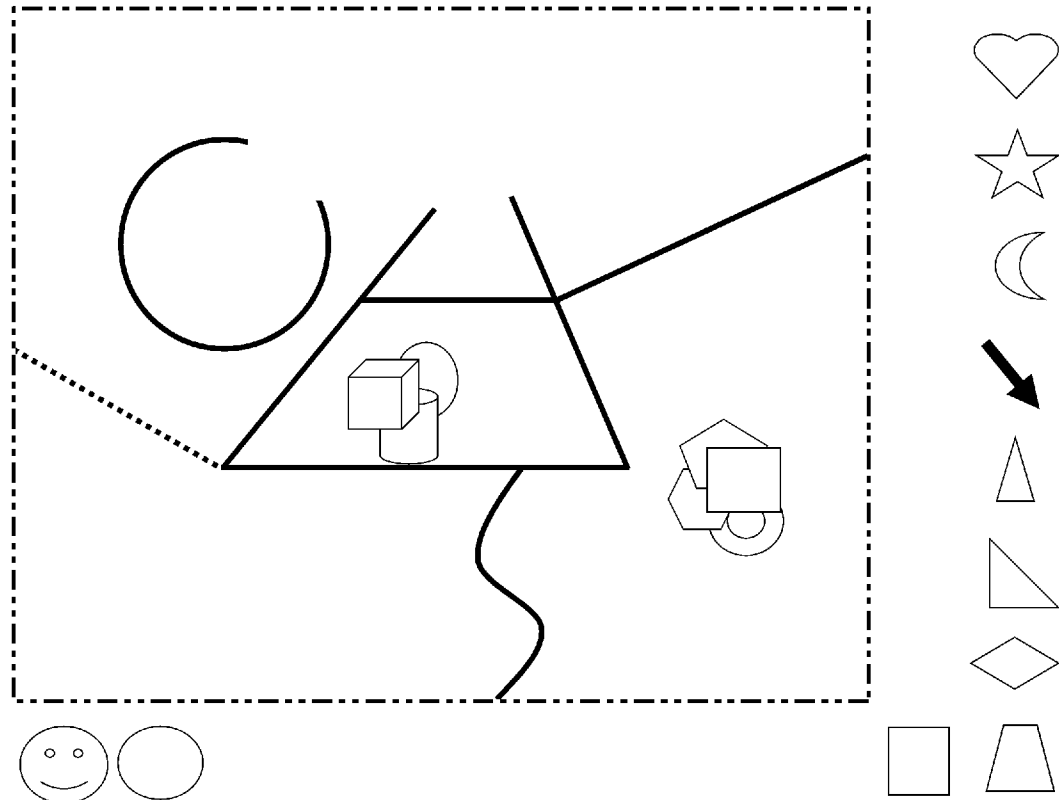
[図18I]



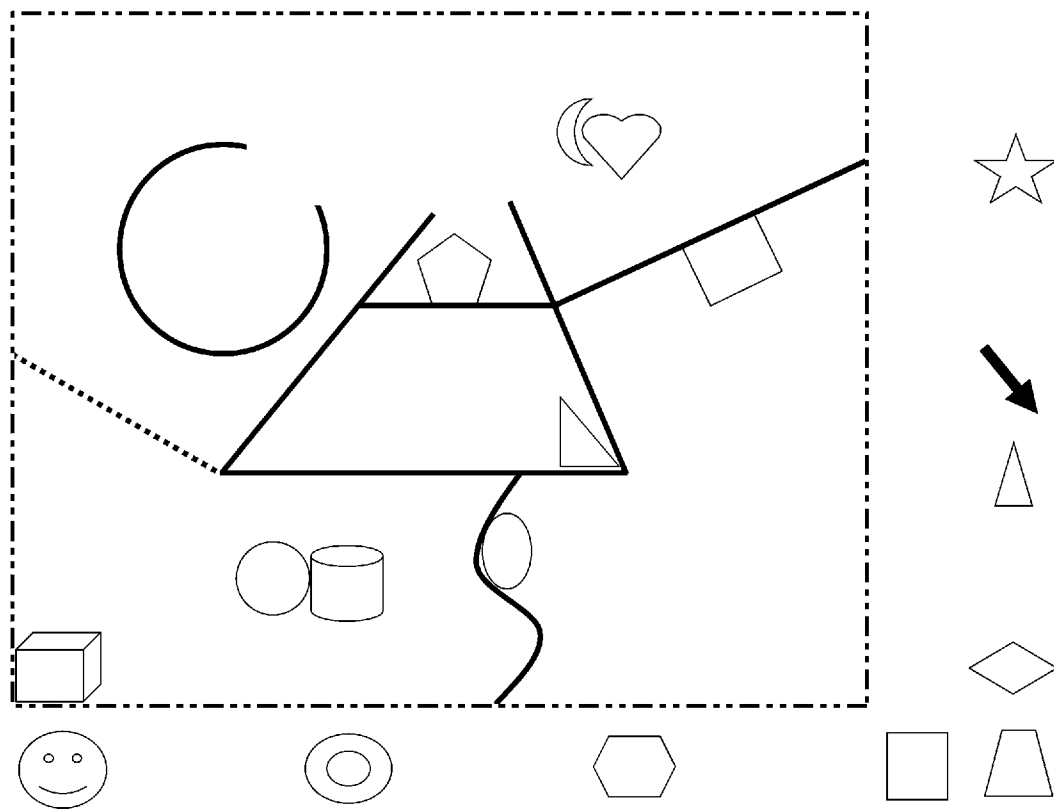
[図18J]



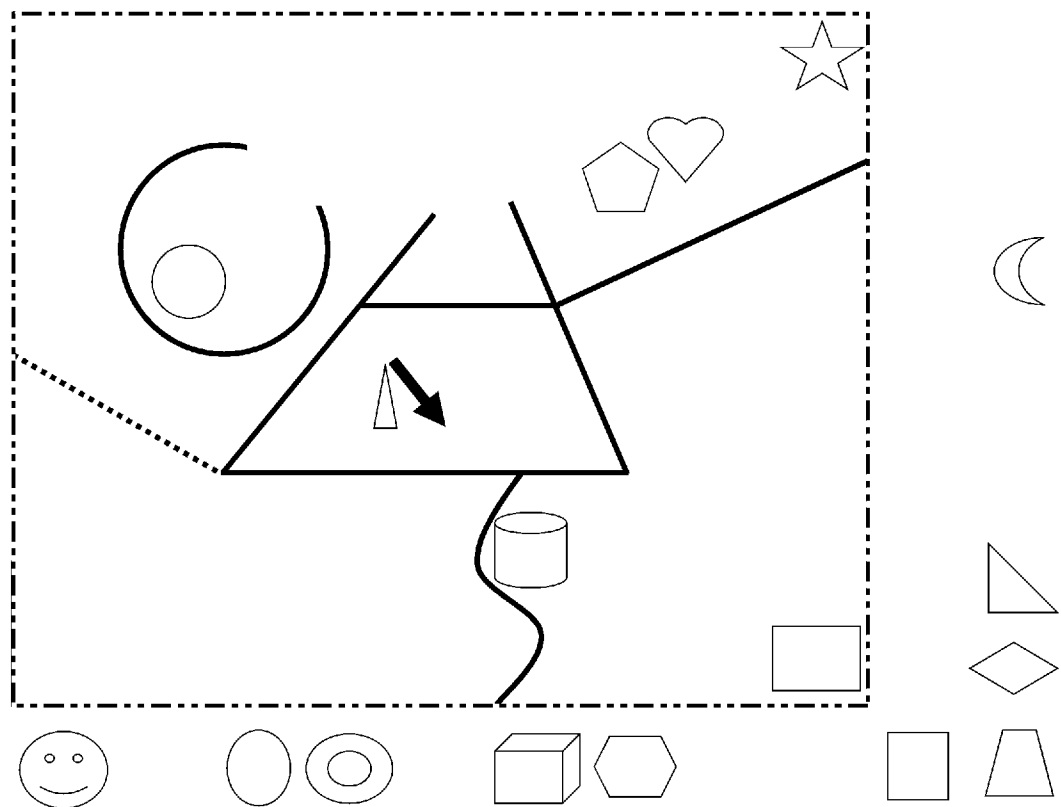
[図18K]



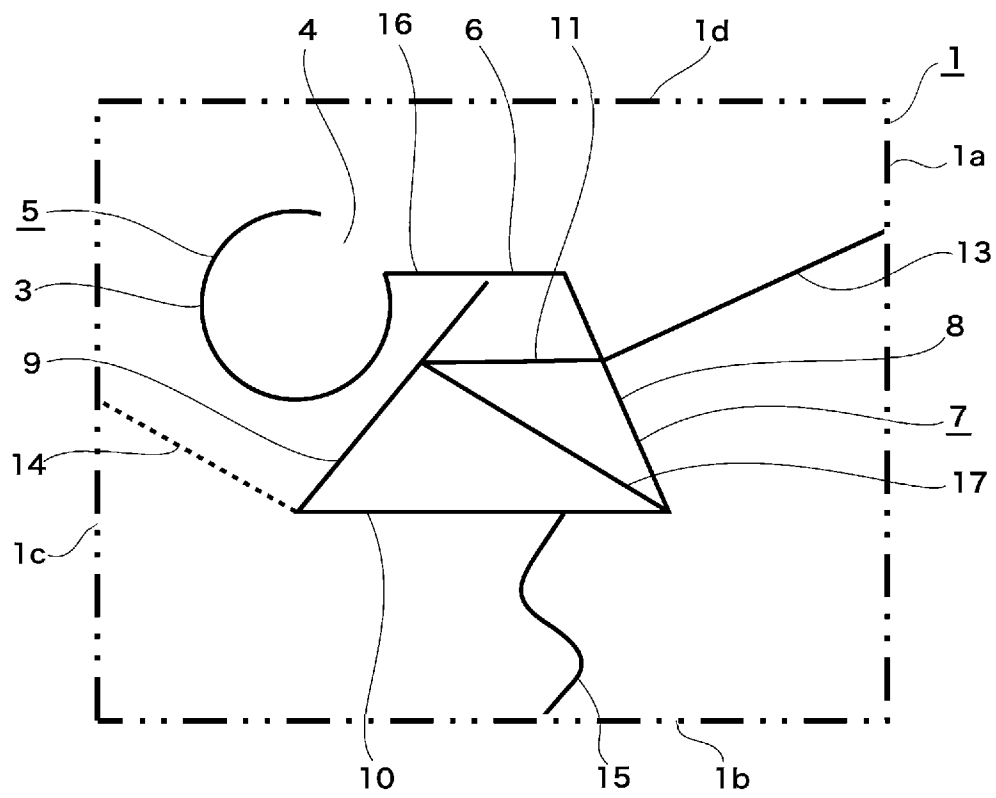
[図18L]



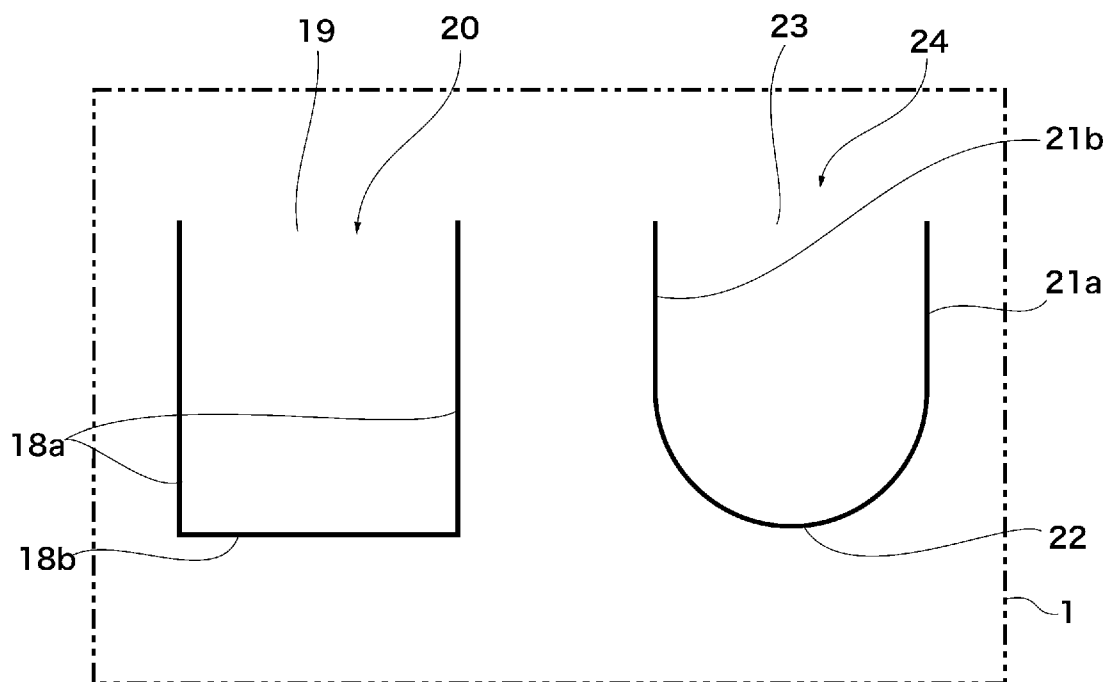
[図18M]



[図20]



[図21]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2019/024723

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl. G06Q10/10 (2012.01) i, A61B5/16 (2006.01) i, G09B19/00 (2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl. G06Q10/10, A61B5/16, G09B19/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996

Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2019

Registered utility model specifications of Japan 1996-2019

Published registered utility model applications of Japan 1994-2019

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	KR 10-2015-0145844 A (TNT HRD CT CO., LTD.) 31 December 2015, entire text, all drawings (Family: none)	1-9
A	JP 11-285483 A (AESOP, LTD.) 19 October 1999, entire text, all drawings (Family: none)	1-9
A	Marky, WEB 適正検査『TAL』, [online], 株式会社サイバーエージェント, 11 August 2012, [retrieved on 22 July 2019], Internet: <URL:https://ameblo.jp/secom-desu/entry-11288062986.html>, (CYBERAGENT, INC.), non-official translation (WEB proper inspection [TAL])	1-9

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.	☐ See patent family annex.
--	---

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search 22.07.2019	Date of mailing of the international search report 13.08.2019
Name and mailing address of the ISA/ Japan Patent Office 3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915, Japan	Authorized officer Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2019/024723

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	konpan, 図形貼付形式 web テスト採用適性検査「TAL(タル)」, [online], 07 March 2010, [retrieved on 22 July 2019], Internet: <URL:http://konpan.com/panlog/20100307/web-test-tal/>, non-official translation (Applicability inspection for web application test [TAL])	1-9

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. G06Q10/10(2012.01)i, A61B5/16(2006.01)i, G09B19/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. G06Q10/10, A61B5/16, G09B19/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2019年
日本国実用新案登録公報	1996-2019年
日本国登録実用新案公報	1994-2019年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	KR 10-2015-0145844 A (TNT HRD CT CO. LTD.) 2015.12.31, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-9
A	JP 11-285483 A (有限会社イソップ) 1999.10.19, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-9
A	Marky, WEB 適正検査『TAL』, [online], 株式会社サイバーエージェ ント, 2012.08.11, [検索日 2019.07.22], インターネット: <URL: https://ameblo.jp/secom-desu/entry-11288062986.html>	1-9

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

22.07.2019

国際調査報告の発送日

13.08.2019

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

宮地 匡人

5 L

3796

電話番号 03-3581-1101 内線 3562

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	konpan, 図形貼付形式 web テスト採用適性検査「TAL (タル)」, [online], 2010.03.07, [検索日 2019.07.22], インターネット: <URL : http://konpan.com/panlog/20100307/web-test-tal/ >	1-9